

軽井沢町地域公共交通計画策定支援業務
町民・別荘所有者アンケート調査結果

令和7年（2025） 3月

目 次

1. 調査概要	1
1.1. 調査目的	1
1.2. 調査実施概要	1
1.3. 調査内容	1
2. 調査結果の概要	2
3. 集計結果	7
3.1. 回答者属性	7
3.2. 通勤・通学について	16
3.3. 買い物等について	20
3.4. 通院について	26
3.5. 別荘所有者の主な外出について	32
3.6. 町内循環バスについて	37
3.7. 「よぶのる軽井沢」について	46
3.8. 公共交通の満足度と今後のあり方	49
3.9. 自由解答欄に寄せられた意見・要望	56

1. 調査概要

1.1. 調査目的

「軽井沢町地域公共交通計画」の策定に向けて、町民・別荘所有者の移動実態や移動ニーズ、公共交通に対する意向を把握することを目的として調査を実施しました。

1.2. 調査実施概要

調査期間：令和6（2024）年10月23日（水）～11月12日（火）

調査方法：無作為抽出により郵送した調査票による回答または調査票に記載の二次元コードによるインターネット回答を受け付けました。

なお、移動等に関する設問については1世帯につき19歳以上の最大3名まで回答可能な形式といたしました。

調査対象・配布回収状況等

調査対象	配布数	回収数、回収率	有効回答者人数
町民	2,500世帯	900世帯（回収率36.0%）	1,540名
別荘所有者	1,000世帯	526件（回収率52.6%）	1,033名

1.3. 調査内容

設問は、主に以下に示す日常の行動や町が運行している公共交通に関わるものとしており、一部、調査対象により変えております。（使用した調査票は巻末資料参照）

【設問項目】

- 回答者属性（居住地区、年齢、最寄り鉄道駅・バス停までの所要時間等）
- 町民に対する通勤・通学、買い物、通院時の外出行動と移動手段
- 別荘所有者に対する滞在時における買い物、通院、主な外出時の外出行動と移動手段
- 町内循環バスの認知度、利用頻度、満足度
- 町内循環バスを利用する理由、利用しない理由
- 「よぶのる軽井沢」の利用経験、利用理由
- 今後の公共交通のあり方や要望について

なお、町内4地区分類においては、各居住地、各別荘地を以下のとおり分類しております。

[町民アンケートにおける回答居住地と地区分類]

地区名	該当する居住地
東地区	峠町、小瀬、旧軽井沢、新軽井沢、成沢、南ヶ丘、離山
中地区	塩沢、中軽井沢、古宿、星野、塩壺、千ヶ滝中区、千ヶ滝西区、鳥井原、油井
南地区	南軽井沢、馬取、上発地、下発地、杉瓜、風越団地、ニュータウン
西地区	借宿、大日向、追分、三ツ石、茂沢、浅間台、つくしヶ丘

[別荘所有者アンケートにおける地区分類]

地区名	該当する別荘地
東地区	桜ノ沢、太陽の森、愛宕、陣場、三笠、三笠パーク、鶴溜、三井の森、鹿島、新道、泉の里、離山、南原、南ヶ丘
中地区	千ヶ滝中東区、千ヶ滝西区、星野、中軽井沢、油井、鳥井原
南地区	南軽井沢、成沢、扇平、弁天平、杉瓜、発地、茂沢、ニュータウン
西地区	大日向、浅間台、三ツ石、追分、借宿、茂沢

【アンケート集計及び結果における留意事項】

- ※1：アンケート集計は、居住地、年齢などの基本属性に関わる設問については無回答も集計対象としますが、意識や行動に関わる設問における無回答は集計対象外としております。
- ※2：節・項タイトル、図タイトルの[]内は、対象となるアンケート（町民アンケート、別荘所有者アンケート）を示します。（例：[町民・別荘所有者]は、町民及び別荘所有者アンケートの結果であることを示します）
- ※3：構成比は、四捨五入、端数処理により 100%とならないことがあります。
- ※4：クロス集計（帯グラフ）で 5%未満はグラフ中の数値表示を省略しています。
- ※5：グラフにおける「n＝」は有効回答数および有効回答者数、「MA＝」は複数回答の設問における回答総数を示します。

2. 調査結果の概要

2.1. 結果の総括

【移動の現状】

- ・ 普段の生活行動における主な移動手段は自動車
- ・ バスなどの公共交通の利用は少ないが、20歳未満や70歳以上では公共交通の利用が比較的多い

【今後の公共交通に対する意向】

- ・ 町内循環バスの今後の形態では、「路線バスを主体に利便性を向上した形態」が26%で最多のほか、「デマンド型を主体に一部は路線バスの形態」「路線バスを主体に一部はデマンド型の形態」はそれぞれ19%の方が望んでいる
- ・ こうした理想的な公共交通の実現に向けた経費は、「もっと増やしても良い」が39%、「現状を維持するべき」が23%

2.2. 主な傾向

2.2.1. 通勤・通学について [町民]

(1) 通勤・通学先 [町民]

- 「通勤・通学していない」が43%を占め、町内への通勤・通学が34%、町外へは23%。
- 町外の通勤・通学先は、県外が11%と多く、次いで、佐久市、御代田町。

(2) 頻度 [町民]

- 「平日のほぼ毎日」が35%と最も多く、次いで「土日を含むほぼ毎日」が33%。
- 20歳代では週2~3日程度以下の低頻度が15%。年齢が高くなるに従いその割合は高くなり、70歳代以上では半数以上を占める状況。

(3) 出発・帰宅時間 [町民]

- 出発時刻は、7・8時台が全体の約6割を。帰宅時刻は分散傾向にあり、16時台から徐々に増え、18時台の2割をピークに徐々に減少。

(4) 交通手段

- 「自動車（自ら運転）」が75%。「町内循環バス」を利用する方は約2%。
- 19歳及び80歳代以上で他の年代に比べ「自動車（送迎等）」と「町内循環バス」の割合が高い状況。

2.2.2. 買い物目的の外出について [町民・別荘所有者]

(1) 買い物目的の外出の有無と頻度 [町民・別荘所有者]

- 「食料品や日用品の買い物に行く」という方が92%。
- 19歳~30歳代、80歳代以上では「ほとんど行かない」という方が他に比べ多い。
- 頻度は「週に数日」が45%と最も多く、次いで「週に1回」が26%。

(2) 出発・帰宅時間 [町民・別荘所有者]

- 午前中に出発する方は、概ね1~2時間程度で帰宅。夕方16時以降に出発される方は同時時間帯に帰宅される方が8割以上。

(3) 交通手段 [町民・別荘所有者]

- 「自動車（自ら運転）」が76%。次いで、「自動車（送迎等）」が13%、「徒歩」が10%、「自転車」が6%。
- 「町内循環バス」を利用する方は約3%。
- 19歳及び80歳代以上で他の年代に比べ「自動車（送迎等）」と「町内循環バス」の割合が高い状況がみられ、特に「町内循環バス」を利用される方は19歳と70歳代以上で6~11%。

2.2.3. 通院目的の外出について [町民・別荘所有者]

(1) 通院の有無と頻度 [町民・別荘所有者]

- 「定期的に通院している」が40%。頻度は「月に1回」が32%、「月に数回」が11%。
- 50歳代では「月に1回」以上の通院が41%ですが、年齢が高くなるに従いその割合は高くなっていく傾向。
- 通院先としては、「軽井沢病院」が34%。

(2) 出発・帰宅時間 [町民・別荘所有者]

- 出発時間帯は、全体の約70%が8～10時台に集中。
- 診察・診療内容によるため1時間で済む方や、数時間にわたる方も見られますが、出発から帰宅までの時間は比較的2～3時間の方が多い。

(3) 交通手段 [町民・別荘所有者]

- 「自動車（自ら運転）」が全体の72%。次いで、「自動車（送迎等）」が13%、「徒歩」が9%、「タクシー」が7%となっています。
- 「町内循環バス」を利用する方は約4%。
- 70歳代以上で公共交通の利用が増える傾向。

2.2.4. 別荘所有者の主な外出について [別荘所有者]

(1) 外出頻度と出発・帰宅時間 [別荘所有者]

- 外出頻度は、「週に数日」が28%。次いで「月に数回」が24%、「週に1回」が21%。
- 年代別では、90歳以上を除く各年代で6割以上の方が「週に1回」以上の頻度で外出。
- 午前中に外出し11～15時台に帰宅するというパターンが多い状況。

(2) 交通手段 [別荘所有者]

- 「自動車（自ら運転）」が71%。次いで、「自動車（送迎等）」が16%、「徒歩」が13%、「タクシー」が6%。
- 「町内循環バス」を利用する方は約3%。
- 20歳代以下と70歳代で「町内循環バス」の利用が5%を超える状況。

2.2.5. 町内循環バスについて [町民・別荘所有者]

(1) 認知度 [町民・別荘所有者]

- 「自宅付近のバス停や町内の運行ルートをある程度知っている」という方は約4割。
- 19歳で13%と最も低く、年齢が高くなるに従い認知度が高まる傾向があり、80歳代では49%の方がある程度知っていると回答。
- 地区別で見ると、町民、別荘所有者ともに南地区の方の認知度が高い傾向。

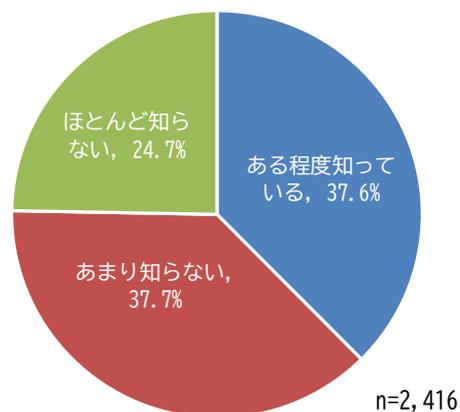


図 2-1 町内循環バスの認知度 [町民・別荘所有者]

(2) 利用頻度 [町民・別荘所有者]

- 町内循環バスの利用頻度は、「ほとんど乗らない」が最も多く 62%。
- 利用している方の頻度としては、「月に数回」が 29%、次いで「週に 1 回」「週に数回」が各々 3%、「月に 1 回」が 2%、「ほぼ毎日」が 1%。
- 年代別では、19 歳、60 歳代で利用する方が 50% を超えています。頻度は「月に数回」が大半。

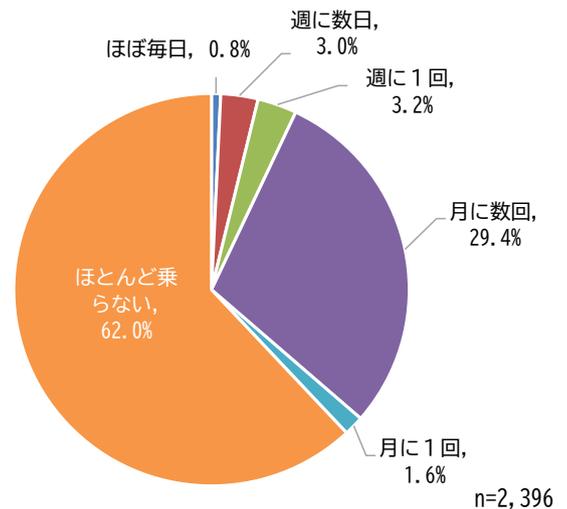


図 2-2 町内循環バスの利用頻度 [町民・別荘所有者]

(3) 町内循環バスの満足度 [町民・別荘所有者のうち「月に 1 回以上利用されている方」]

- 町内循環バスの利用者（月に 1 回以上利用されている方）の満足度、「自宅や目的地付近のバス停までの距離」「車両の乗りやすさ・乗り心地」「運賃」の 3 項目では満足という意見が 6 割を超え、特に「運賃」に対してはほとんどの方が満足。
- 「ダイヤ」「便数」などの面での満足度は約 2 割以下。

(4) 利用しない理由 [町民・別荘所有者のうち「町内循環バスにほとんど乗らない方」]

- 「バス以外の移動手段がある」が約 8 割。
- 70 歳代以上では「バスの乗り降りが大変」という意見が多い。

(5) 町内循環バスを利用するための条件 [町民・別荘所有者]

- 「便数の増加」が約 50%。次いで「自宅や目的地の近くへのバス停の設置」が 42%、「鉄道やバス同士の乗り継ぎ改善」が 16%、「バス待ち環境の改善」が 14%。
- 「改善がなされても利用しない」という方も約 10%。
- 「その他」の具体的な意見としては「車の運転が出来なくなれば即利用する」など将来的な利用に対する意見や「バス停に電光掲示板があり、バスが何分後に来るか分かるようにする」「オンデマンド制」などの利便性向上に向けた意見が多い。

2.2.6. 「よぶのる軽井沢」について [町民・別荘所有者]

(1) 利用経験 [町民・別荘所有者]

- 「よぶのる軽井沢」を「利用した」という方は 6%、「利用しなかった」が 42%。運行をご存じであった方（48%）のなかでの「利用した」という方の割合としては 13%となる。
- 「運行を知らなかった」という方は町民では 40%、別荘所有者では 70%。

(2) 利用回数と利用した理由 [町民・別荘所有者]

- 利用回数は、「1～2 回」が 55%。次いで「3～5 回」が 24%。
- 利用した理由は「移動が楽だから」が 41%、次いで「運賃が安いから」が 23%。

2.2.7. 公共交通の満足度と今後のあり方 [町民・別荘所有者]

(1) 公共交通の満足度

- 満足度（満足+やや満足）は、新幹線は80%と非常に高く、次いで在来線が44%、タクシーが28%、町内循環バスが10%、民間路線バスが8%。

(2) 将来的な公共交通（町内循環バス）の体系 [町民・別荘所有者]

- 「路線バスを主体に、現在よりも利便性を向上させた運行形態」が26%と最も多く、次いで「デマンド型を主体に、需要が多い区間や時間帯は路線バスで運行する形態」と「路線バスを主体に、需要が少ない区間や時間帯はデマンド型で運行する形態」が各々19%。

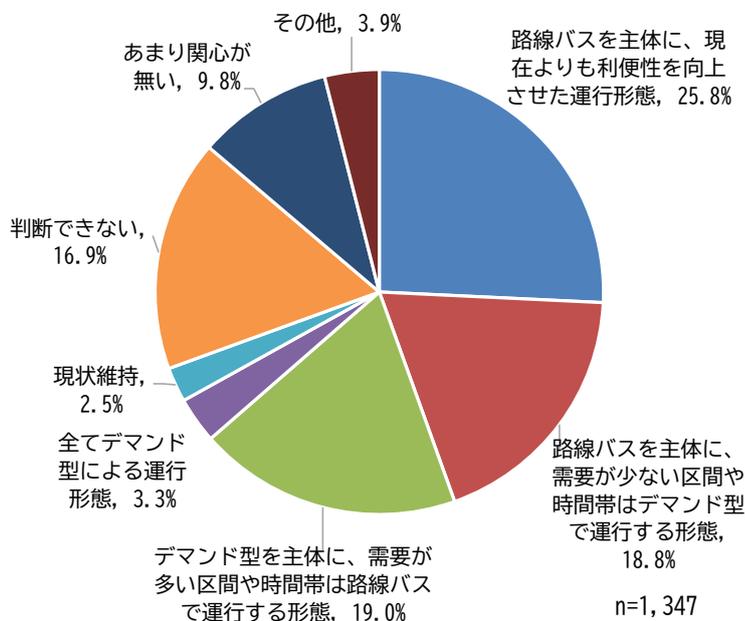


図 2-3 将来的な公共交通（町内循環バス）の体系 [町民・別荘所有者]

(3) 理想的な公共交通の体系における上限運賃 [町民・別荘所有者]

- 将来的な公共交通（町内循環バス）の体系とした場合の上限運賃（高すぎて利用できないと感じる金額）の平均値、中央値は概ね500円。

(4) 理想的な公共交通の体系の実現に向けた経費について [町民・別荘所有者]

- 理想的な公共交通の体系の実現に向けた経費は、「公共交通への経費はもっと増やしても良いと思う」が39%、「公共交通への経費は現状を維持していきべきだと思う」が23%。
- 上記の傾向は、町民・別荘所有者別、地区別においても概ね同様の傾向となっています。

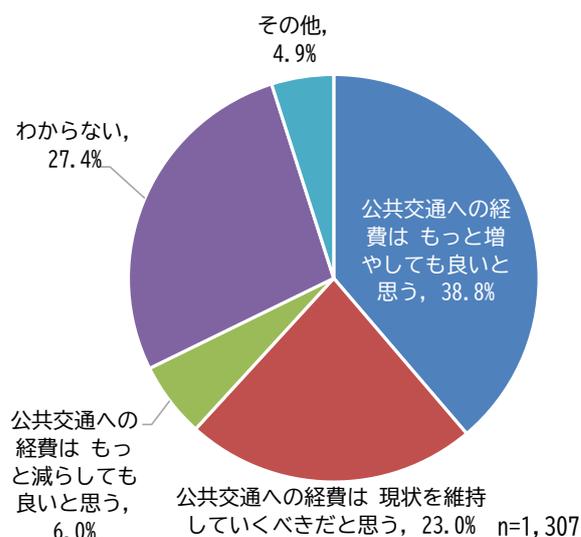


図 2-4 実現に向けた経費について [町民・別荘所有者]

3. 集計結果

3.1. 回答者属性

3.1.1. 居住地区 [町民・別荘所有者]

■回答者の居住地区は、町民、別荘所有者ともに町内4地区からのご回答をいただきました。
 ■最も多く回答が寄せられたのは、町民、別荘所有者ともに中地区となっており、逆に最も回答が少ないのは南地区となっています。

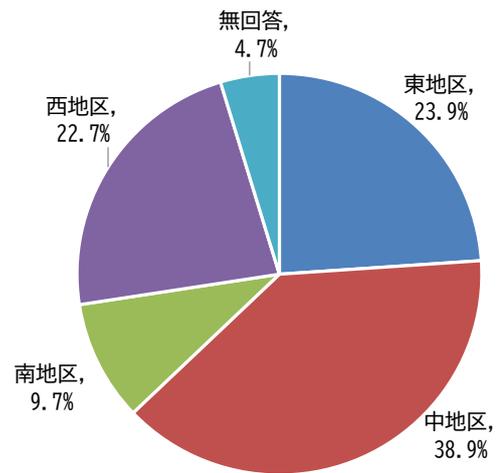


図 3-1 回答者の居住地 [町民・別荘所有者] n=1,426

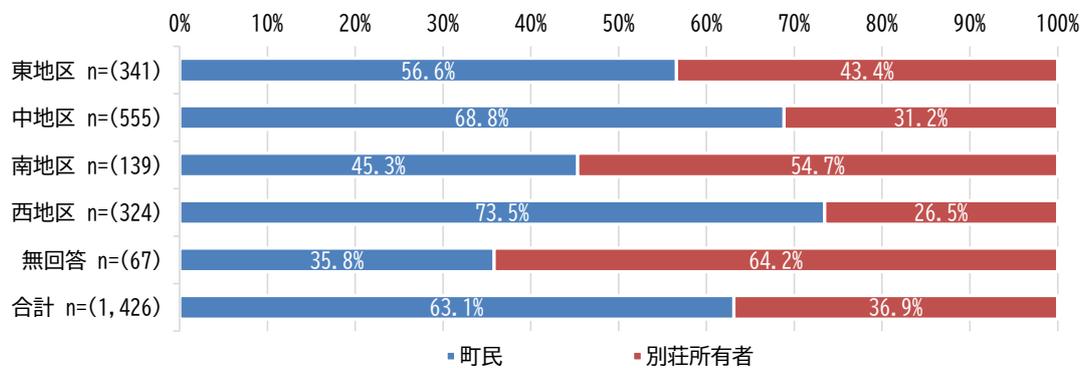


図 3-2 回答者の居住地 [町民・別荘所有者]

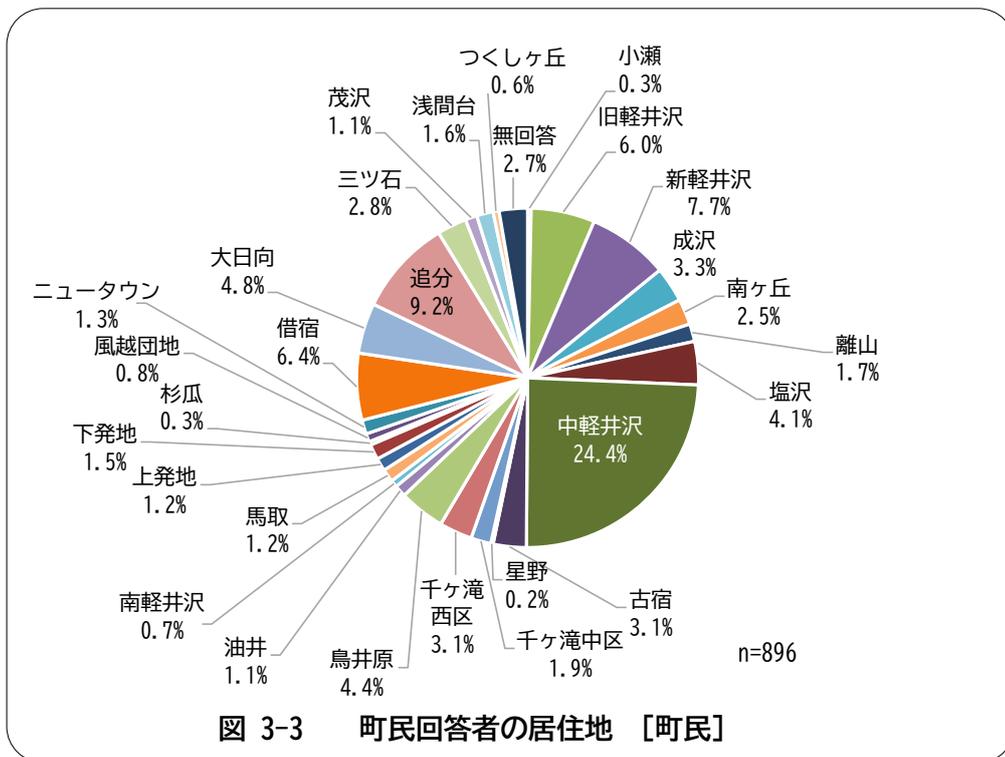


図 3-3 町民回答者の居住地 [町民] n=896

3.1.2. 居住年数 [町民]

- 町民回答者の居住年数は30年以上が最も多く約40%を占めています。
- また、その他の各居住年数の方からも一定の回答が寄せられました。

項目	件数	構成比
5年未満	162	18.0%
5～9年	87	9.7%
10～19年	164	18.2%
20～29年	127	14.1%
30年以上	345	38.3%
無回答	15	1.7%
合計	900	100.0%

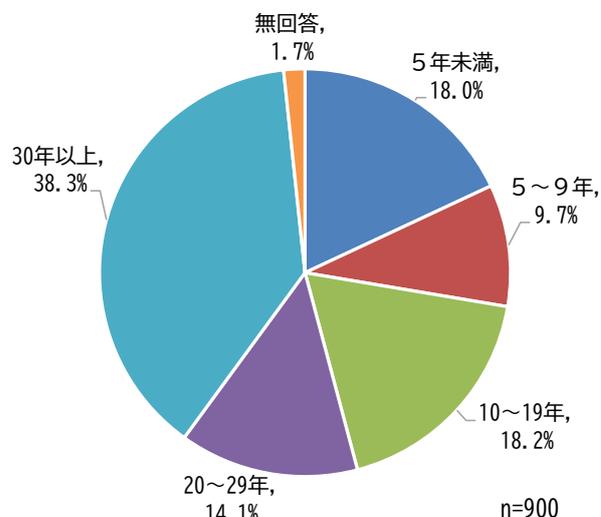


図 3-4 回答者の居住年数[町民]

3.1.3. 別荘の所有年数 [別荘所有者]

- 別荘所有者の別荘所有年数は、10～19年が全体の約1/3を占めています。
- 30年以上と長期所有者している回答者も18%いました。

項目	件数	構成比
10年未満	155	29.5%
10～19年	172	32.7%
20～29年	97	18.4%
30年以上	95	18.1%
無回答	7	1.3%
合計	526	100.0%

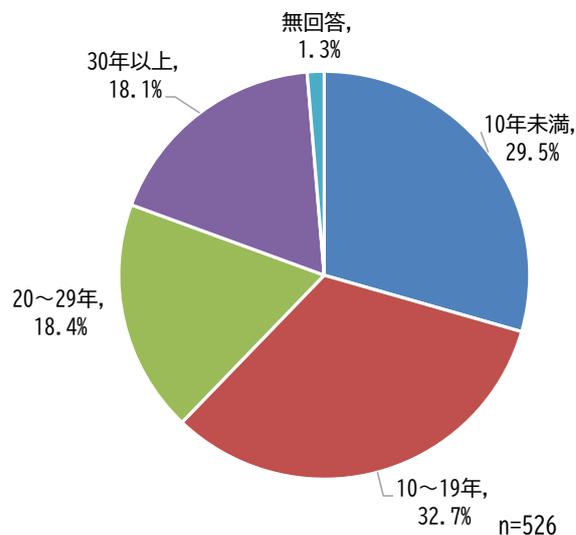


図 3-5 別荘の所有年数[別荘所有者]

3.1.4. 別荘滞在日数 [別荘所有者]

■夏は、期間の半分以上滞在するが約 20%を占めるなど、他の季節に比べ滞在は長期化し、11 日以上の滞在が約 85%を占めています。
 ■一方、冬は滞在 10 日未満が約 50%を占め、ほとんど利用されないという方も 10%いました。

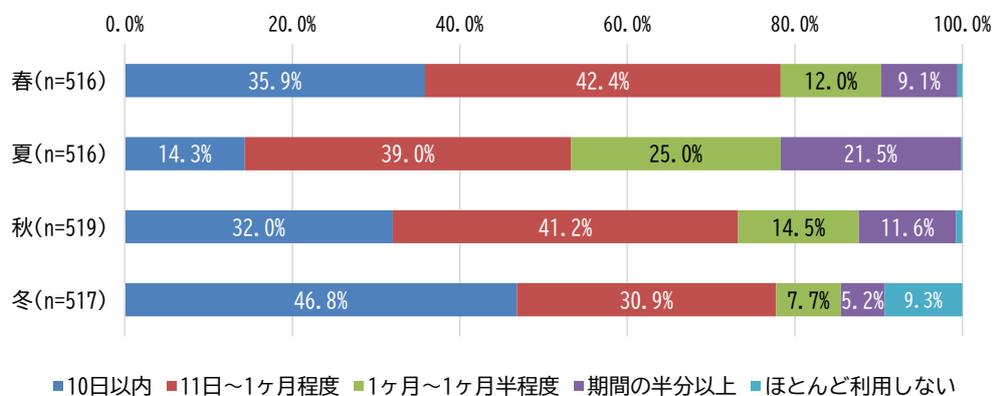


図 3-6 別荘所有者の季節別滞在日数 [別荘所有者]

3.1.5. 最寄りの鉄道駅まで徒歩でかかる時間 [町民・別荘所有者]

■最寄り駅までの徒歩での所要時間は20分以上という方が55%を占めています。
 ■地区別では、所要時間は20分以上という方は、南地区で86%、西地区で61%と多くみられます。

項目	件数	構成比
5分以内	64	4.5%
10分以内	135	9.5%
15分以内	177	12.4%
20分以内	212	14.9%
20分以上かかる	778	54.6%
最寄りの駅を知らない	17	1.2%
無回答	43	3.0%
合計	1,426	100.0%

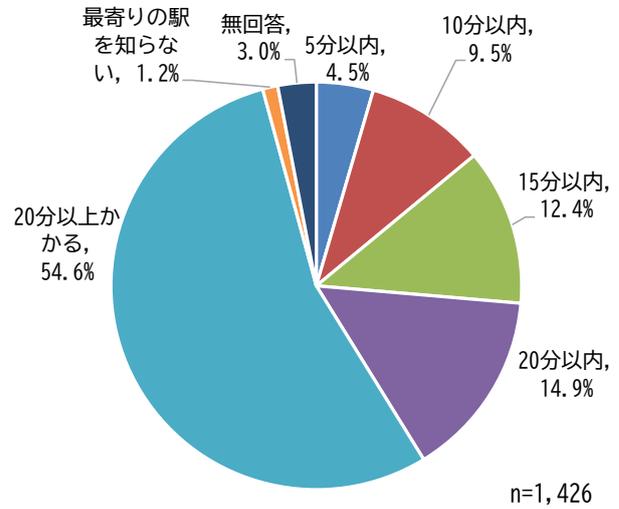


図 3-7 最寄り駅までの徒歩での所要時間 [町民・別荘所有者]

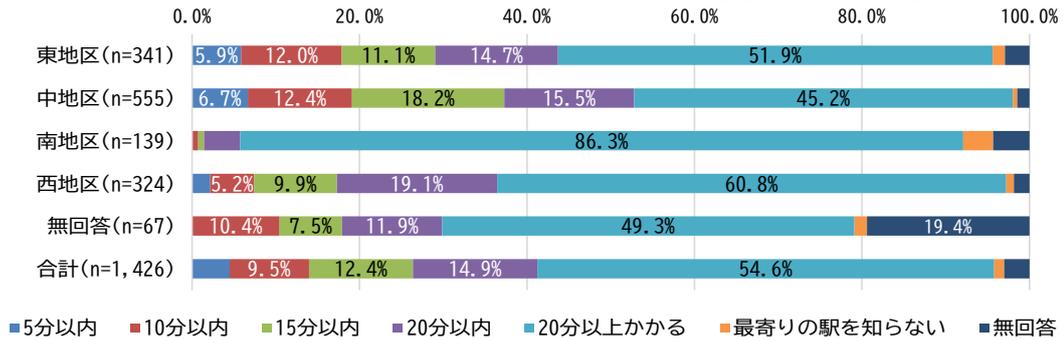


図 3-8 最寄り駅までの徒歩での所要時間 地区別 [町民・別荘所有者]

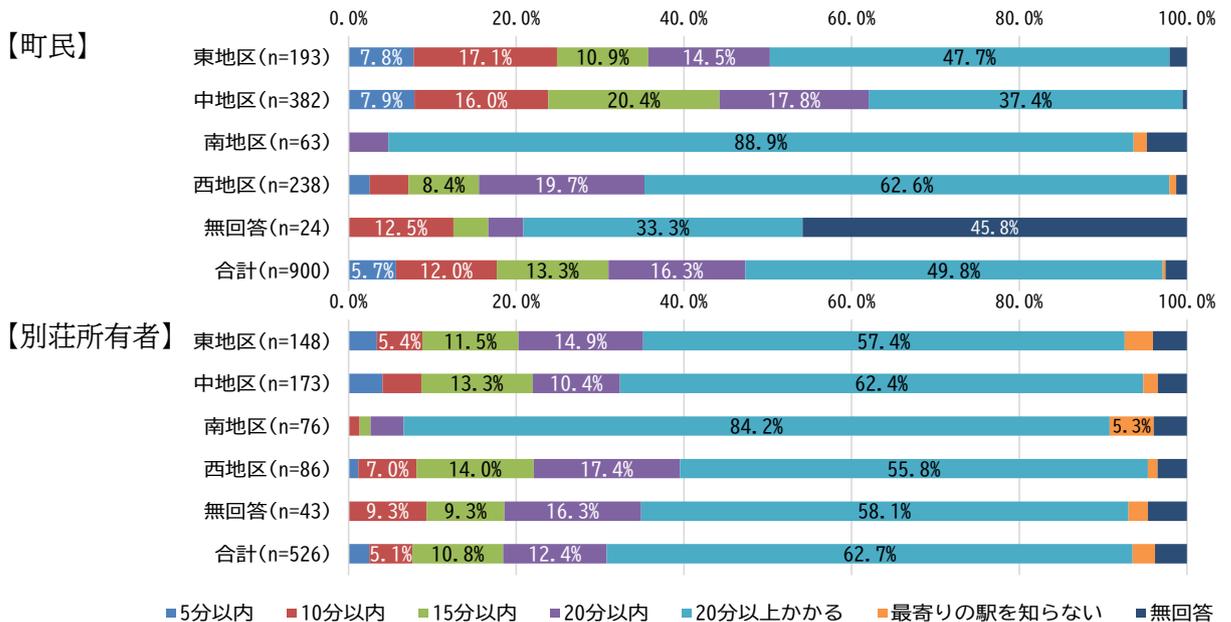


図 3-9 最寄り駅までの徒歩での所要時間 地区別 [町民・別荘所有者]

3.1.6. 最寄りのバス停まで徒歩でかかる時間 [町民・別荘所有者]

■最寄りバス停までの徒歩での所要時間は5分以内という方が30%、10分以内が25%で概ね50%を占めています。
 ■「最寄りバス停を知らない」という方も13%おり、特に、東地区で21%と多い傾向がみられます。

項目	件数	構成比
5分以内	434	30.4%
10分以内	349	24.5%
15分以内	166	11.6%
20分以内	90	6.3%
20分以上かかる	135	9.5%
最寄りのバス停を知らない	191	13.4%
無回答	61	4.3%
合計	1,426	100.0%

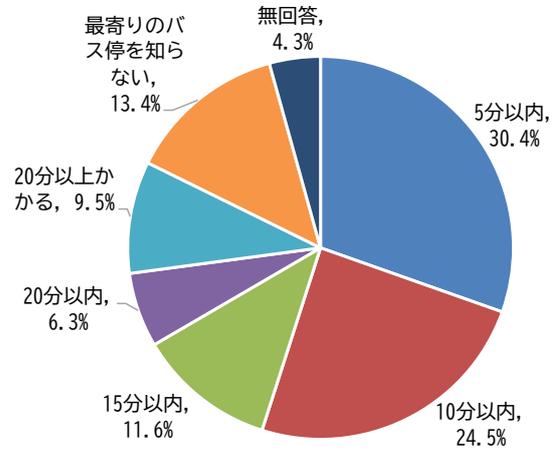


図 3-10 最寄りバス停までの徒歩での所要時間 [町民・別荘所有者]

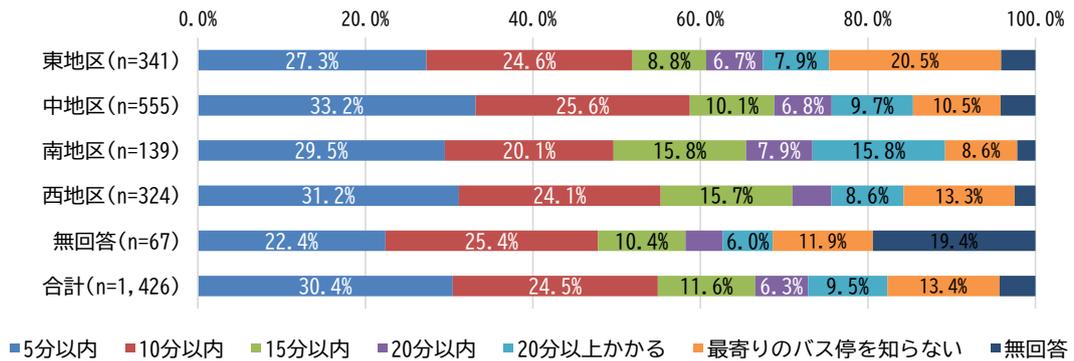


図 3-11 最寄りバス停までの徒歩での所要時間 地区別 [町民・別荘所有者]

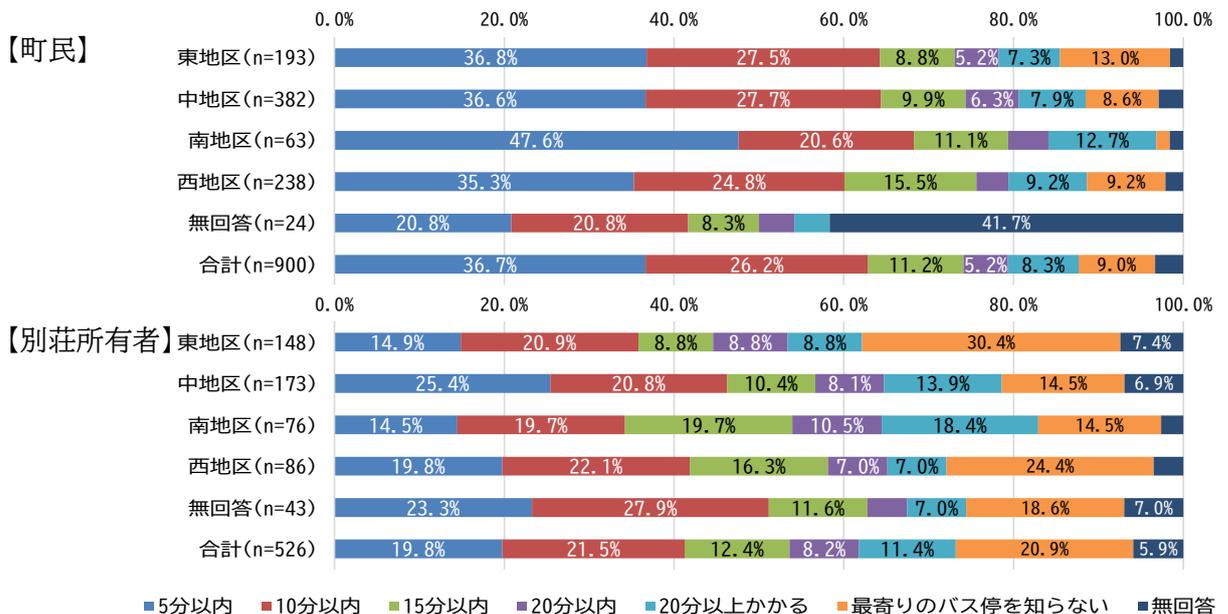


図 3-12 最寄りバス停までの徒歩での所要時間 地区別 [町民・別荘所有者]

3.1.7. 回答者の年齢 [町民・別荘所有者]

■世帯向けアンケートであるため、50歳以上の方が約73%を占めています。
 ■目的別行動などについては、世帯構成員も含めた回答が可能としているため、10歳代から90歳以上と幅広い方から回答をいただきました。

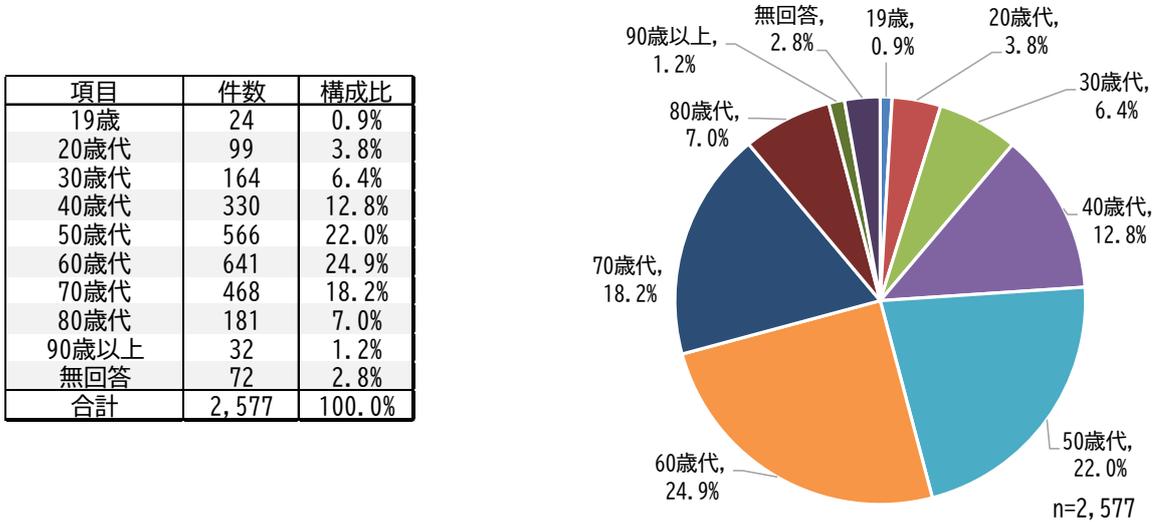


図 3-13 回答者の年齢 [町民・別荘所有者]

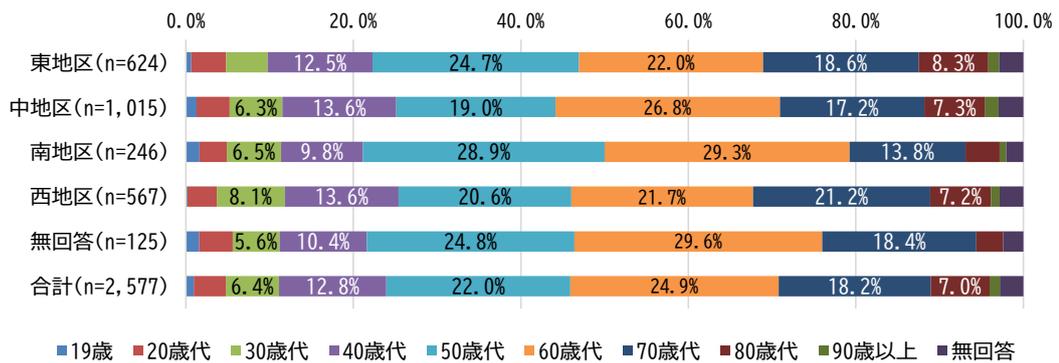


図 3-14 回答者の年齢 地区別 [町民・別荘所有者]

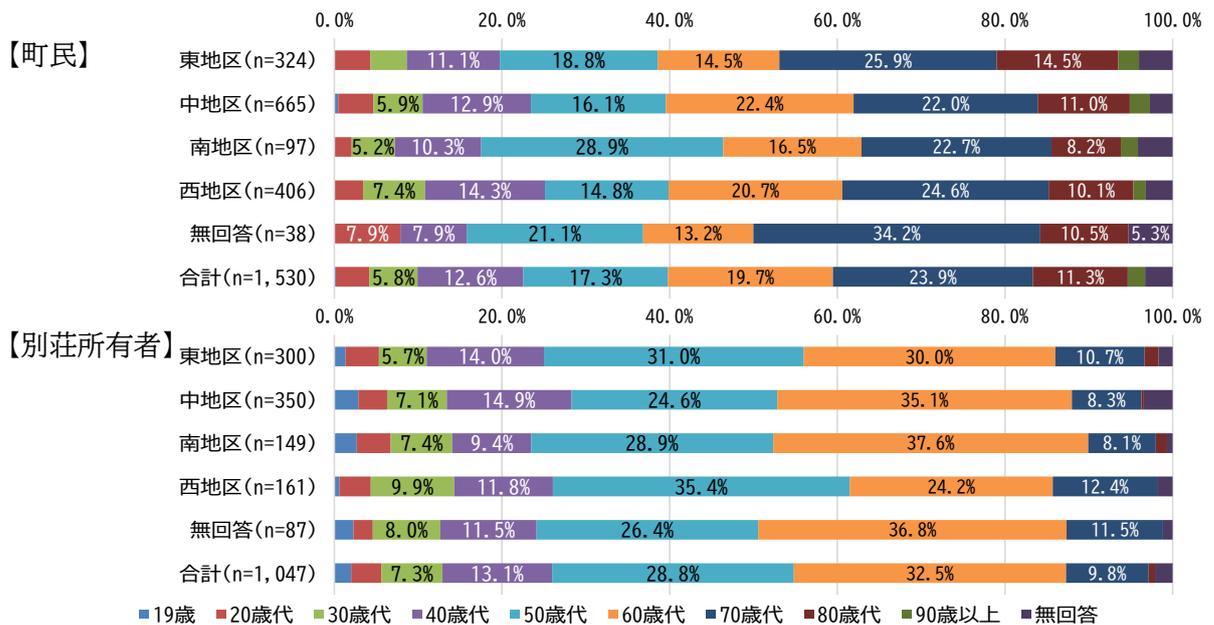


図 3-15 回答者の年齢 地区別 [町民・別荘所有者]

3.1.8. 回答者の職業 [町民・別荘所有者]

■回答者の職業は、「その他」が47%と最も多く、次いで「会社員・団体職員等」が26%、「自営業・農業」が16%となっています。
 ■町民・別荘所有者別では、別荘所有者で「その他」という回答が約50%と町民に比べ多くみられます。

項目	件数	構成比
高校生	1	0.0%
大学・短大・専門	15	0.6%
会社員・団体職員等	659	25.6%
自営業・農業	402	15.6%
パート	187	7.3%
その他	1,198	46.5%
無回答	115	4.5%
合計	2,577	100.0%

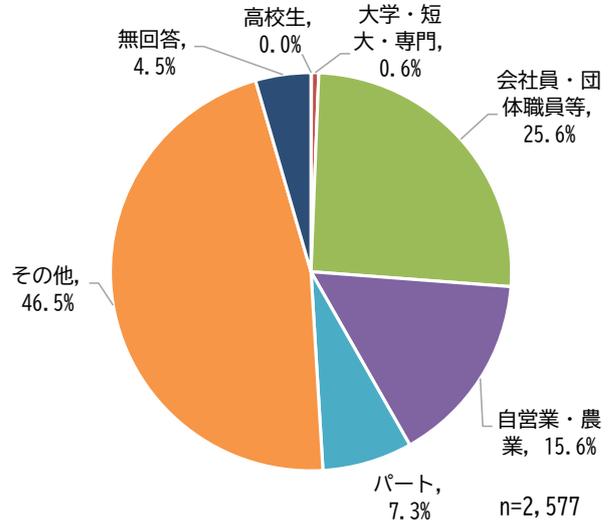


図 3-16 回答者の職業[町民・別荘所有者]

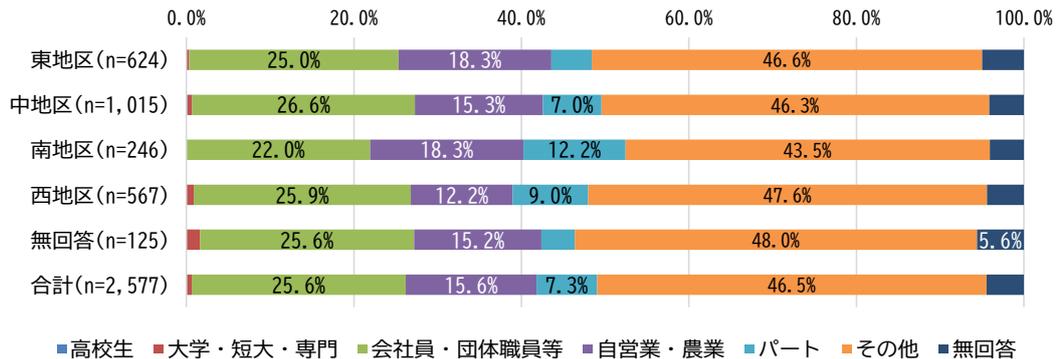
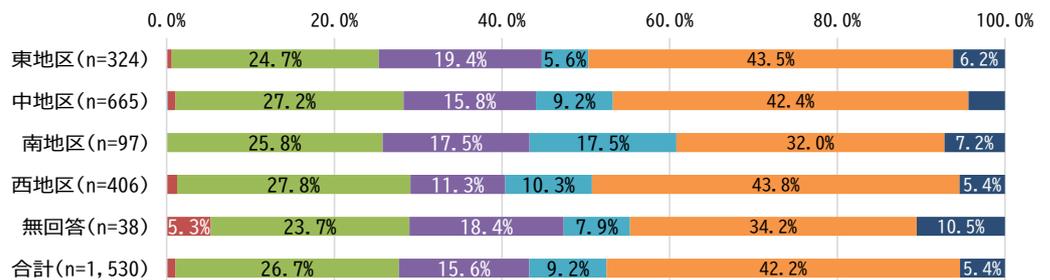


図 3-17 回答者の職業 地区別 [町民・別荘所有者]

【町民】



【別荘所有者】

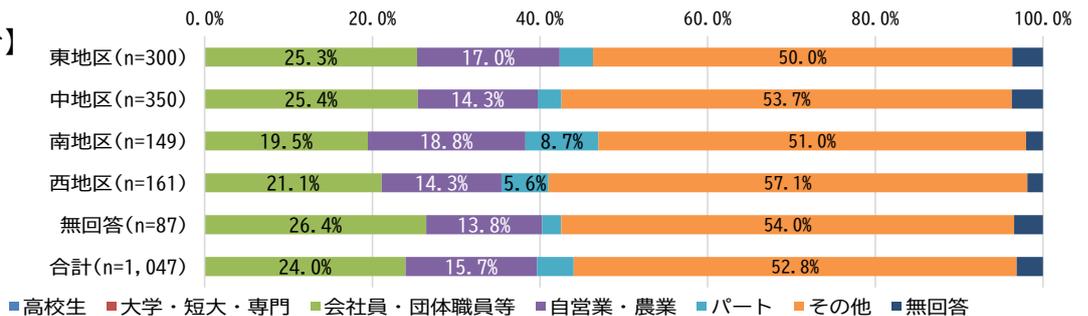


図 3-18 回答者の職業 地区別 [町民・別荘所有者]

3.1.9. 自動車運転免許の保有状況 [町民・別荘所有者]

- 自動車運転免許の保有状況は、「持っている」という方が83%、「持っていない」が8%、「免許返納した」が6%となっています。
- 年齢別では、「持っている」という方は30～50歳代以下では9割以上となっており、年齢が高くなるに従いその割合は低くなっています。
- 「免許返納した」という方は、70歳代で11%、80歳代で23%、90歳以上では47%を占めています。

項目	件数	構成比
持っている	2,133	82.8%
持っていない	208	8.1%
免許返納した	145	5.6%
無回答	91	3.5%
合計	2,577	100.0%

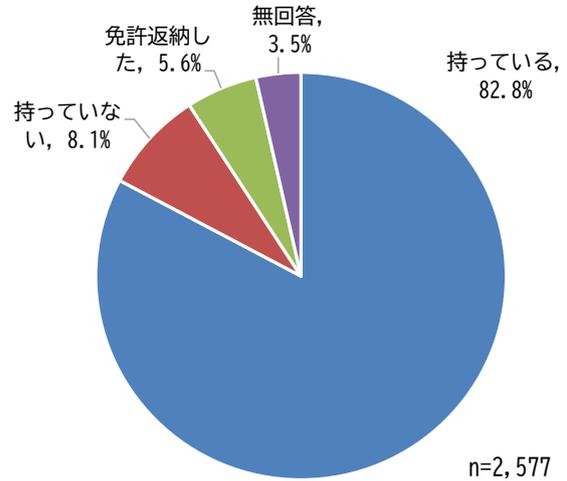


図 3-19 自動車運転免許の保有状況 [町民・別荘所有者]

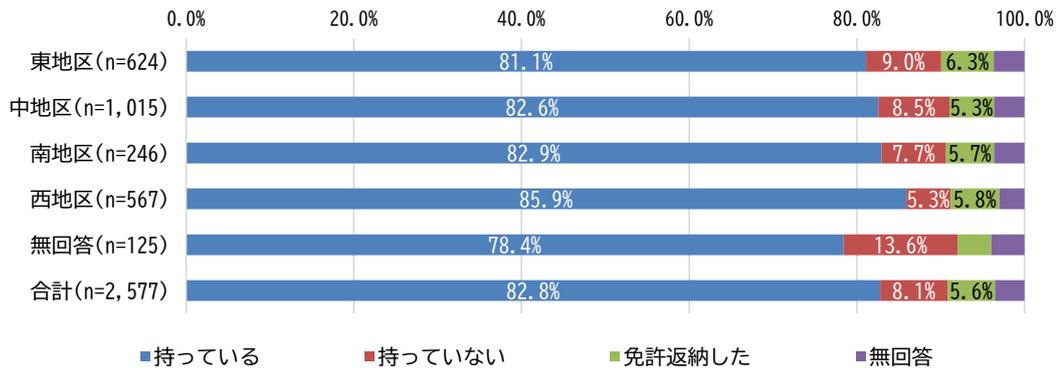


図 3-20 自動車運転免許の保有状況 地区別 [町民・別荘所有者]

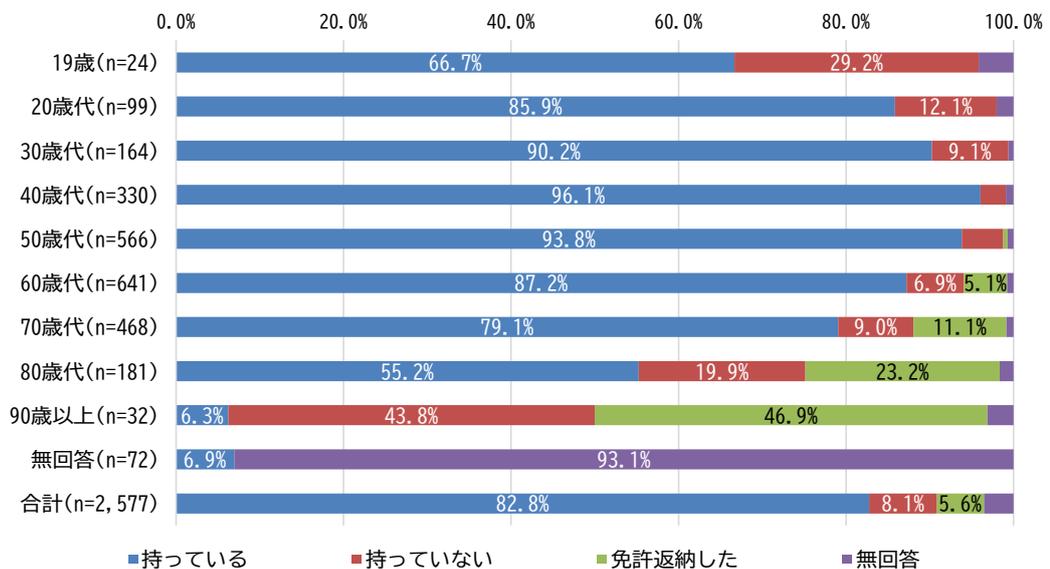


図 3-21 自動車運転免許の保有状況 年齢別 [町民・別荘所有者]

3.1.10. スマートフォンの保有状況 [町民・別荘所有者]

- スマートフォンの保有状況は、「持っている」という方が 90%、「持っていない」が 6% となっています。
- 年齢別では、「持っている」という方は 60 歳代以下では 90% 以上となっており、70 歳代以上では年齢が高くなるに従いその割合は低くなっています。

項目	件数	構成比
持っている	2,314	89.8%
持っていない	159	6.2%
無回答	104	4.0%
合計	2,577	100.0%

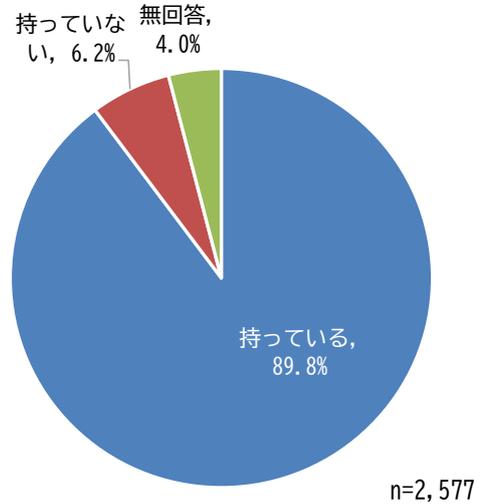


図 3-22 スマートフォンの保有状況[町民・別荘所有者]

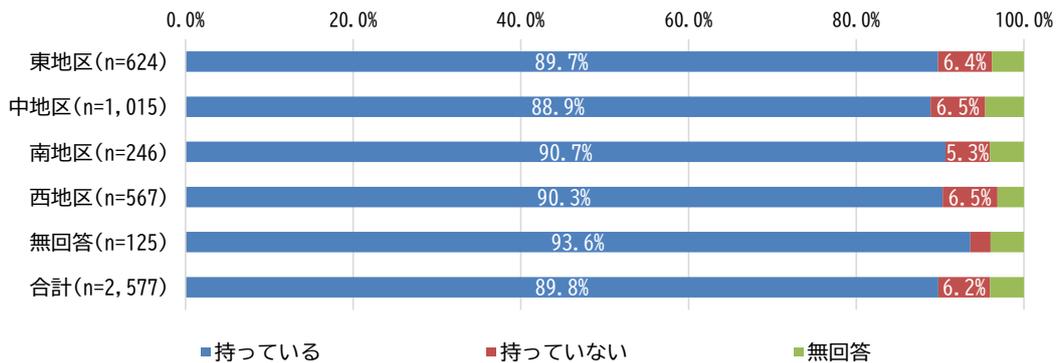


図 3-23 スマートフォンの保有状況 地区別 [町民・別荘所有者]

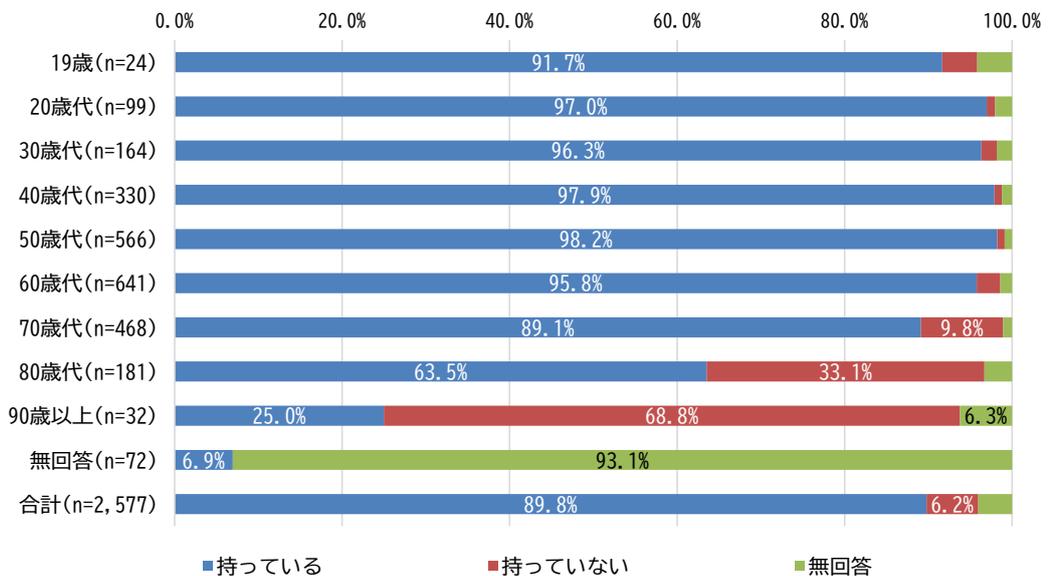


図 3-24 スマートフォンの保有状況 年齢別 [町民・別荘所有者]

3.2. 通勤・通学について

3.2.1. 通勤・通学先 [町民]

■通勤・通学先では、「通勤・通学していない」が最多のほか、町内への通勤・通学が30%以上を占めています。
 ■近隣市町への通勤・通学のほか、県外への通勤・通学がおおよそ10%見られます。

項目	件数	構成比
町内 東地区	165	12.4%
町内 中地区	176	13.2%
町内 南地区	45	3.4%
町内 西地区	64	4.8%
御代田町	39	2.9%
佐久市	56	4.2%
小諸市	27	2.0%
その他県内	41	3.1%
県外	142	10.7%
通勤・通学していない	578	43.4%
合計	1,333	100.0%

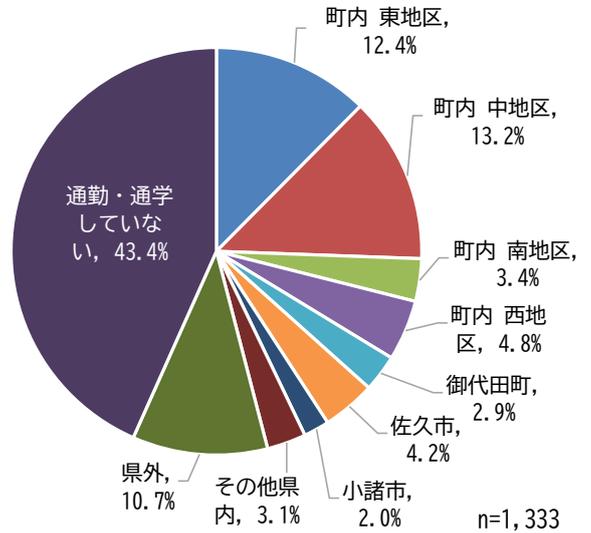


図 3-25 通勤・通学先 [町民]

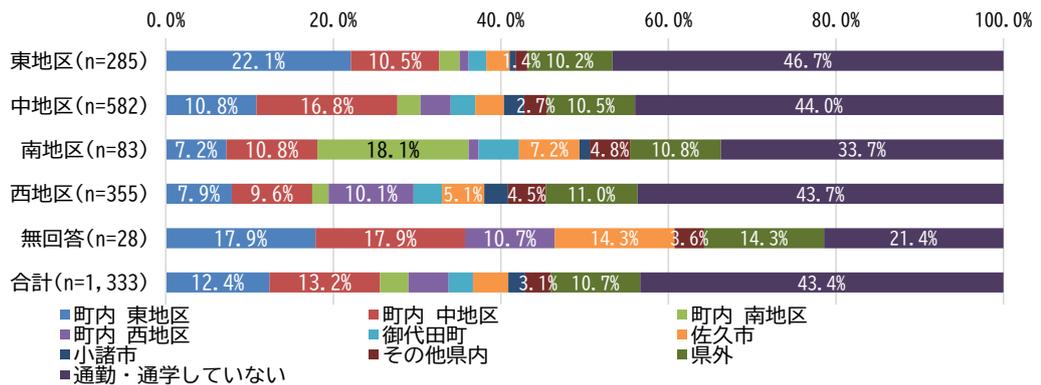


図 3-26 通勤・通学先 地区別 [町民]

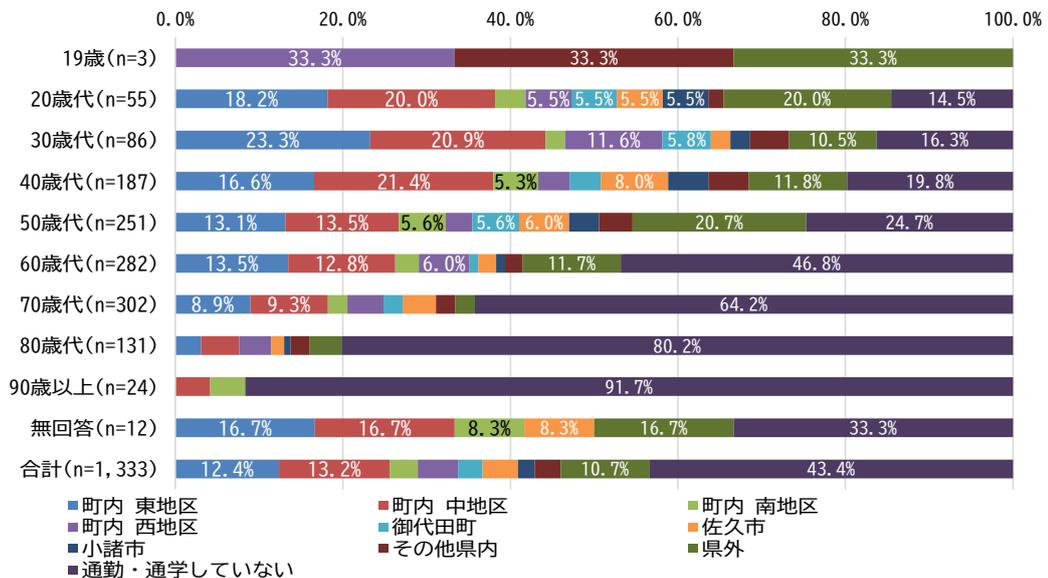


図 3-27 通勤・通学先 年代別 [町民]

3.2.2. 通勤・通学の頻度 [町民]

- 通勤・通学の頻度は、「平日のほぼ毎日」が35%と最も多く、次いで「土日を含むほぼ毎日」が33%、「平日の2～3日」が13%となっています。
- 年齢別では、20歳代では週2～3日程度以下の低頻度が15%ですが、年齢が高くなるに従いその割合は高くなり、70歳代以上では半数以上を占める状況となっています。

項目	件数	構成比
土日を含むほぼ毎日	242	32.7%
平日のほぼ毎日	258	34.8%
土日および平日の2～3日	71	9.6%
平日の2～3日	92	12.4%
週に1回	32	4.3%
月に1～2回	46	6.2%
合計	741	100.0%

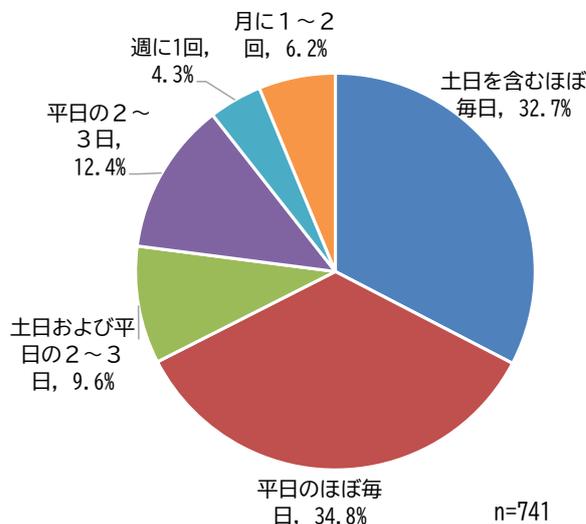


図 3-28 通勤・通学の頻度 [町民]

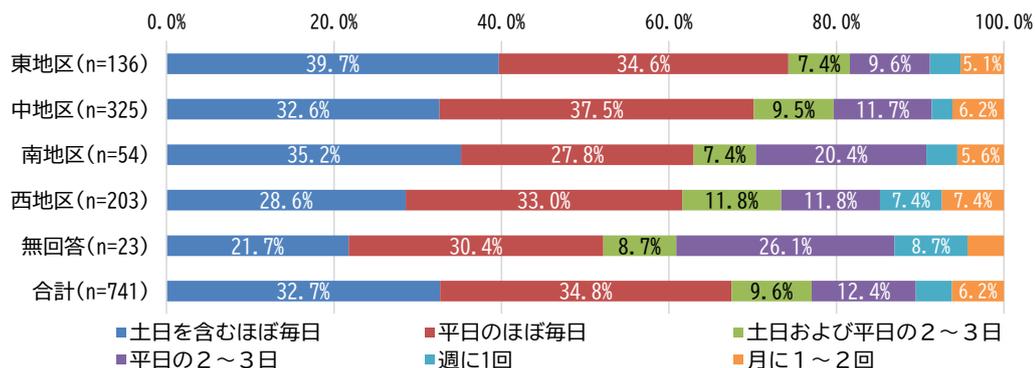


図 3-29 通勤・通学の頻度 地区別 [町民]

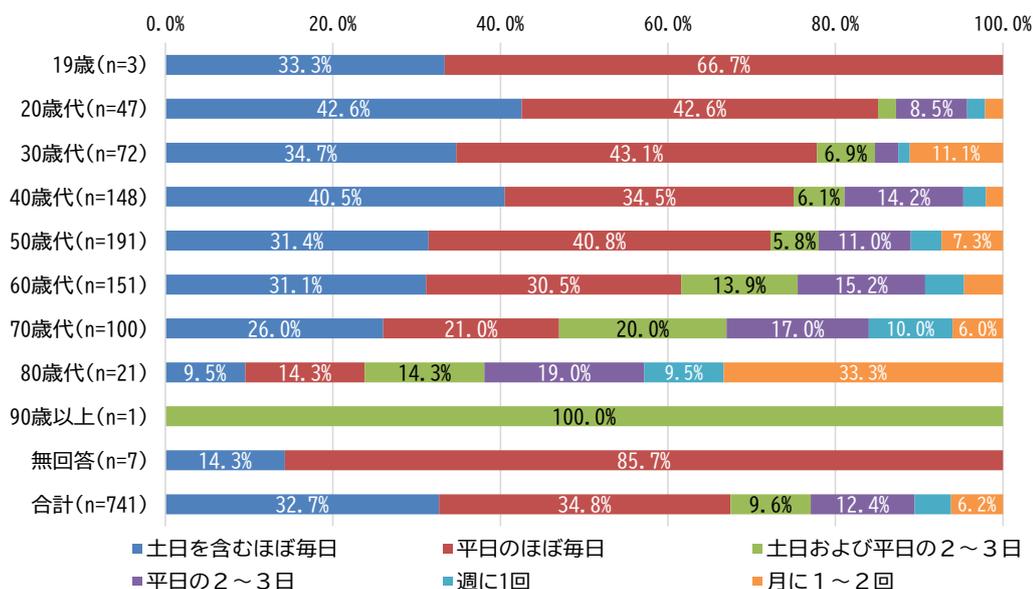


図 3-30 通勤・通学の頻度 年代別 [町民]

3.2.3. 通勤・通学の出発・帰宅時間 [町民]

- 通勤・通学における出発時刻は、7・8時台が多く全体の約60%を占めています。
- 帰宅時刻は分散傾向にあり、16時台から徐々に増え、18時台の20%をピークに徐々に減少しますが、21時台という方も6%いました。
- 年齢別では、70歳代では出発時刻が遅く、帰宅時間が早い方が若干多い傾向がみられます。

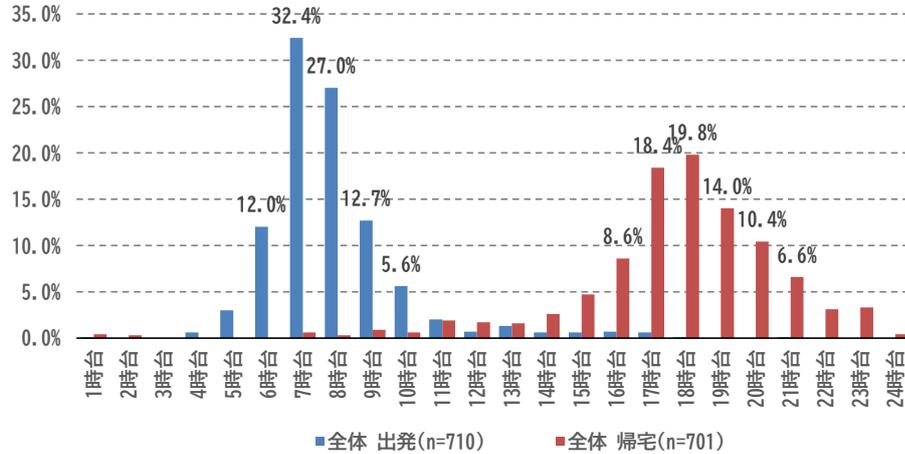
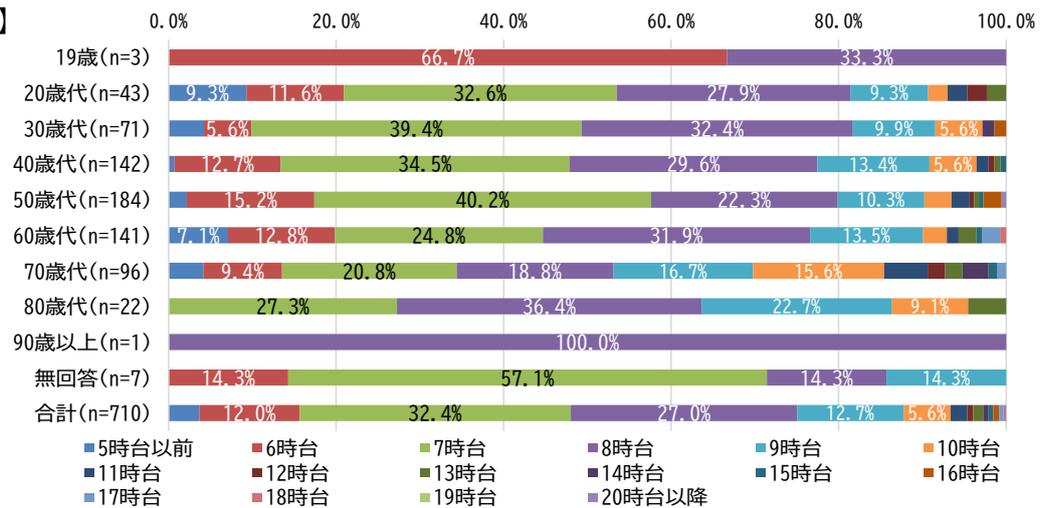


図 3-31 通勤・通学の出発・帰宅時間 [町民]

【出発時間】



【帰宅時間】

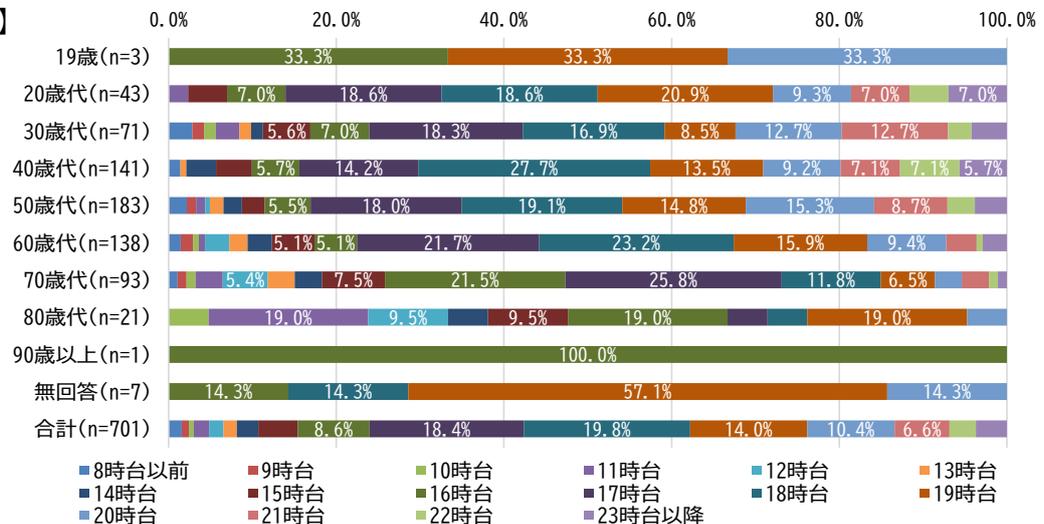
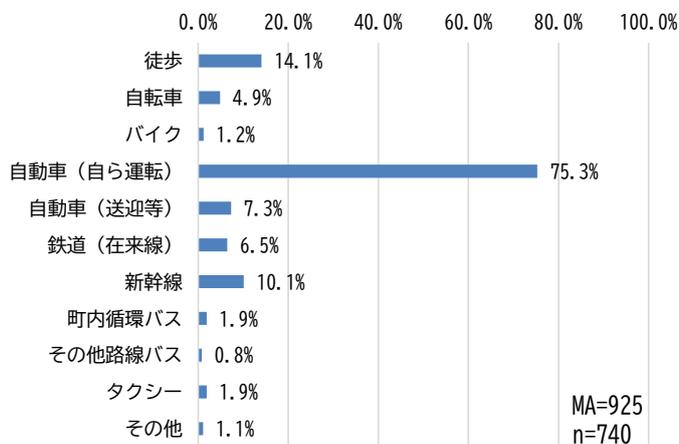


図 3-32 通勤・通学の出発・帰宅時間 年代別 [町民]

3.2.4. 通勤・通学時の交通手段 [町民]

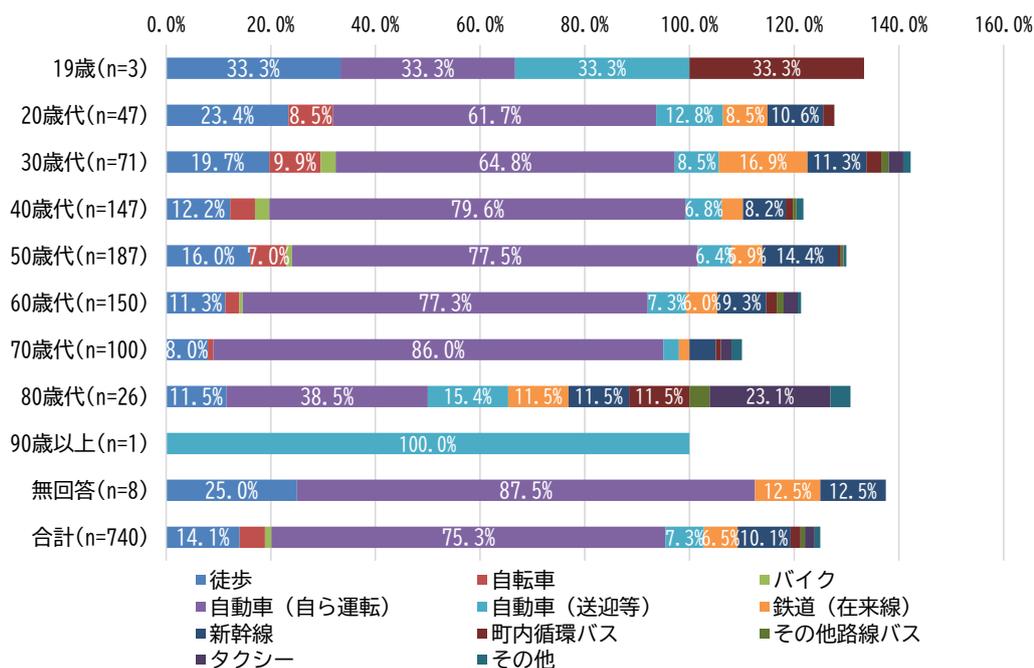
- 通勤・通学の交通手段では、自動車（自ら運転）の回答が非常に多く、その一方で、バスの回答は少ない状況です。
- 年齢別では、19歳及び80歳代以上で他の年代に比べ「自動車（送迎等）」と「町内循環バス」の割合が高い状況がみられます。

項目	件数	構成比
徒歩	104	14.1%
自転車	36	4.9%
バイク	9	1.2%
自動車（自ら運転）	557	75.3%
自動車（送迎等）	54	7.3%
鉄道（在来線）	48	6.5%
新幹線	75	10.1%
町内循環バス	14	1.9%
その他路線バス	6	0.8%
タクシー	14	1.9%
その他	8	1.1%
合計(MA)	925	
合計(n)	740	110.9%



※割合は回答者数（n）に対する回答数。

図 3-33 通勤・通学時の交通手段 [町民]



※回答者数（n）に対する割合

図 3-34 通勤・通学の頻度 年代別 [町民]

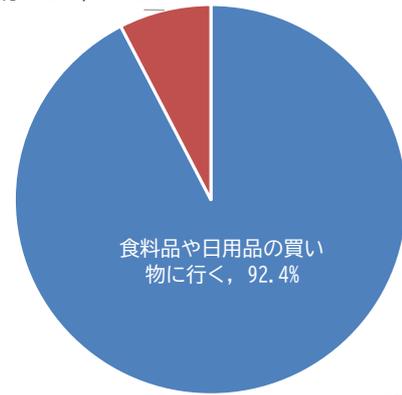
3.3. 買い物等について

3.3.1. 買い物目的の外出の有無 [町民・別荘所有者]

- 「食料品や日用品の買い物に行く」という方が92%を占めています。
- 「食料品や日用品の買い物に行く」という方を町民・別荘所有者別にみると、町民に比べ別荘所有者の方が約5%程度高い状況となっています。
- 年代別では、19歳～30歳代、80歳代では「ほとんど行かない」という方が12～24%と高く、90歳代以上では56%と非常に高くなっています。

項目	件数	構成比
食料品や日用品の買い物に行く	2,219	92.4%
食料品や日用品の買い物にほとんど行かない	182	7.6%
合計	2,401	100.0%

食料品や日用品の買い物にほとんど行かない, 7.6%



n=2,401

図 3-35 買い物目的の外出の有無 [町民・別荘所有者]

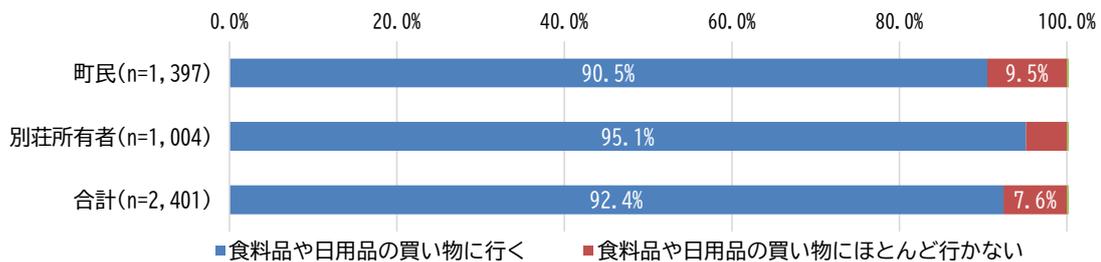


図 3-36 買い物目的の外出の有無 町民・別荘所有者別

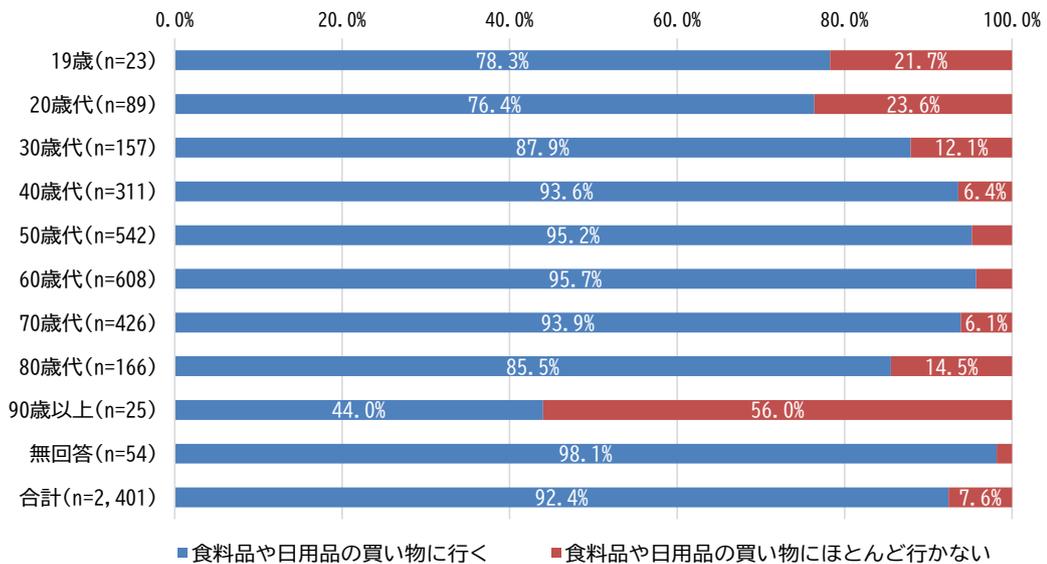
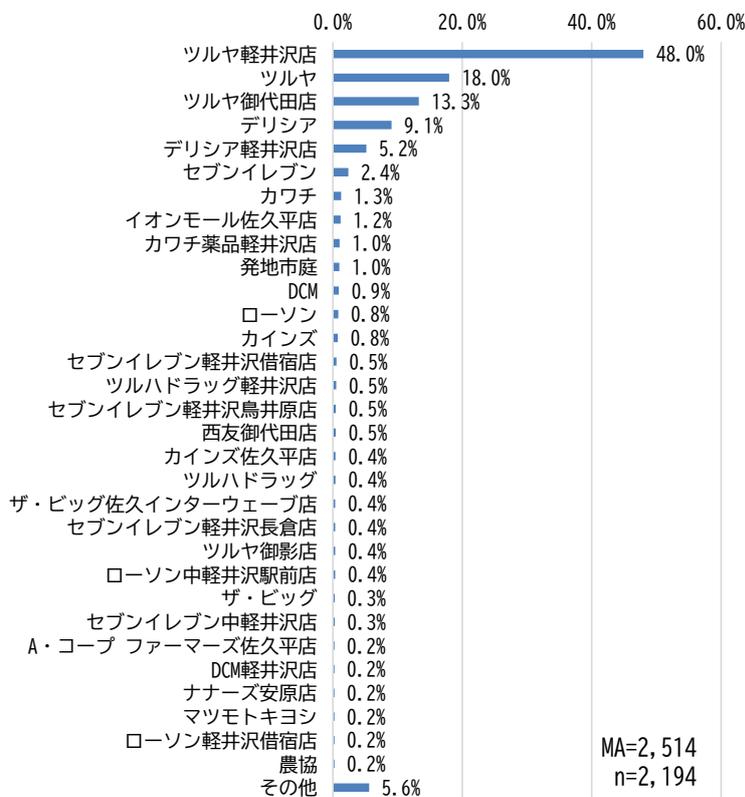


図 3-37 買い物目的の外出の有無 年代別 [町民・別荘所有者]

3.3.2. 主な買い物先 [町民・別荘所有者]

■主な買い物先としては、回答者の約半数が「ツルヤ軽井沢店」と回答しています。

※1：設問としては単一回答でしたが、多くの方が複数の店舗を回答いただいたため2店舗までを集計しました。



※2：割合は回答者数（n）に対する回答数。支店名が不明なものは具体的な支店名記載の店舗とは別に集計。

図 3-38 主な買い物先 [町民・別荘所有者]

3.3.3. 買い物の頻度 [町民・別荘所有者]

- 買い物の頻度は、「週に数日」が45%と最も多く、次いで「週に1回」が26%、「月に数回」が14%となっています。
- 年齢別では、20歳代以下と90歳以上では他の年代に比べ「月に数回」以下の低頻度の回答が多くみられます。

項目	件数	構成比
土日を含むほぼ毎日	242	32.7%
平日のほぼ毎日	258	34.8%
土日および平日の2～3日	71	9.6%
平日の2～3日	92	12.4%
週に1回	32	4.3%
月に1～2回	46	6.2%
合計	741	100.0%

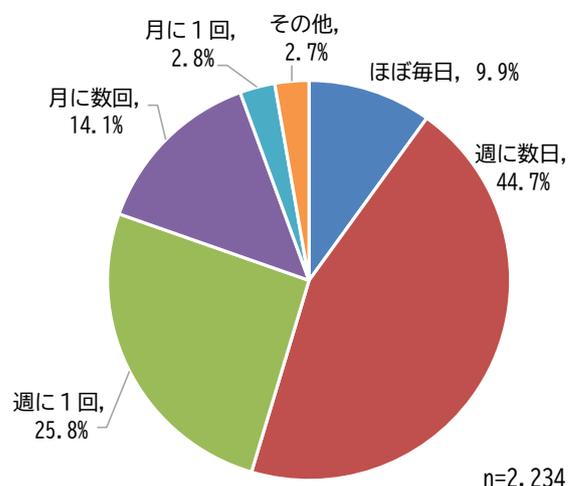


図 3-39 買い物の頻度 [町民・別荘所有者]

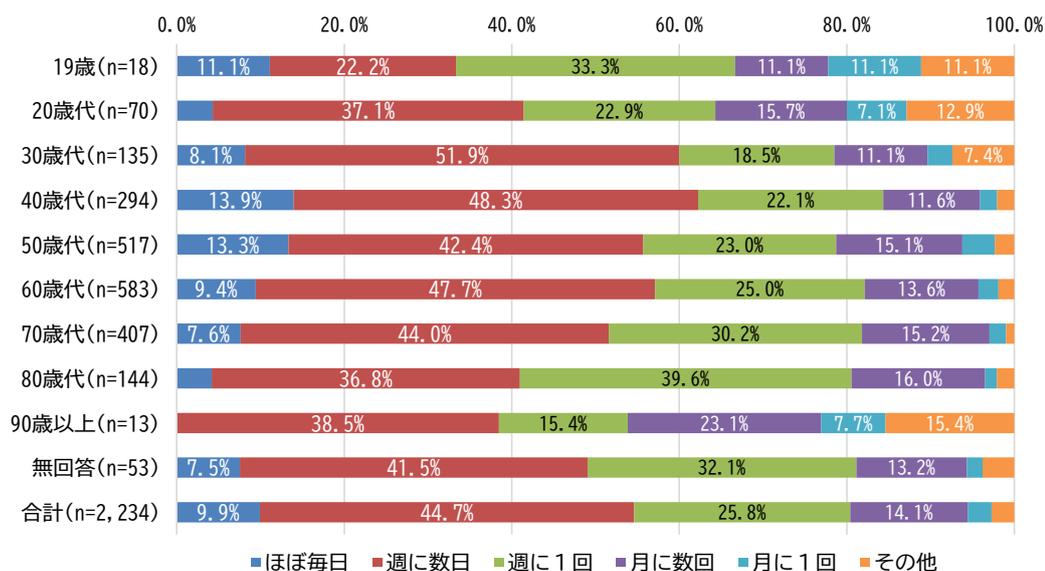


図 3-40 買い物の頻度 年代別 [町民・別荘所有者]

3.3.4. 買い物の出発・帰宅時間帯 [町民・別荘所有者]

- 買い物の出発時間帯は、「午前日中（9～10 時台）」が 33%と最も多く、次いで「午後日中（14～15 時台）」が 26%となっています。
- 帰宅時間帯は、「夕方（16～17 時台）」が 25%と最も多いですが、比較的分散傾向にあります。
- 出発時間帯と帰宅時間帯を合わせてみると、「午前日中（9～10 時台）」に出発する方は午前同時間帯（9～10 時台）に帰宅する方が 46%、昼（11～13 時台）が 41%など、概ね 1～2 時間程度の買い物時間であることがわかります。このような傾向は 14 時台までに出発される方で見受けられますが、夕方 16 時以降に出発される方は同時間帯に帰宅される方が 80%以上と短時間での買い物という傾向がみられます。
- 年代別では、60 歳代以上では朝から 13 時台までに出発される方が 50%以上を占めており、特に、80 歳代では 70%が朝から 13 時台までに出発する状況となっています。

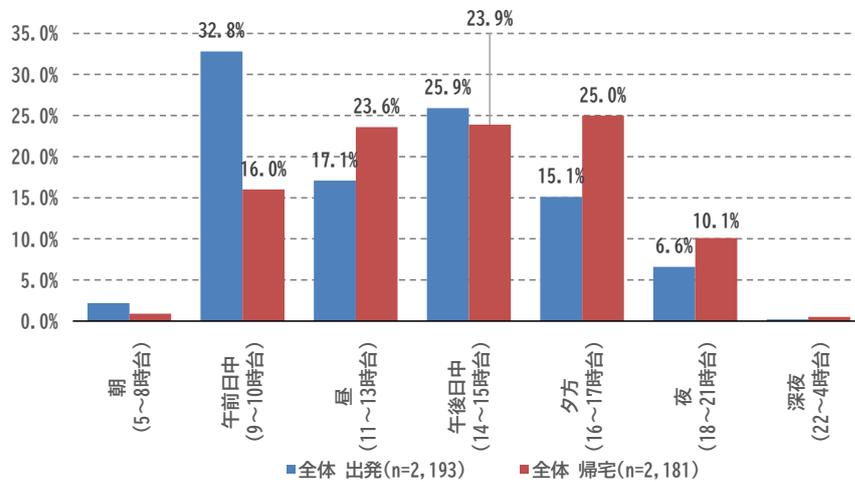


図 3-41 買い物の出発・帰宅時間帯 [町民・別荘所有者]

表 3-1 出発時間帯と帰宅時間帯のクロス集計 [町民・別荘所有者]

帰宅時間帯 \ 出発時間帯	朝 (5～8時台)	午前日中 (9～10時台)	昼 (11～13時台)	午後日中 (14～15時台)	夕方 (16～17時台)	夜 (18～21時台)	深夜 (22～4時台)	合計
朝 (5～8時台)	38.3%	31.9%	10.6%	6.4%	10.6%	2.1%	0.0%	100.0%
午前日中 (9～10時台)		46.1%	41.2%	9.0%	2.7%	0.6%	0.6%	100.0%
昼 (11～13時台)			55.2%	32.8%	11.7%	0.3%	0.0%	100.0%
午後日中 (14～15時台)				58.5%	39.9%	1.3%	0.4%	100.0%
夕方 (16～17時台)					80.2%	19.5%	0.3%	100.0%
夜 (18～21時台)						100.0%	0.0%	100.0%
深夜 (22～4時台)							100.0%	100.0%

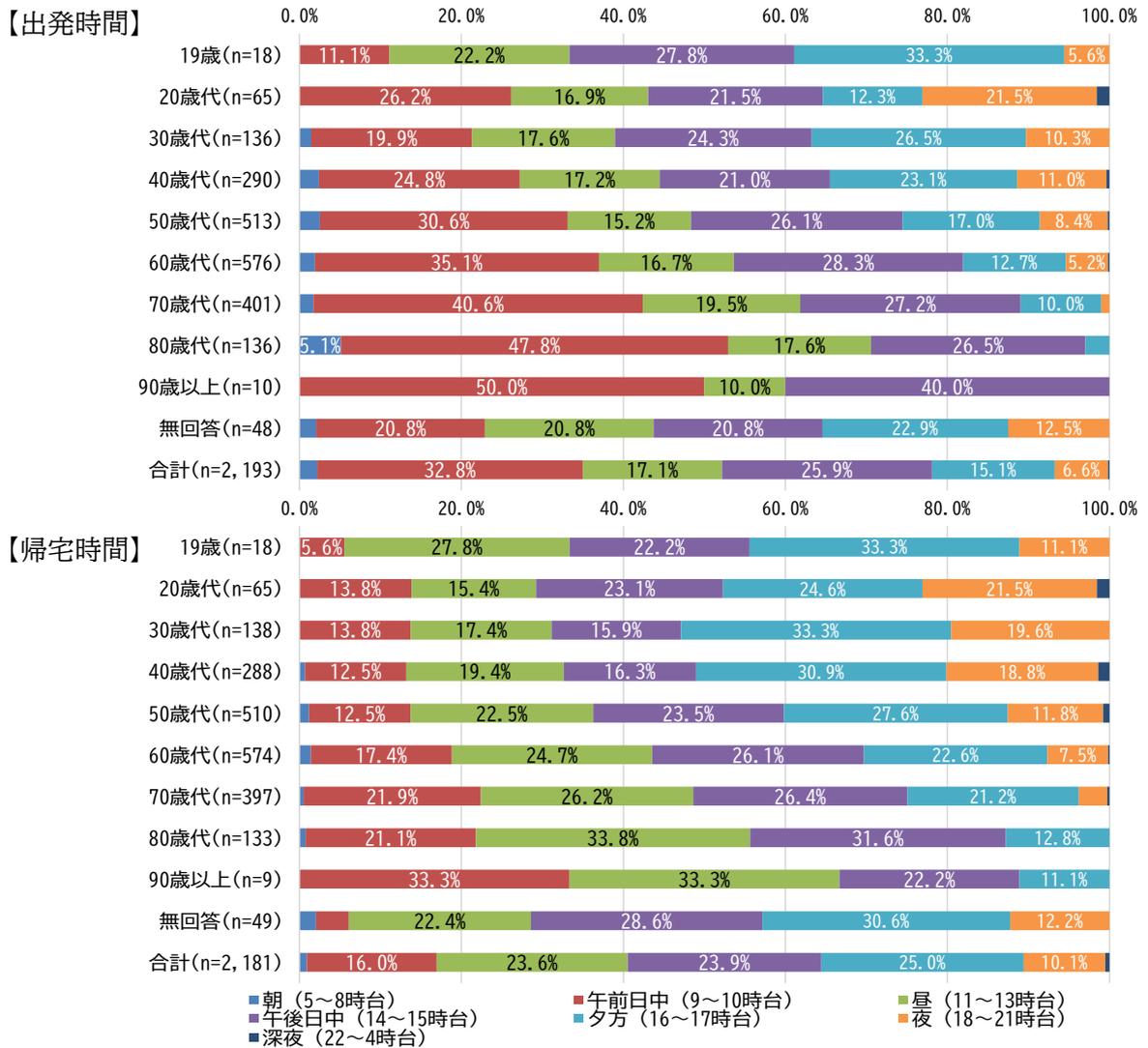


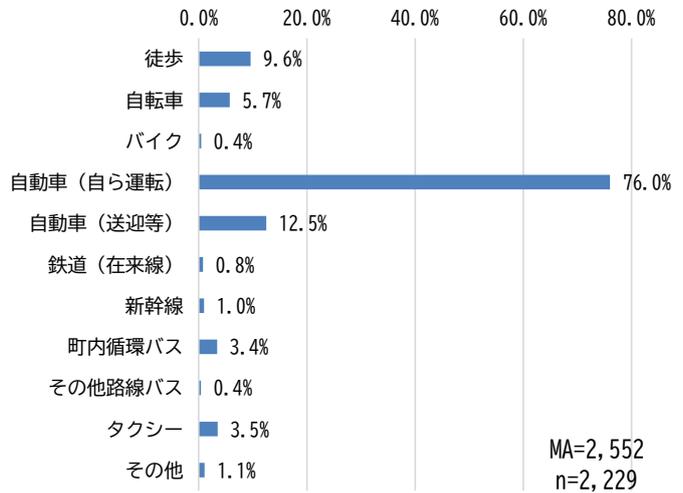
図 3-42 買い物のお発・帰宅時間 年代別 [町民・別荘所有者]

3.3.5. 買い物外出時の交通手段 [町民・別荘所有者]

■ 買い物の移動手段においても、自動車（自ら運転）の回答が非常に多く、公共交通の回答は少ない状況です。

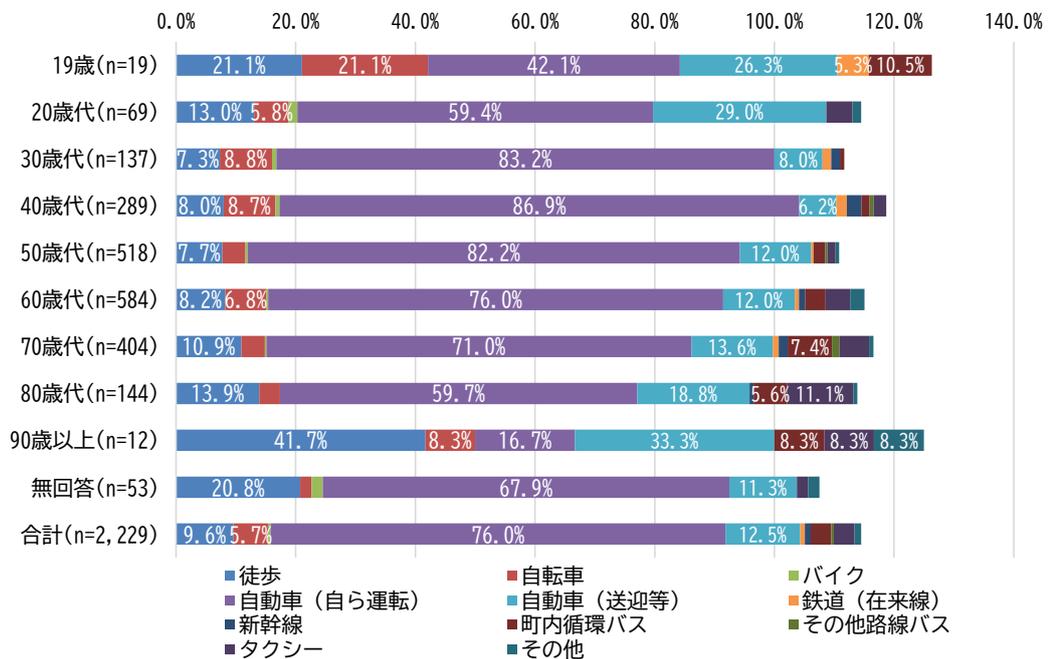
■ 年齢別では、19歳及び80歳代以上で他の年代に比べ「自動車（送迎等）」と「町内循環バス」の割合が高い状況がみられ、特に「町内循環バス」を利用される方は、19歳と70歳代以上で6～11%と高くなっています。

項目	件数	構成比
徒歩	214	9.6%
自転車	128	5.7%
バイク	10	0.4%
自動車（自ら運転）	1,695	76.0%
自動車（送迎等）	278	12.5%
鉄道（在来線）	18	0.8%
新幹線	22	1.0%
町内循環バス	76	3.4%
その他路線バス	9	0.4%
タクシー	78	3.5%
その他	24	1.1%
合計(MA)	2,552	
合計(n)	2,229	104.9%



※割合は回答者数（n）に対する回答数。

図 3-43 買い物外出時の交通手段 [町民・別荘所有者]



※回答者数（n）に対する割合

図 3-44 買い物外出時の交通手段 年代別 [町民・別荘所有者]

3.4. 通院について

3.4.1. 通院目的の外出の有無 [町民・別荘所有者]

- 通院目的の外出としては、「定期的に通院している」が40%、「定期的な通院はしていない」が60%となっています。
- 町民・別荘所有者別にみると、「定期的に通院している」という方は町民では58%と多く、別荘所有者では13%と大きく状況は異なります。
- 年代別では、年齢が高くなるに従い「定期的に通院している」という方は増加し、70歳代以上では全体の2/3以上の方が「定期的に通院している」と回答されています。

項目	件数	構成比
定期的に通院している	920	39.7%
定期的な通院はしていない	1,397	60.3%
合計	2,317	100.0%

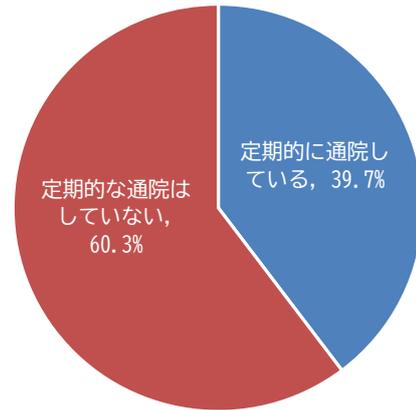


図 3-45 定期的な通院の有無 [町民・別荘所有者] n=2,317

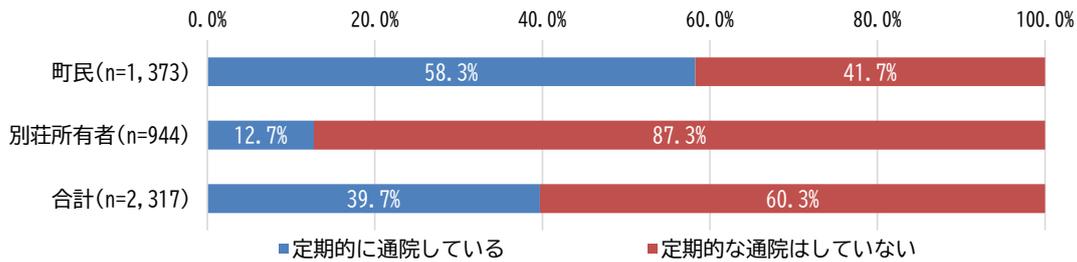


図 3-46 定期的な通院の有無 町民・別荘所有者別

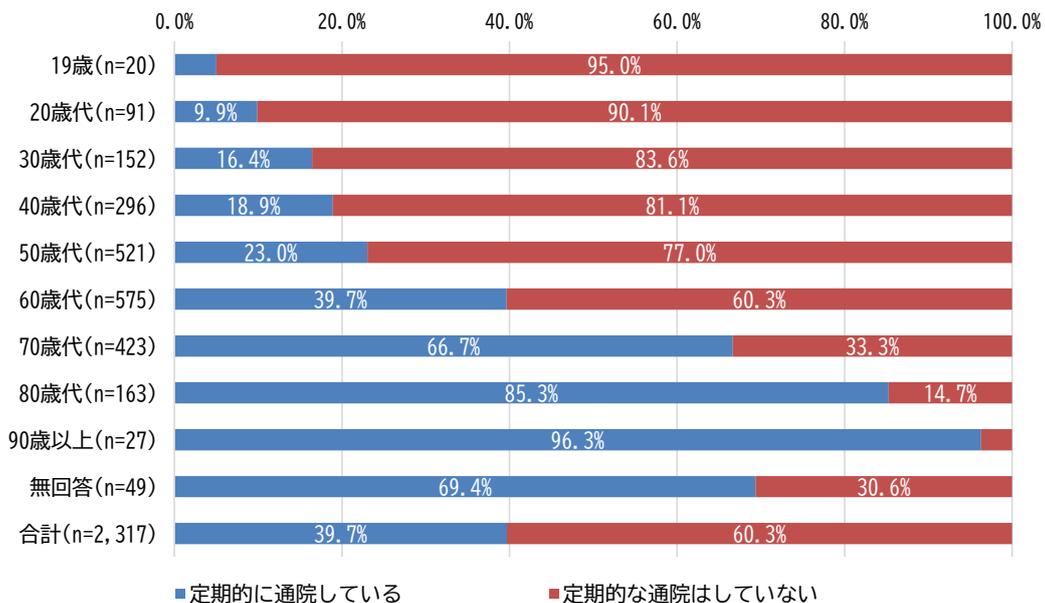
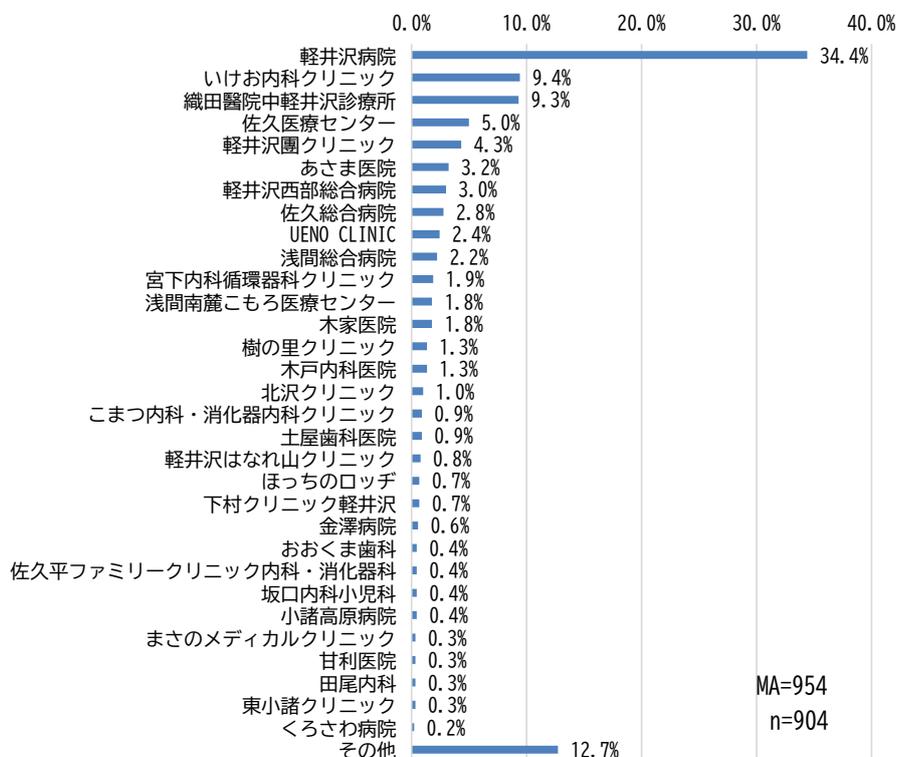


図 3-47 定期的な通院の有無 年代別 [町民・別荘所有者]

3.4.2. 主な通院先 [町民・別荘所有者]

■主な通院先としては、「軽井沢病院」との回答が34%を占めています。

※1：設問としては単一回答でしたが、多くの方が複数の病院を回答いただいたため2つまでを集計しました。



※2：割合は回答者数（n）に対する回答数。

図 3-48 主な通院先 [町民・別荘所有者]

3.4.3. 通院の頻度 [町民・別荘所有者]

■通院の頻度は、「その他」が53%と最も多く、次いで「月に1回」が32%、「月に数回」が11%となっています。「その他」については、具体的な回答を求めているので明確にはわかりませんが、体調を崩した際に受診するなど定期的に通院していない状況ではないかと推測されます。

■年齢別では、19～40歳代では回答者が少なく定期的な通院をされている方からの回答のみがほとんどで「月に1回」以上の通院が50%以上を占めている傾向がみられます。また、50歳代では「月に1回」以上の通院が41%ですが、年齢が高くなるに従いその割合は高くなっていく傾向がみられます。

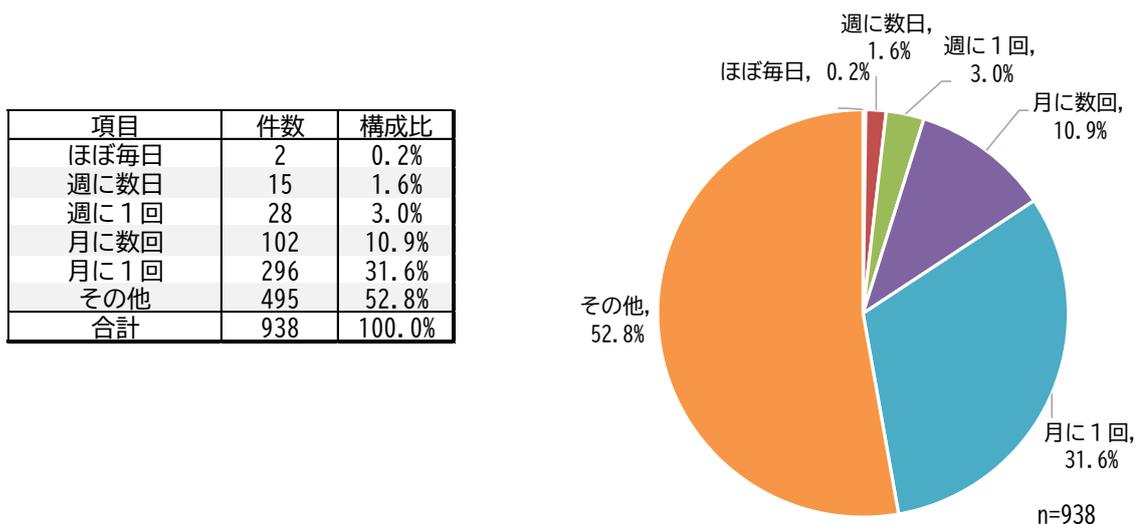


図 3-49 通院の頻度 [町民・別荘所有者]

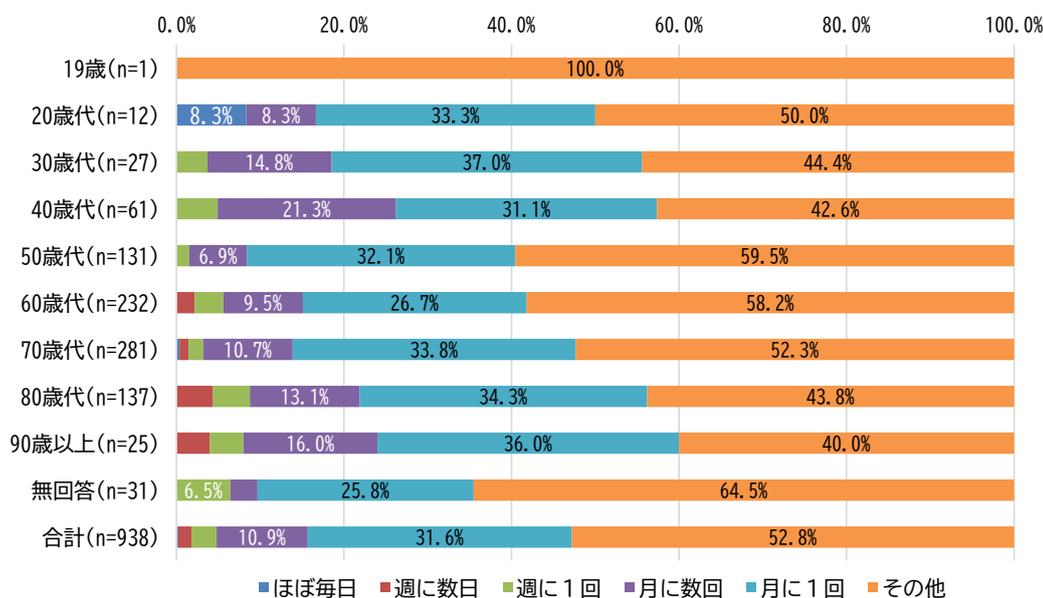


図 3-50 通院の頻度 年代別 [町民・別荘所有者]

3.4.4. 通院の出発・帰宅時間帯 [町民・別荘所有者]

- 通院目的の外出時における出発時間帯は、9時台が33%と最も多く、次いで10時台が21%、8時台が19%となっており、全体の約70%が8～10時台に集中しています。
- 帰宅時間帯は、11時台が最も多く23%、次いで12時台17%、13時台が15%となっており、比較的分散傾向にあります。
- 出発時間帯と帰宅時間帯を合わせてみると、診察・診療内容によるため1時間で済む方や、数時間にわたる方も見られますが、出発から帰宅までの時間としては比較的2～3時間のほうが多くみられます。

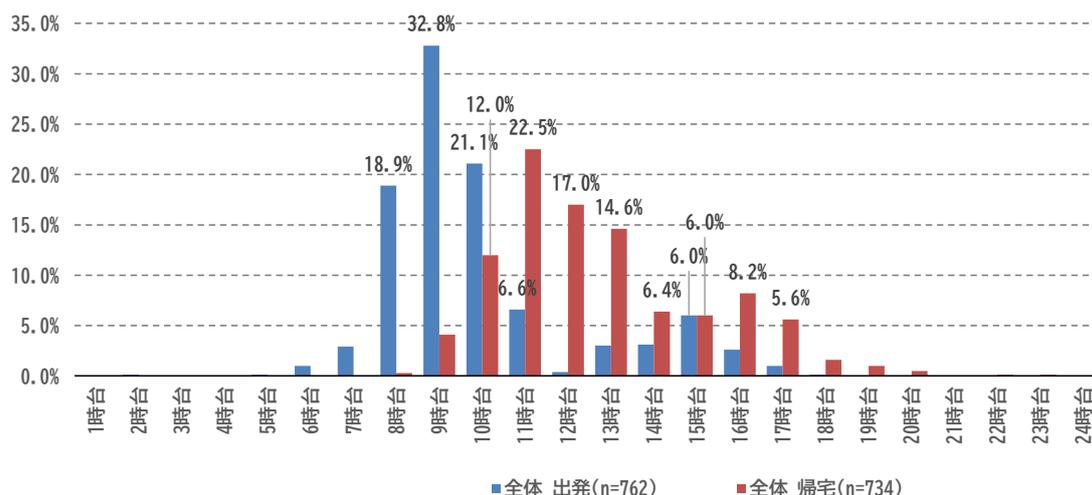


図 3-51 通院の出発・帰宅時間帯 [町民・別荘所有者]

表 3-2 出発時間帯と帰宅時間帯のクロス集計 [町民・別荘所有者]

帰宅時間帯 \ 出発時間帯	8時台	9時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時台以降	合計
7時台		4.5%	4.5%	9.1%	4.5%	31.8%	9.1%	9.1%	9.1%	4.5%	4.5%	9.1%	100.0%
8時台	1.4%	7.1%	21.4%	29.3%	17.9%	12.1%	6.4%	0.7%	2.1%			1.4%	100.0%
9時台		8.1%	20.4%	31.9%	16.6%	12.8%	4.3%	3.8%	1.3%			0.9%	100.0%
10時台			5.8%	27.1%	28.4%	22.6%	10.3%	3.9%	1.3%	0.6%		0.0%	100.0%
11時台				11.4%	31.8%	25.0%	15.9%	9.1%	2.3%	2.3%	2.3%	0.0%	100.0%
12時台						66.7%			33.3%			0.0%	100.0%
13時台						8.7%	4.3%	60.9%	17.4%	8.7%		0.0%	100.0%
14時台								21.7%	60.9%	13.0%		4.3%	100.0%
15時台								4.5%	56.8%	36.4%	2.3%	0.0%	100.0%
16時台									15.0%	80.0%	5.0%	0.0%	100.0%
17時台										12.5%	75.0%	12.5%	100.0%
18時台												100.0%	100.0%

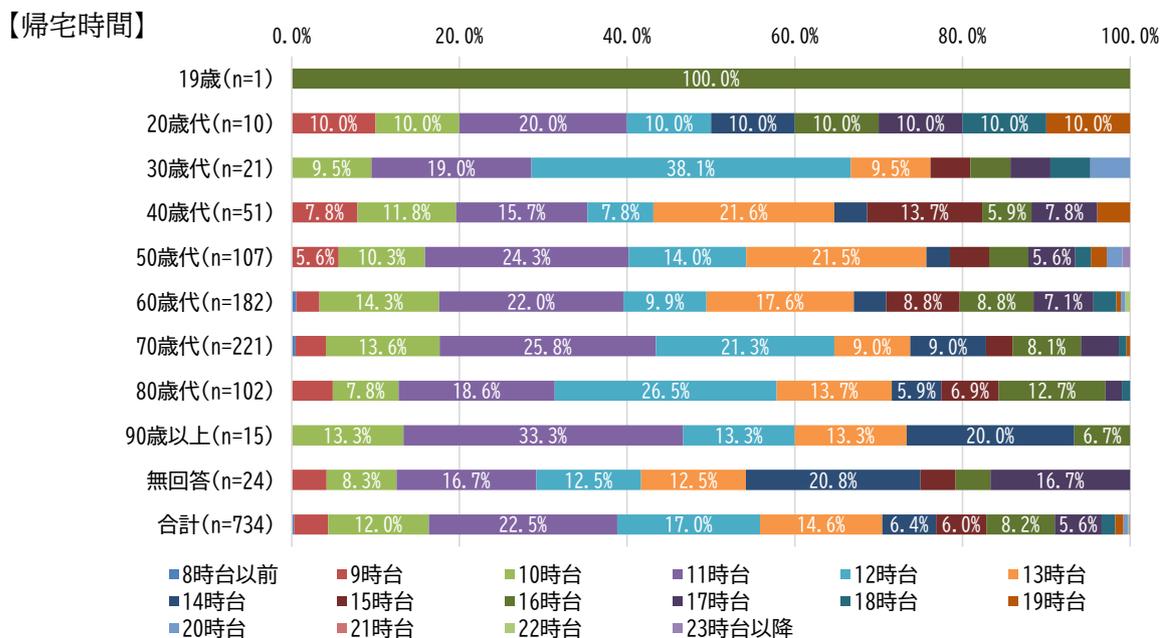
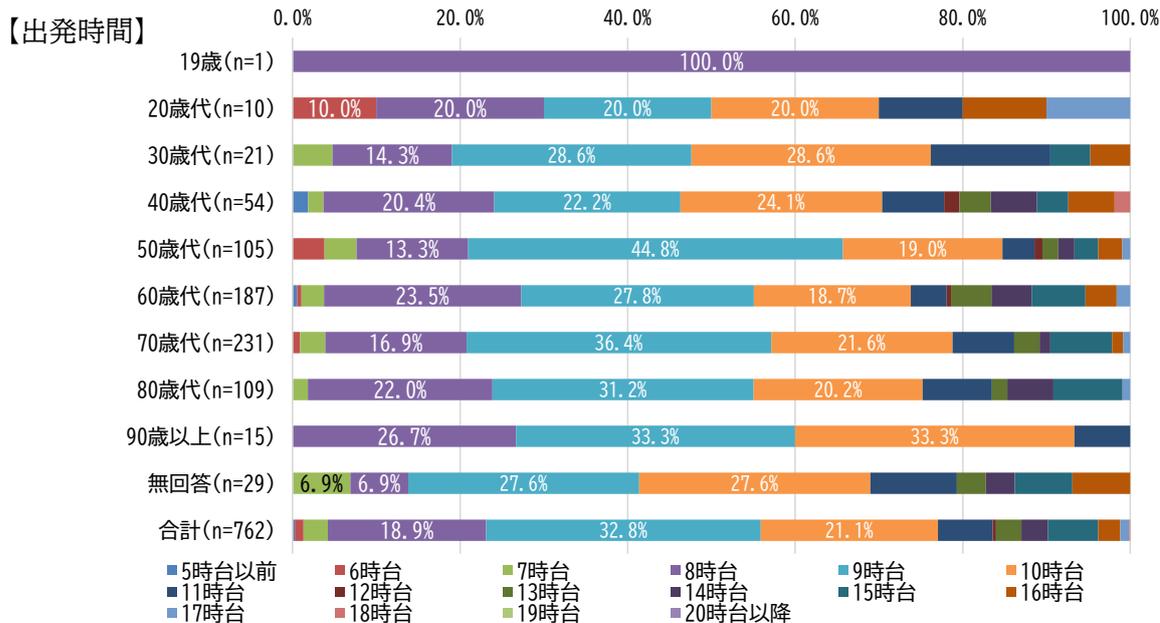
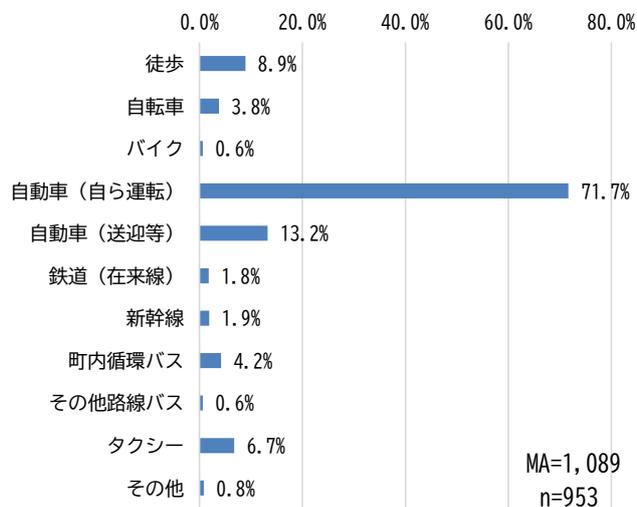


図 3-52 通院時の出発・帰宅時間 年代別 [町民・別荘所有者]

3.4.1. 通院外出時の交通手段 [町民・別荘所有者]

■通院の移動手段においても自動車（自ら運転）の回答が非常に多いものの、通勤・通学や買い物と比較して、通院ではタクシーなどの公共交通がわずかに多くなっています。
 ■年代別では、70歳代以上で公共交通の量が増えています。80歳代以上では「町内循環バス」と「タクシー」の割合が逆転する状況が見られます。

項目	件数	構成比
徒歩	85	8.9%
自転車	36	3.8%
バイク	6	0.6%
自動車（自ら運転）	683	71.7%
自動車（送迎等）	126	13.2%
鉄道（在来線）	17	1.8%
新幹線	18	1.9%
町内循環バス	40	4.2%
その他路線バス	6	0.6%
タクシー	64	6.7%
その他	8	0.8%
合計(MA)	1,089	
合計(n)	953	105.4%



※割合は回答者数（n）に対する回答数。

図 3-53 通院時の交通手段 [町民・別荘所有者]

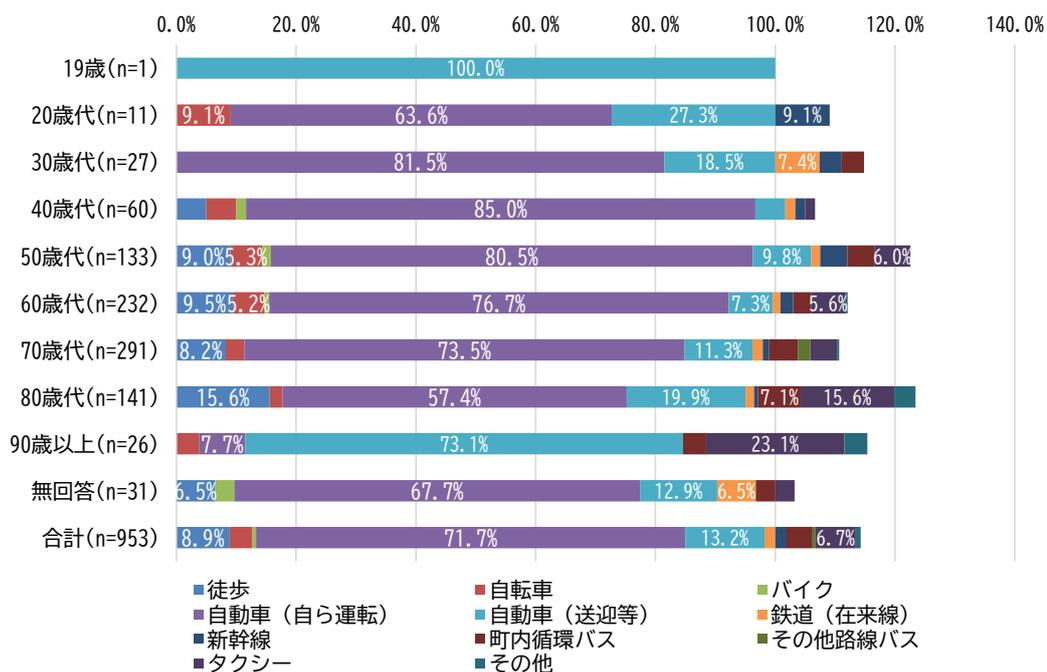


図 3-54 通院時の交通手段 年代別 [町民・別荘所有者]

3.5. 別荘所有者の主な外出について

3.5.1. 主な外出について [別荘所有者]

■ 主な外出としては、「店舗・施設」への外出が 87%を占めて、「外出はほとんどしない」という方も 12%いました。

項目	件数	構成比
店舗・施設	816	87.4%
勤務先	10	1.1%
外出はほとんどしない	108	11.6%
合計	934	100.0%

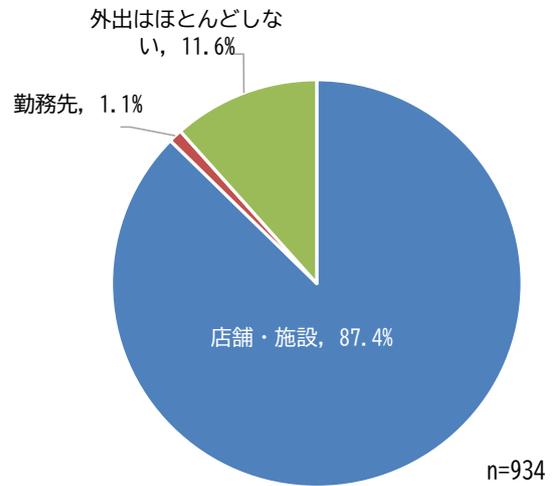


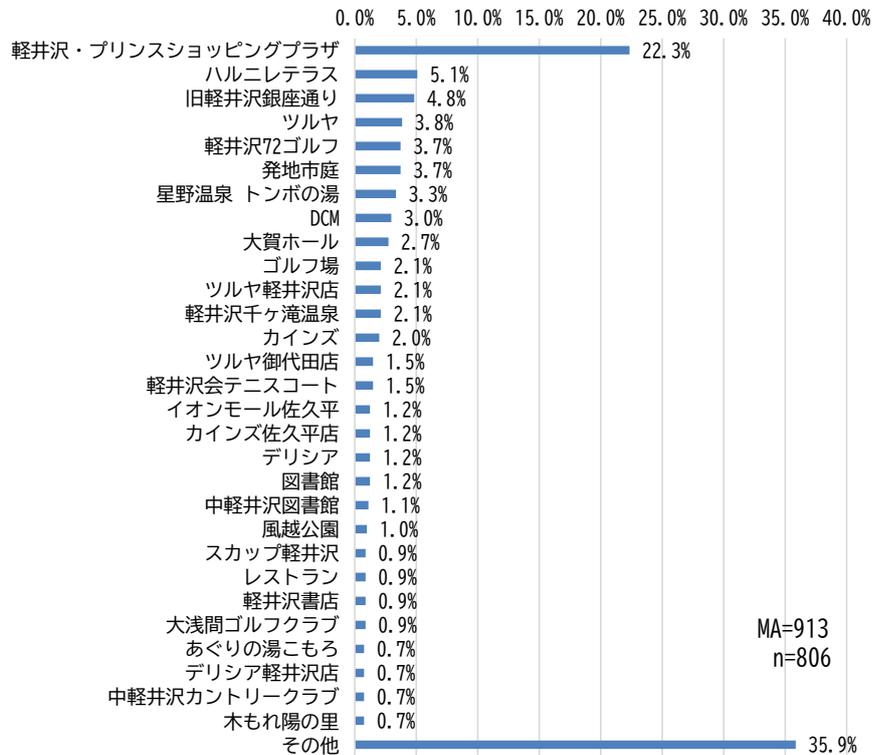
図 3-55 主な外出について [別荘所有者]

3.5.2. 主な外出先 [別荘所有者]

■ 主な外出先としては、「軽井沢・プリンスショッピングプラザ」が 22%と最も多く、次いで「ハルニレテラス」「旧軽井沢銀座通り」が 5%となっています。

■ その他の飲食店等も数多く回答いただき全 212 施設を回答いただきました。

※1: 設問としては単一回答でしたが、多くの方が複数の病院を回答いただいたため 2 つまでを集計しました。



※割合は回答者数 (n) に対する回答数。回答数 5 件以上の施設を图示。

図 3-56 主な外出先 [別荘所有者]

3.5.3. 外出頻度 [別荘所有者]

■外出の頻度は、「週に数日」が28%と最も多く、次いで「月に数回」が24%、「週に1回」が21%となっています。

■年代別では、90歳以上を除く各年代で60%以上の方が「週に1回」以上の頻度で外出している状況となっています。

項目	件数	構成比
ほぼ毎日	65	8.0%
週に数日	225	27.7%
週に1回	168	20.7%
月に数回	197	24.3%
月に1回	111	13.7%
その他	46	5.7%
合計	812	100.0%

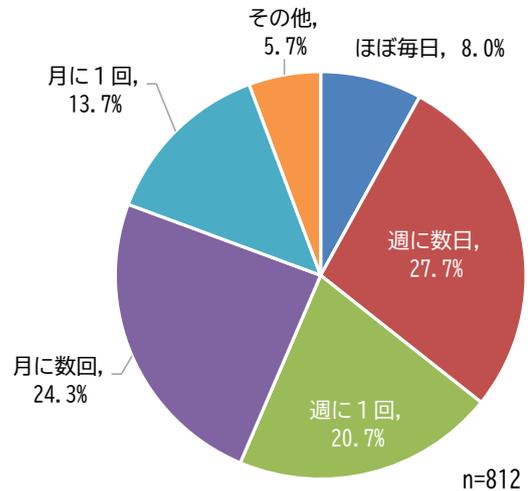


図 3-57 外出の頻度 [別荘所有者]

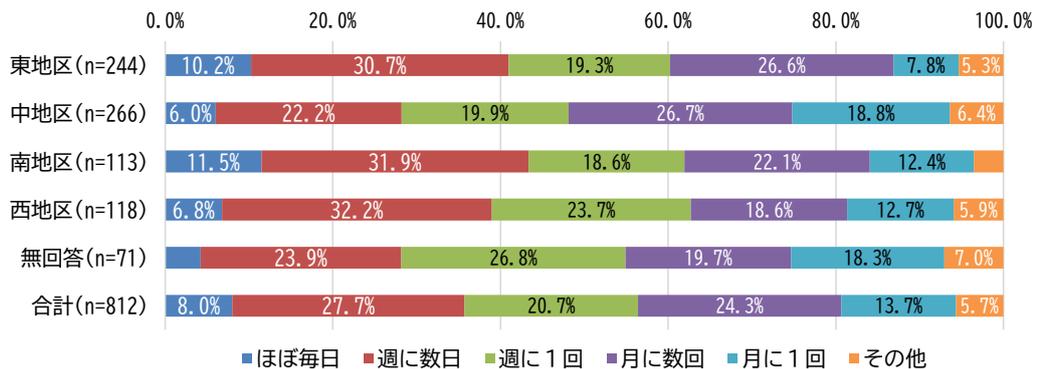


図 3-58 外出の頻度 地区別 [別荘所有者]

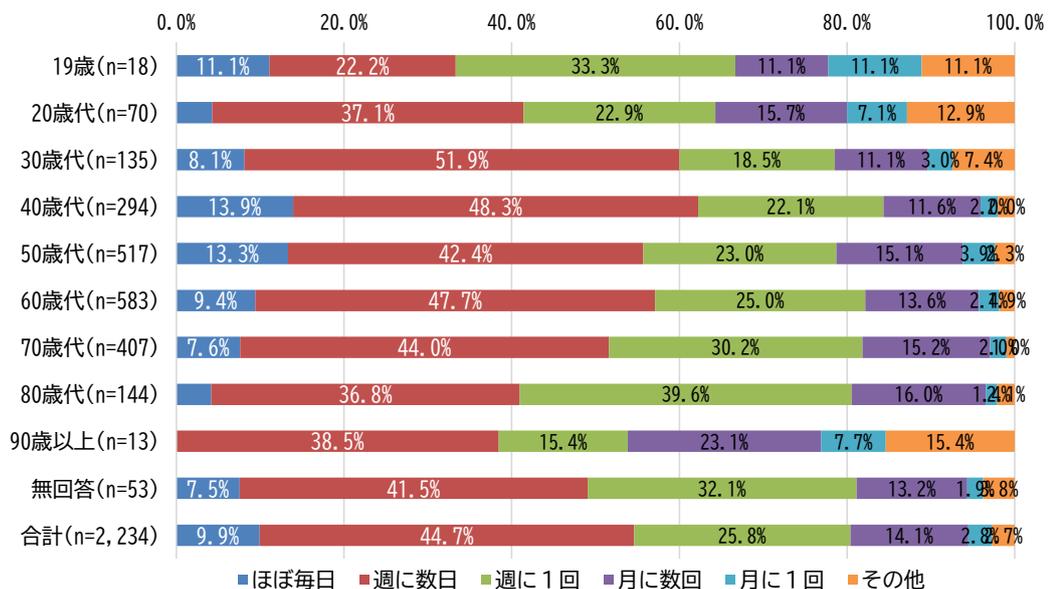


図 3-59 外出の頻度 年代別 [別荘所有者]

3.5.4. 主な外出の出発・帰宅時間帯 [別荘所有者]

- 主な外出の出発時間帯は、「午前中（9～10 時台）」が28%と最も多く、次いで「昼（11～13 時台）」が25%で午前から昼にかけて外出される方が全体の約60%を占めています。
- 帰宅時間帯は、「午後日中（14～15 時台）」が33%、次いで「夕方（16～17 時台）」が29%とこれら時間帯に帰宅される方が60%を占めています。
- 出発時間帯と帰宅時間帯を合わせてみると、午前中に外出し11～15 時台に帰宅するというパターンの多い状況が伺えます。

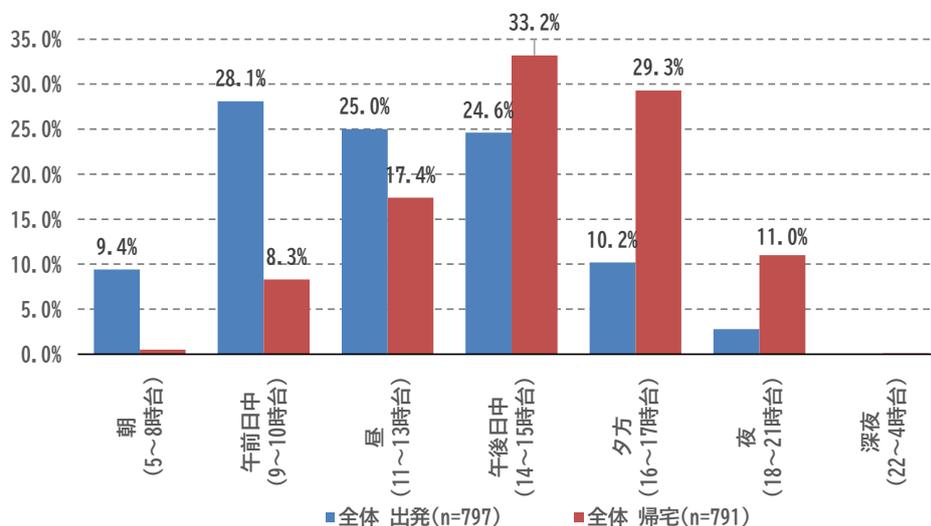


図 3-60 主な外出の出発・帰宅時間帯 [別荘所有者]

表 3-3 出発時間帯と帰宅時間帯のクロス集計 [別荘所有者]

帰宅時間帯 \ 出発時間帯	朝 (5～8時台)	午前日中 (9～10時台)	昼 (11～13時台)	午後日中 (14～15時台)	夕方 (16～17時台)	夜 (18～21時台)	深夜 (22～4時台)	合計
朝 (5～8時台)	5.3%	9.3%	13.3%	40.0%	26.7%	5.3%	0.0%	100.0%
午前日中 (9～10時台)		24.9%	35.0%	27.2%	12.0%	0.9%	0.0%	100.0%
昼 (11～13時台)			25.9%	35.8%	34.2%	4.1%	0.0%	100.0%
午後日中 (14～15時台)				52.8%	39.4%	7.8%	0.0%	100.0%
夕方 (16～17時台)					52.6%	47.4%	0.0%	100.0%
夜 (18～21時台)						95.5%	4.5%	100.0%
深夜 (22～4時台)							0.0%	0.0%

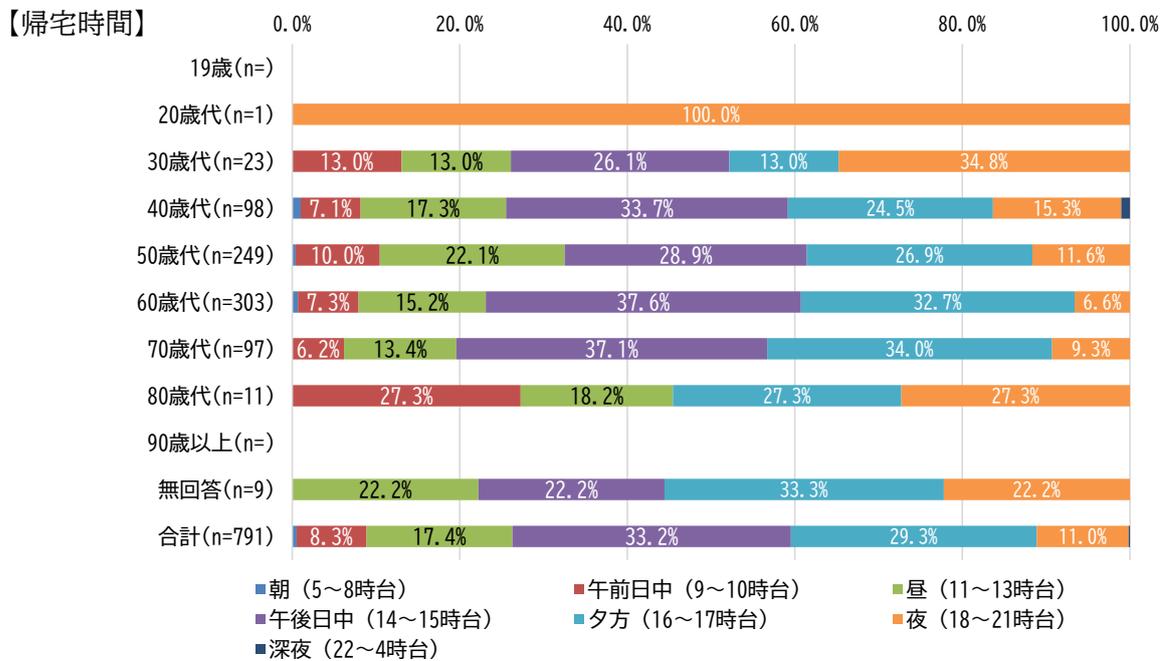
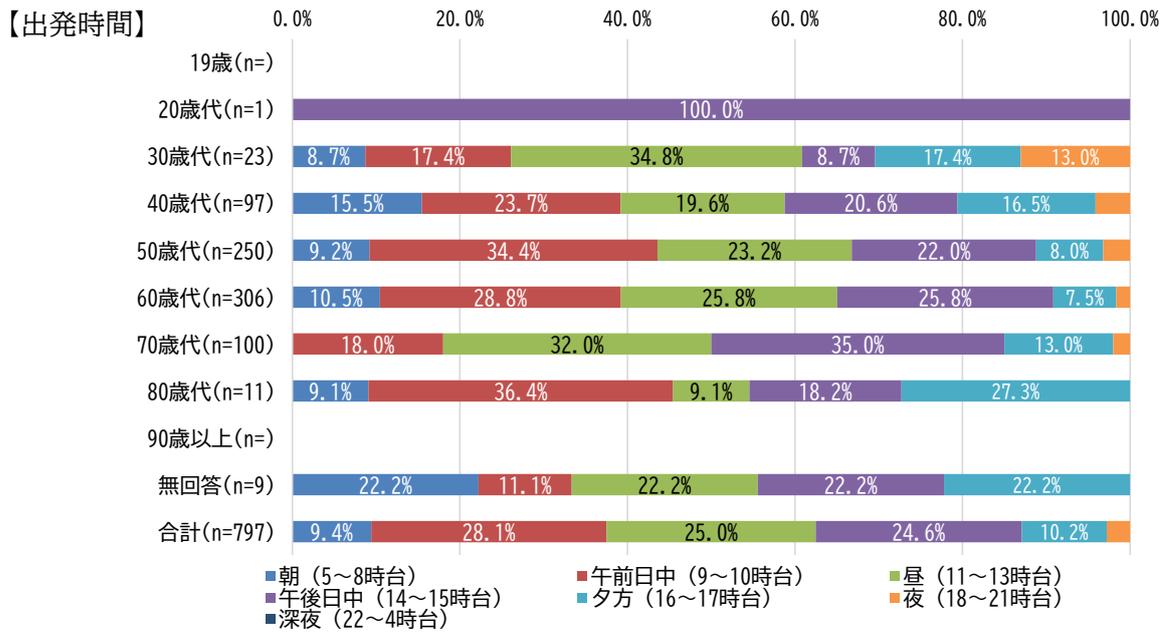
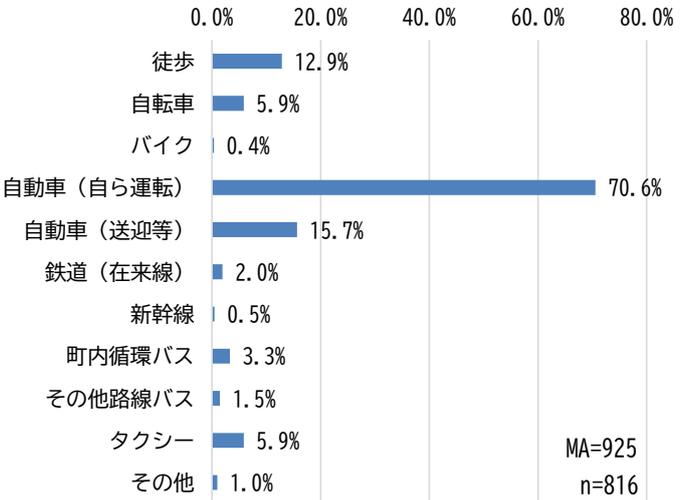


図 3-61 主な外出時の出発・帰宅時間 年代別 [別荘所有者]

3.5.5. 主な外出時の交通手段 [別荘所有者]

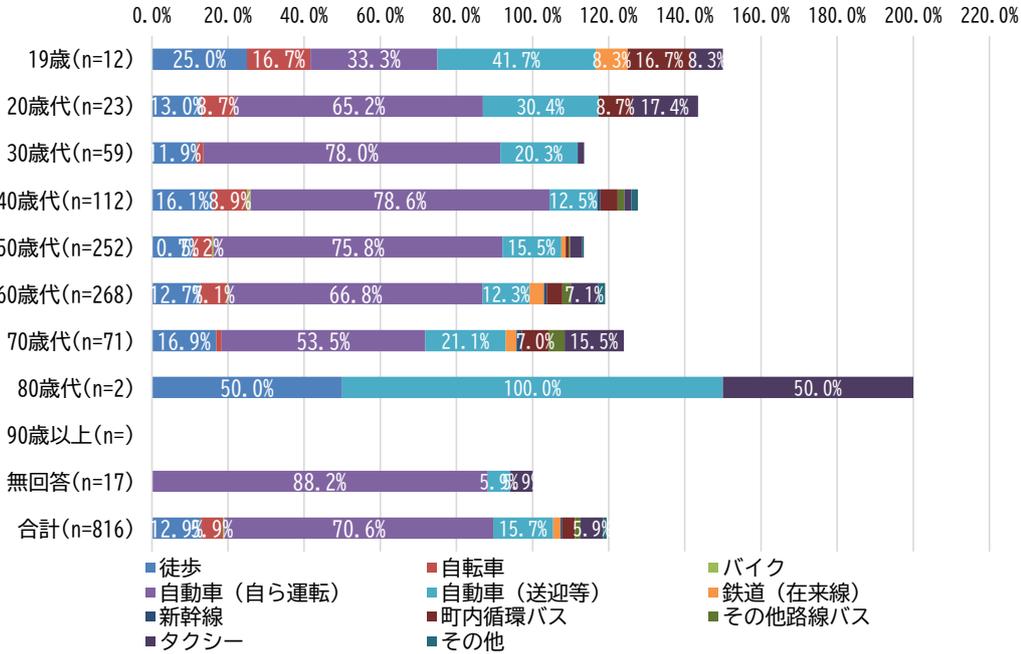
- 主な外出時の交通手段は、全体の71%の方が「自動車（自ら運転）」と最も多く、次いで、「自動車（送迎等）」が16%、「徒歩」が13%、「タクシー」が6%となっています。
- 「町内循環バス」を利用する方は約3%となっています。
- 年代別では、20歳代以下と70歳代で「町内循環バス」の利用が5%を超える状況がうかがえます。

項目	件数	構成比
徒歩	105	12.9%
自転車	48	5.9%
バイク	3	0.4%
自動車（自ら運転）	576	70.6%
自動車（送迎等）	128	15.7%
鉄道（在来線）	16	2.0%
新幹線	4	0.5%
町内循環バス	27	3.3%
その他路線バス	12	1.5%
タクシー	48	5.9%
その他	8	1.0%
合計(MA)	975	
合計(n)	816	106.6%



※割合は回答者数（n）に対する回答数。

図 3-62 主な外出時の交通手段 [別荘所有者]



※回答者数（n）に対する割合

図 3-63 主な外出時の交通手段 年代別 [別荘所有者]

3.6. 町内循環バスについて

3.6.1. 町内循環バスの認知度 [町民・別荘所有者]

- 町内循環バスの認知度として、「自宅付近のバス停や町内の運行ルートのある程度知っている」は約40%であり、「名前を聞いたことや運行車両を見たことはあるが、運行ルート等はまだ知らない」および「ほとんど知らない」をあわせて約60%となるため、認知度は低い傾向にあります。
- 町民と別荘所有者別では、ある程度知っているという方は町民で40%、別荘所有者で34%と、若干、別荘所有者における認知度が低い傾向が町民と大きな差はないものと考えられます。
- 年代別では、19歳で13%と最も低く、年齢が高くなるに従い認知度が高まる傾向があり、80歳代では49%の方がある程度知っていると回答されています。ただし、90歳代以上では若干低下し、約30%となっています。
- 地区別でみると、町民、別荘所有者ともに南地区の方の認知度が高い傾向がうかがえます。

項目	グラフ表記	件数	構成比
自宅付近のバス停や町内の運行ルートのある程度知っている	ある程度知っている	908	37.6%
名前を聞いたことや運行車両を見たことはあるが、運行ルート等はあまり知らない	あまり知らない	911	37.7%
ほとんど知らない	ほとんど知らない	597	24.7%
合計		2,416	100.0%

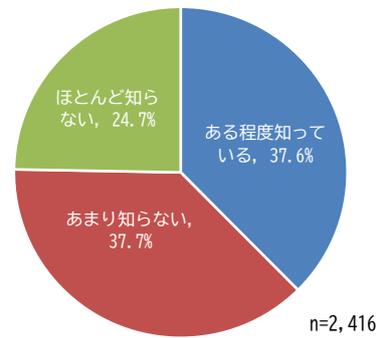


図 3-64 町内循環バスの認知度 [町民・別荘所有者]

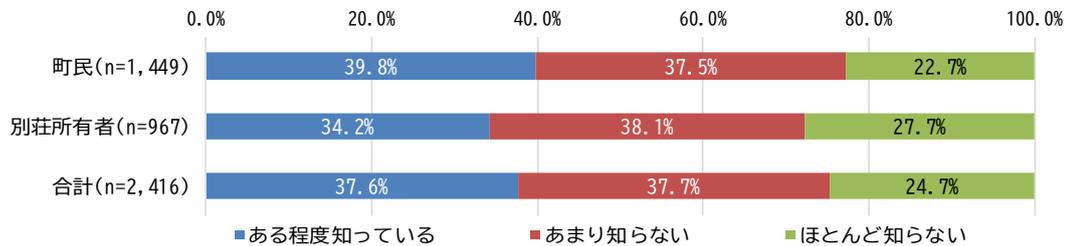


図 3-65 町内循環バスの認知度 町民・別荘所有者別 [町民・別荘所有者]

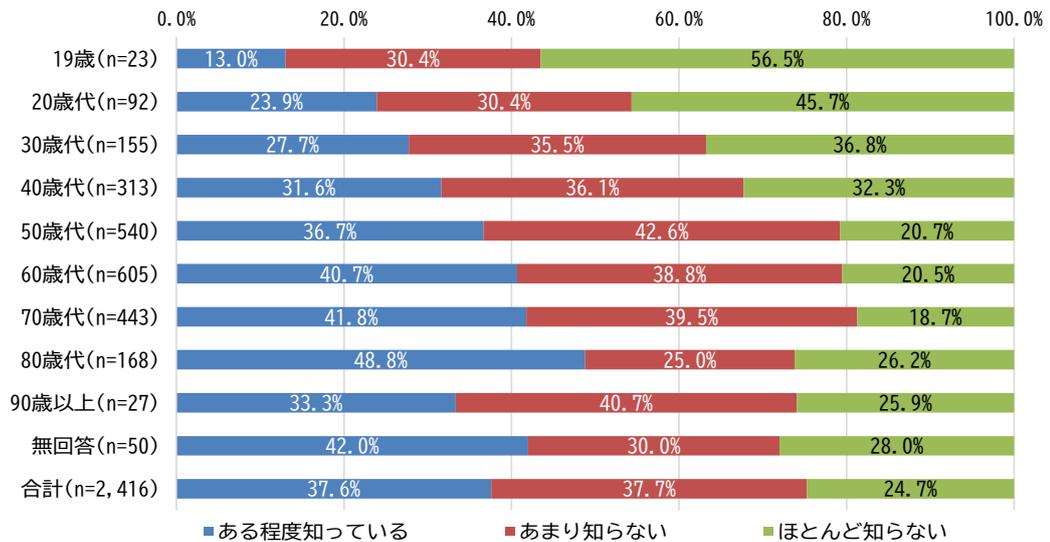


図 3-66 町内循環バスの認知度 年代別 [町民・別荘所有者]

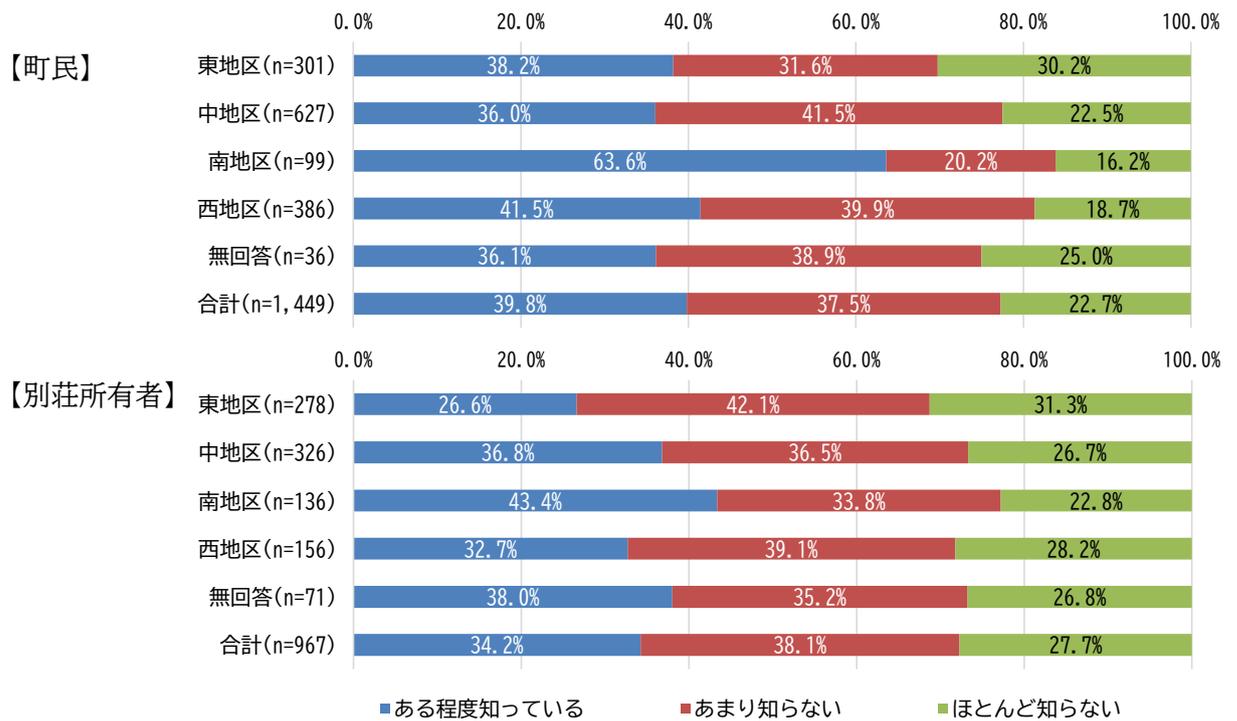


図 3-67 町内循環バスの認知度 地区別 [町民・別荘所有者]

3.6.2. 町内循環バスの利用頻度 [町民・別荘所有者]

- 町内循環バスの利用頻度は、前述の通勤・通学や買い物、通院における移動実態からも分かるように、「ほとんど乗らない」が60%以上を占めており、利用が少ない状況にあります。
- 地区別にみると、町内循環バスの認知度が高かった南地区では利用する方、頻度ともに他の地域より高い傾向がうかがえます。
- 町民では「ほとんど乗らない」が90%以上となっているのに対し、別荘所有者では「月に数回」が約70%を占めるなど、別荘所有者の利用頻度が多い傾向にあります。
- 年代別では、19歳、60歳代で利用する方が50%を超えていますが、頻度は「月に数回」が大半を占めています。

項目	件数	構成比
ほぼ毎日	18	0.8%
週に数日	73	3.0%
週に1回	77	3.2%
月に数回	704	29.4%
月に1回	39	1.6%
ほとんど乗らない	1,485	62.0%
合計	2,396	100.0%

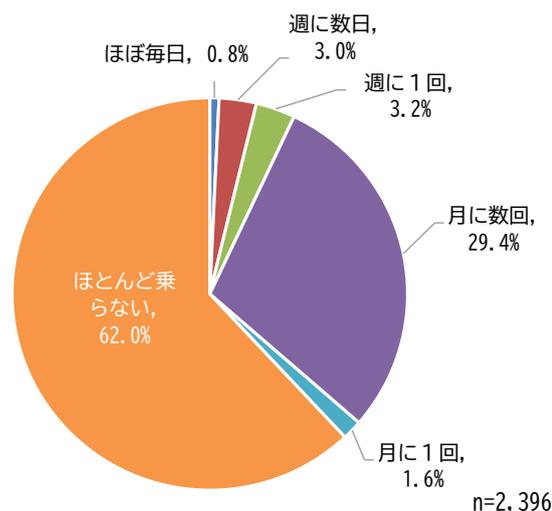


図 3-68 町内循環バスの利用頻度 [町民・別荘所有者]

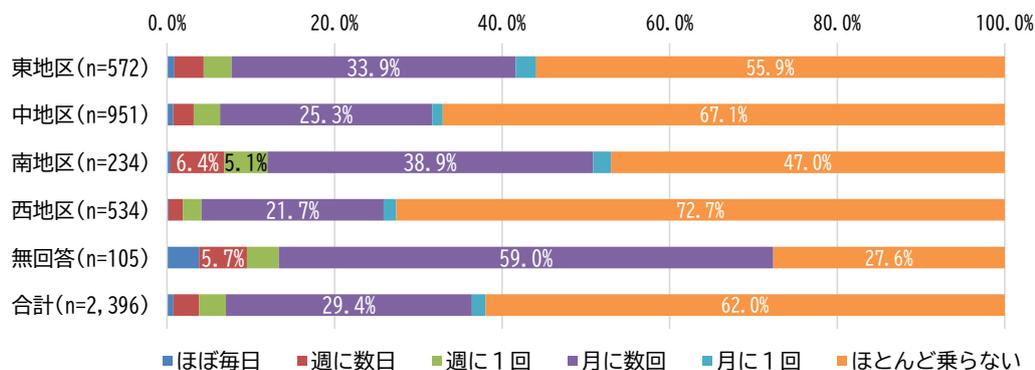


図 3-69 町内循環バスの利用頻度 地区別 [町民・別荘所有者]

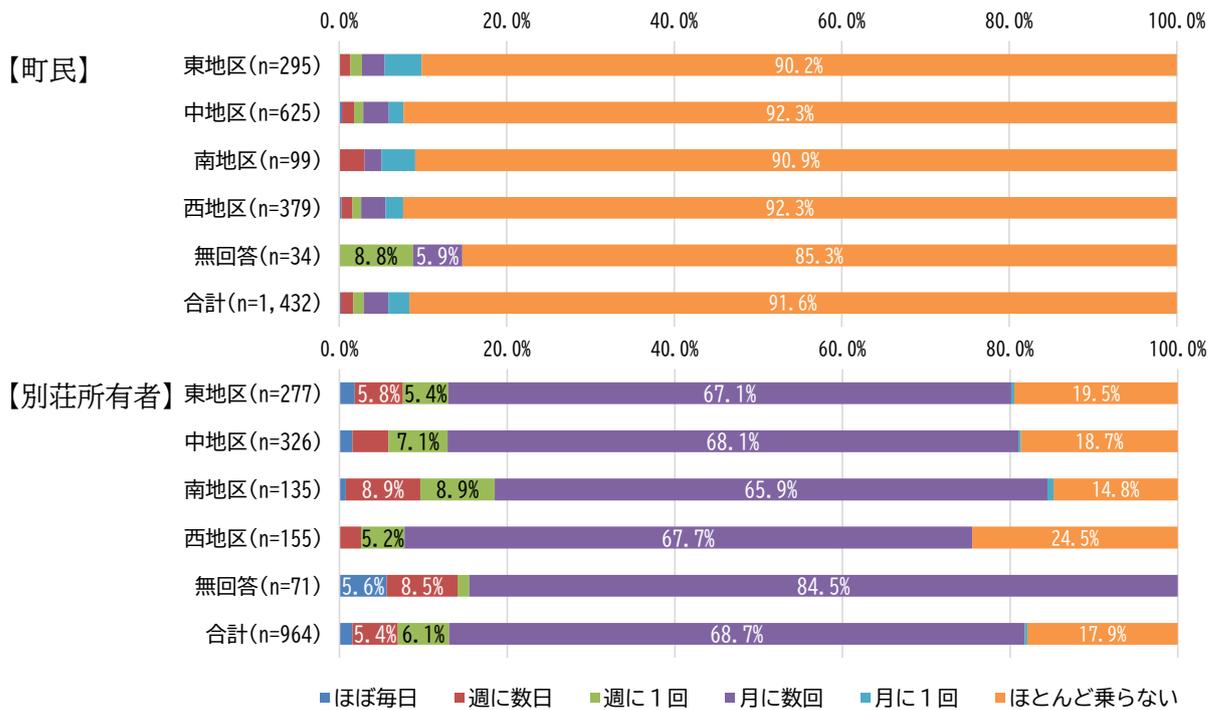


図 3-70 町内循環バスの利用頻度 地区別 【町民・別荘所有者】

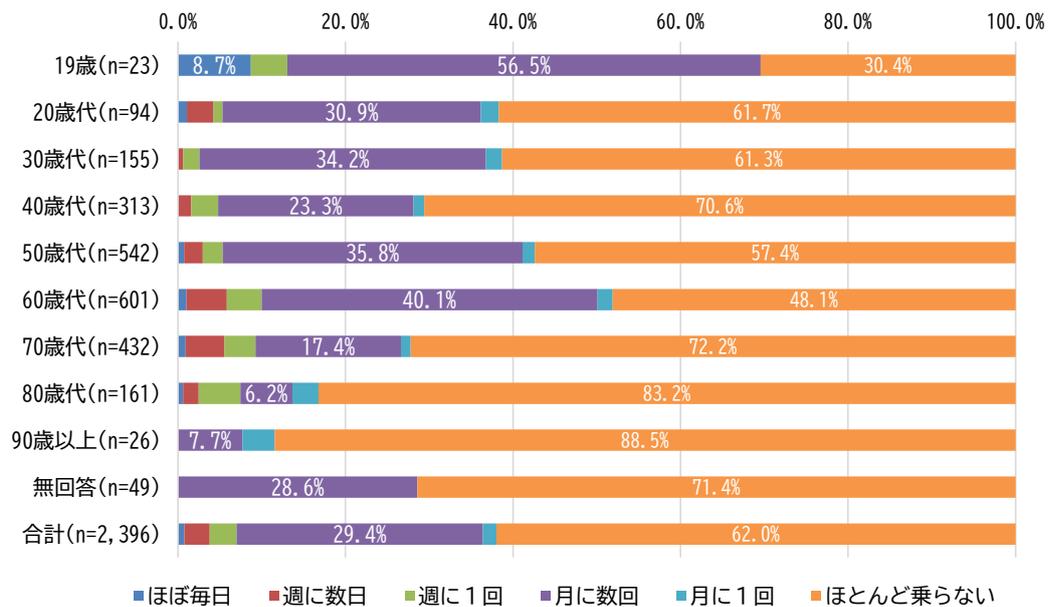


図 3-71 町内循環バスの利用頻度 年代別 【町民・別荘所有者】

3.6.3. 町内循環バスの満足度 [町民・別荘所有者のうち「月に1回以上利用されている方」]

- 町内循環バスを月に1回以上利用されている方の満足度を調査した結果、運賃や車両の乗りやすさ、バス停までの距離では満足度が高い傾向にあります。
- 一方で、便数やダイヤ、鉄道やバス同士の乗り継ぎでは満足度が低くなっています。
- 地区別では、西地区では8項目中7項目で全体平均の満足度を上回っている一方で、中地区では7項目において全体平均を下回っている状況となっています。

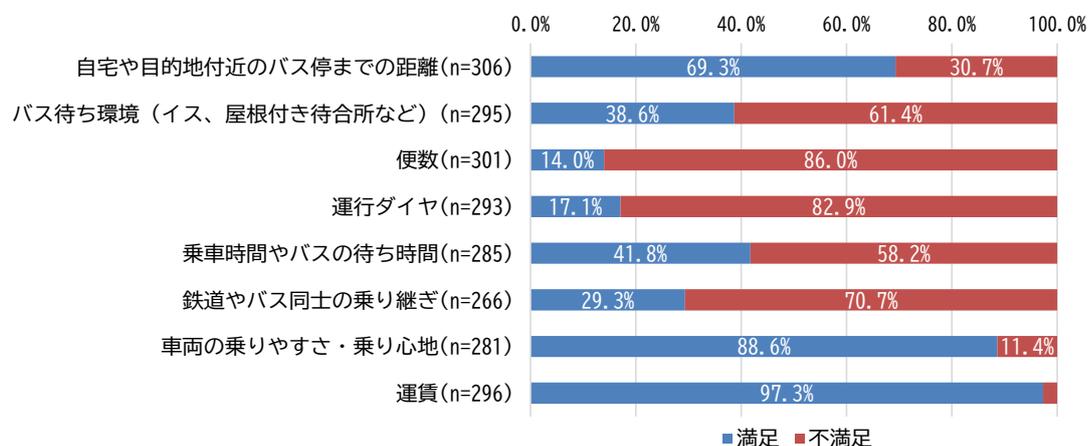


図 3-72 町内循環バスの満足度

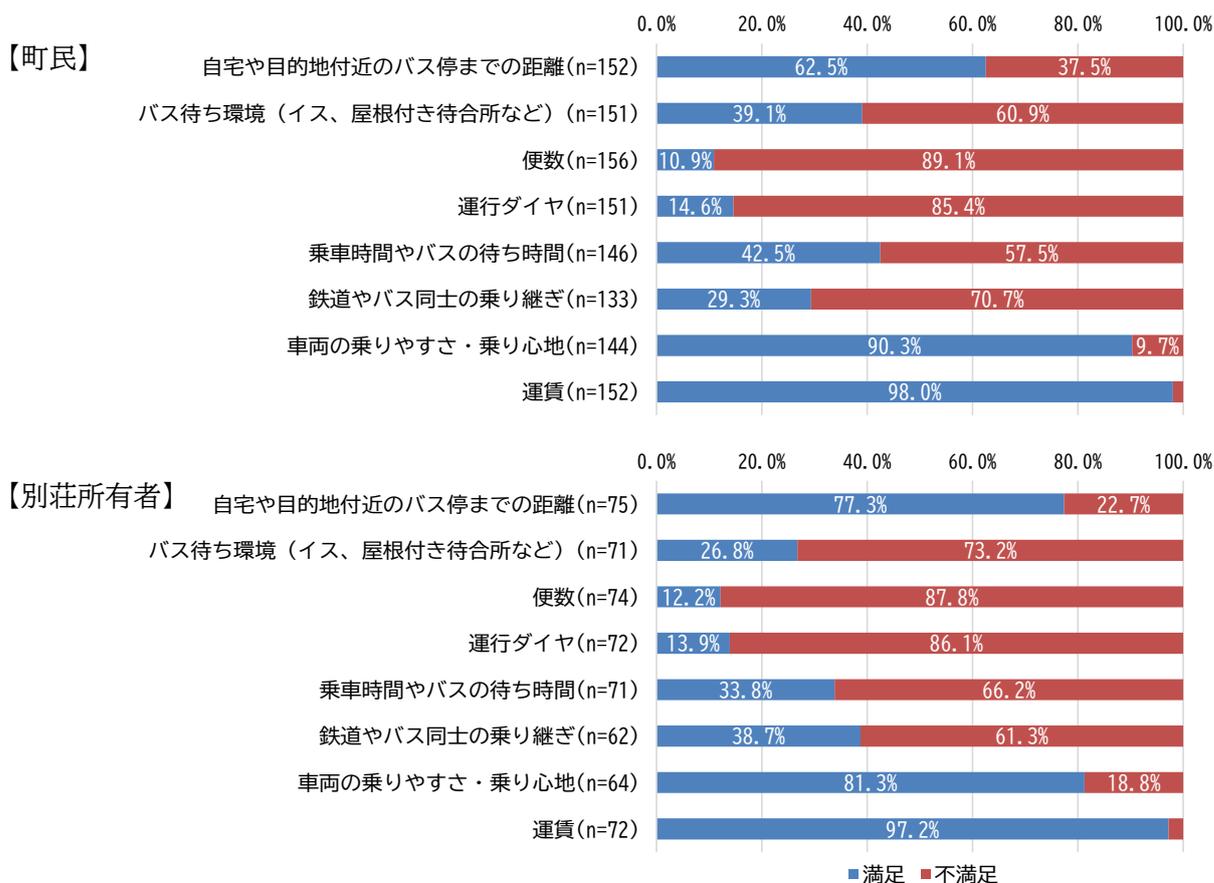


図 3-73 町内循環バスの満足度 [町民・別荘所有者]

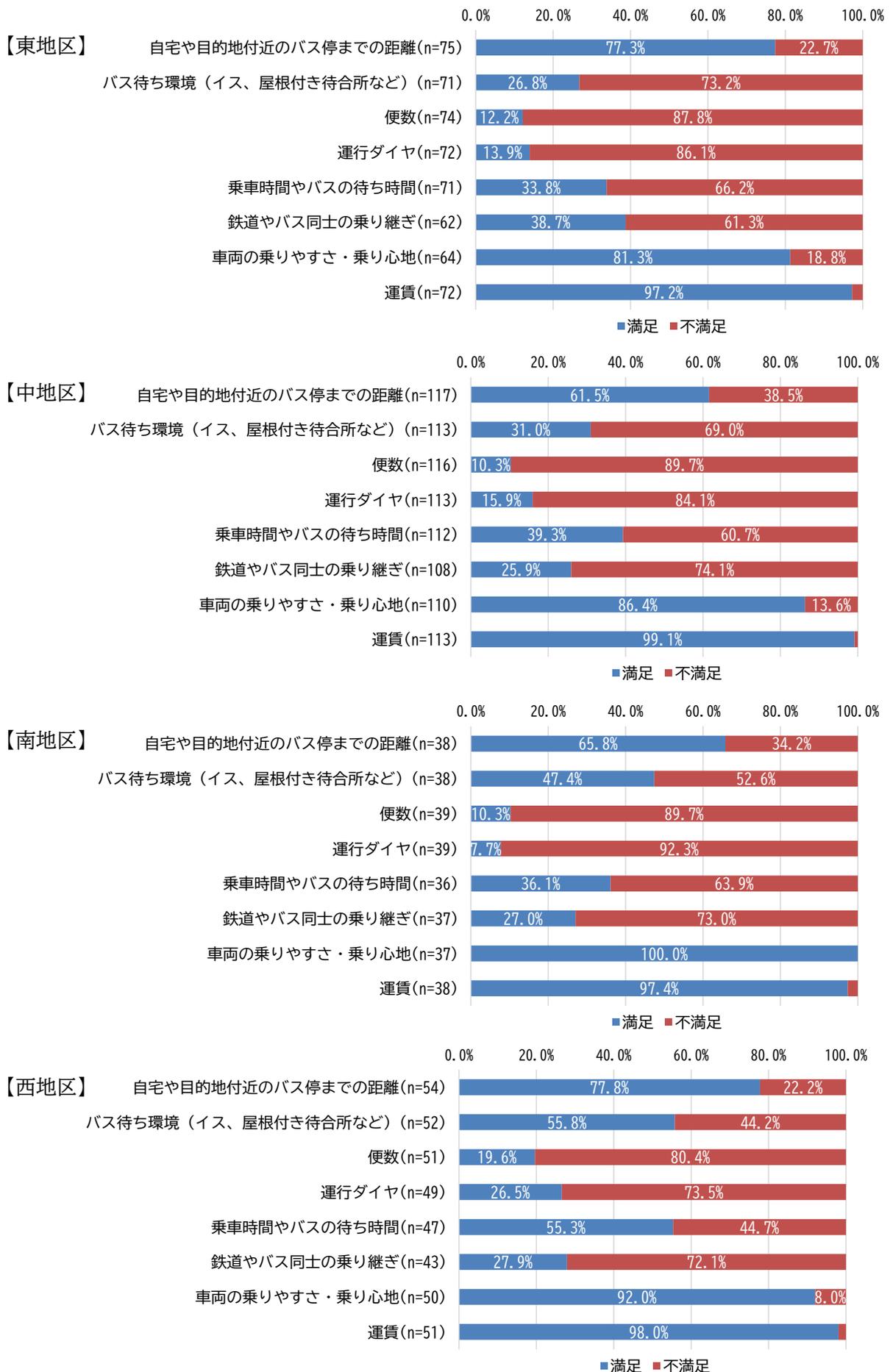


図 3-74 町内循環バスの満足度 地区別 [町民・別荘所有者]

3.6.4. 町内循環バスを利用しない理由 [町民のうち「町内循環バスにほとんど乗らない方」]

■町内循環バスをほとんど利用しない方の理由として、「バス以外の移動手段がある」との回答が非常に多く、「必要な時間帯のバスがない」との回答も比較的多くなっています。
 ■年代別では、80歳代以上で「バス以外の移動手段がある」という意見が他の年代に比べ少なく、「バスの乗り降りが大変」という意見が多くみられます。

項目	件数	構成比
バス以外の移動手段がある	1,114	83.7%
必要な時間帯のバスがない	358	26.9%
荷物を持って移動するのが大変	123	9.2%
バス停が自宅や目的地から遠い	228	17.1%
目的地まで時間がかかる	131	9.8%
利用方法がよくわからない	123	9.2%
運賃が高い	13	1.0%
乗り継ぎが面倒	66	5.0%
バスの乗り降りが大変	31	2.3%
遅延が発生して予定通りに乗れない	35	2.6%
その他	54	4.1%
合計 (MA)	2,276	
合計 (n)	1,331	171.0%

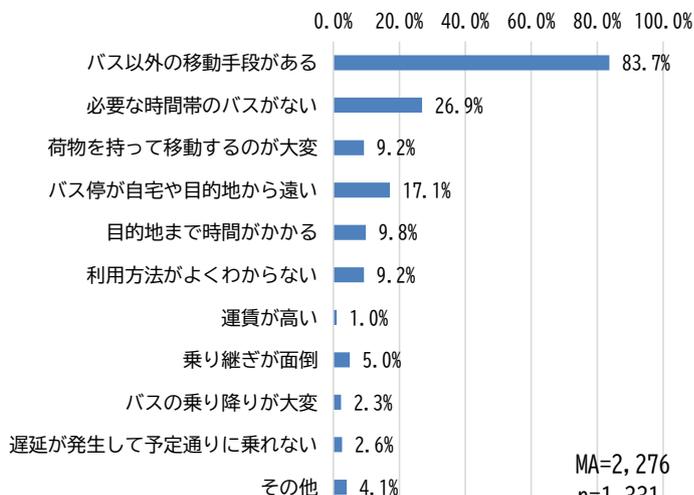


図 3-75 町内循環バスを利用しない理由 [町民]

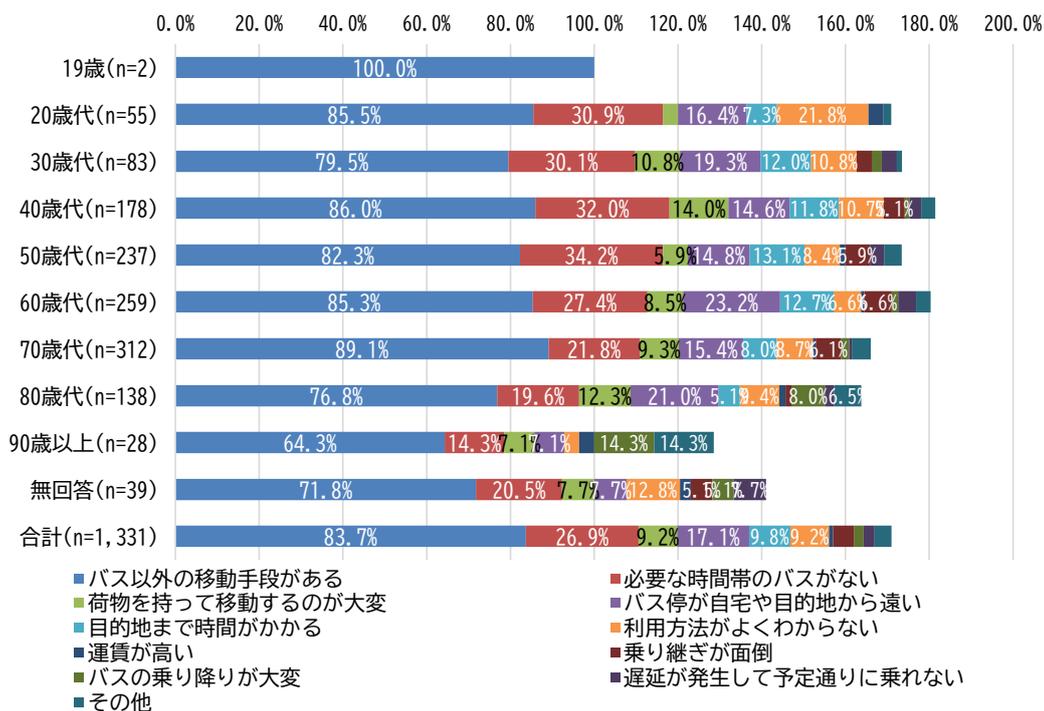


図 3-76 町内循環バスを利用しない理由 年代別 [町民]

3.6.5. 町内循環バスを利用しない理由

[別荘所有者のうち「町内循環バスにほとんど乗らない方」]

- 町内循環バスをほとんど利用しない方の理由とし、「バス以外の移動手段がある」との回答が非常に多く、「バス停が遠い」との回答も比較的多くなっています。
- 年代別では、80歳代で「バス以外の移動手段がある」という意見が他の年代に比べ極端に少なく、「バスの乗り降りが大変」「ほとんど外出しないため必要ではない」という意見が多くみられます。

項目	件数	構成比
バス以外の移動手段がある	668	77.8%
必要な時間帯のバスがない	159	18.5%
荷物を持って移動するのが大変	142	16.5%
バス停が自宅や目的地から遠い	210	24.4%
目的地まで時間がかかる	104	12.1%
利用方法がよくわからない	112	13.0%
運賃が高い	1	0.1%
乗り継ぎが面倒	34	4.0%
バスの乗り降りが大変	9	1.0%
遅延が発生して予定通りに乗れない	22	2.6%
ほとんど外出しないため必要ではない	21	2.4%
その他	49	5.7%
合計(MA)	1,531	
合計(n)	859	178.2%

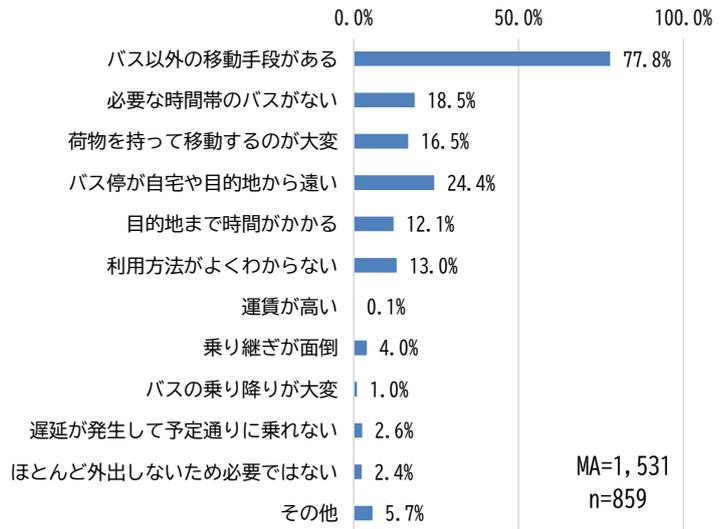


図 3-77 町内循環バスを利用しない理由 [別荘所有者]

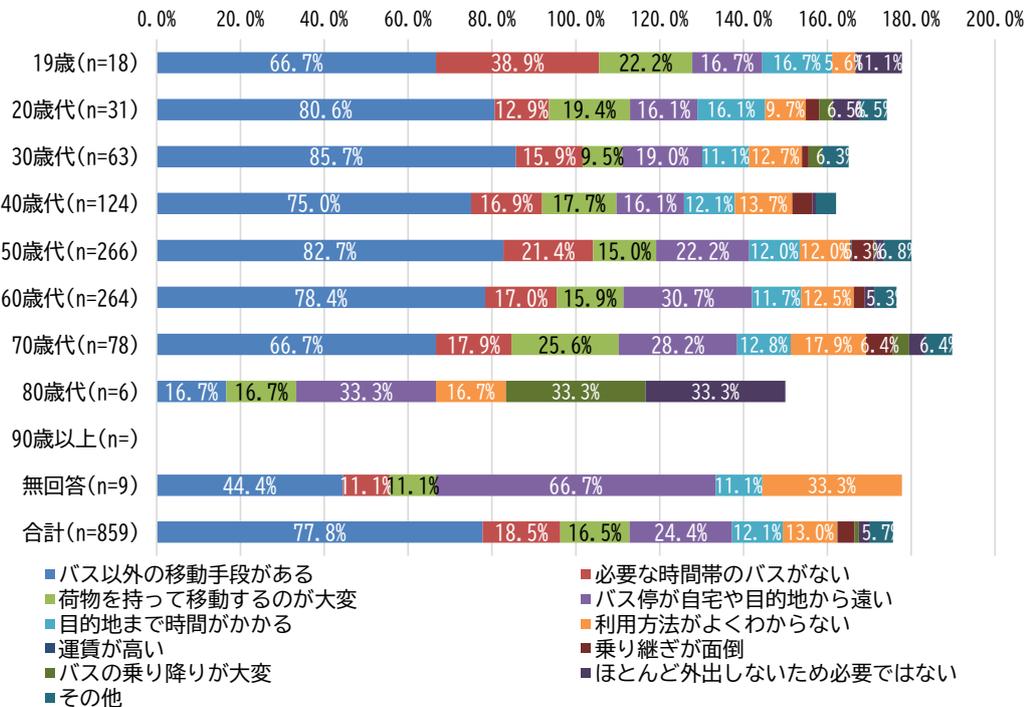


図 3-78 町内循環バスを利用しない理由 年代別 [別荘所有者]

3.6.6. 町内循環バスを利用するための条件

〔町内・別荘所有者のうち「町内循環バスにほとんど乗らない方」〕

■町内循環バスを利用するための条件としては、「便数の増加」が47%とほぼ半数の方から意見が寄せられています。次いで多いのは、「自宅や目的地の近くへのバス停の設置」が42%、「鉄道やバス同士の乗り継ぎ改善」が16%、「バス待ち環境の改善」が14%となっています。

■一方、「上記の改善がなされても利用しない」という方も約10%いました。

■「その他」という回答は32%寄せられており、具体的な意見としては「車の運転が出来なくなれば即利用する」など将来的な利用に対する意見や「バス停に電光掲示板があり、バスが何分後に来るか分かるようにする」「オンデマンド制」などの利便性向上に向けた意見などが多く寄せられています。

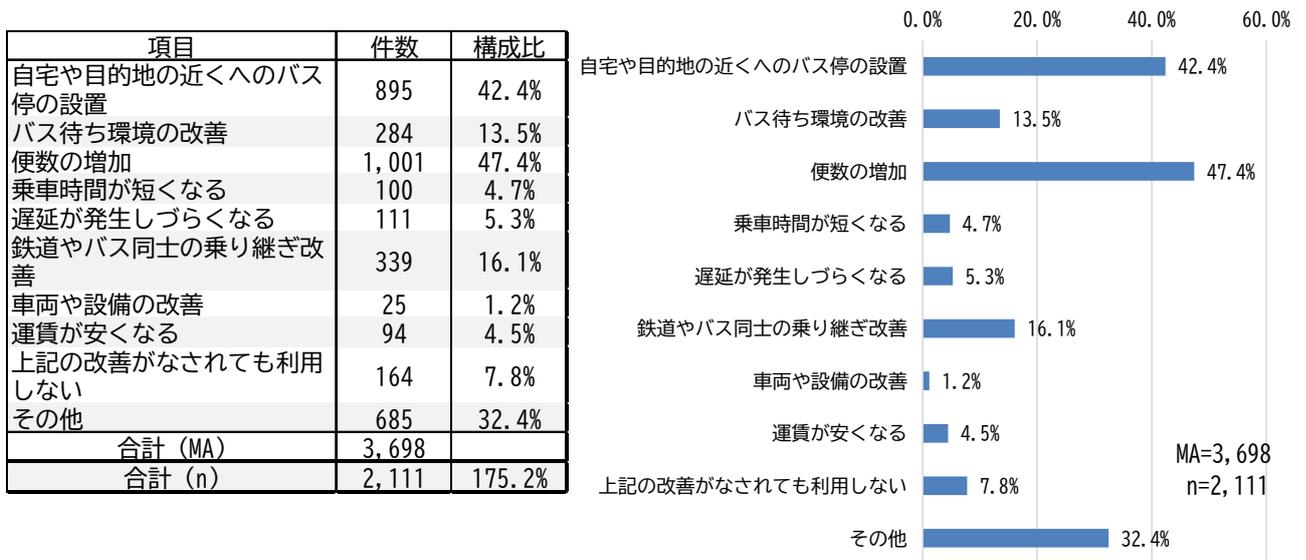


図 3-79 町内循環バスを利用するための条件 〔町民・別荘所有者〕

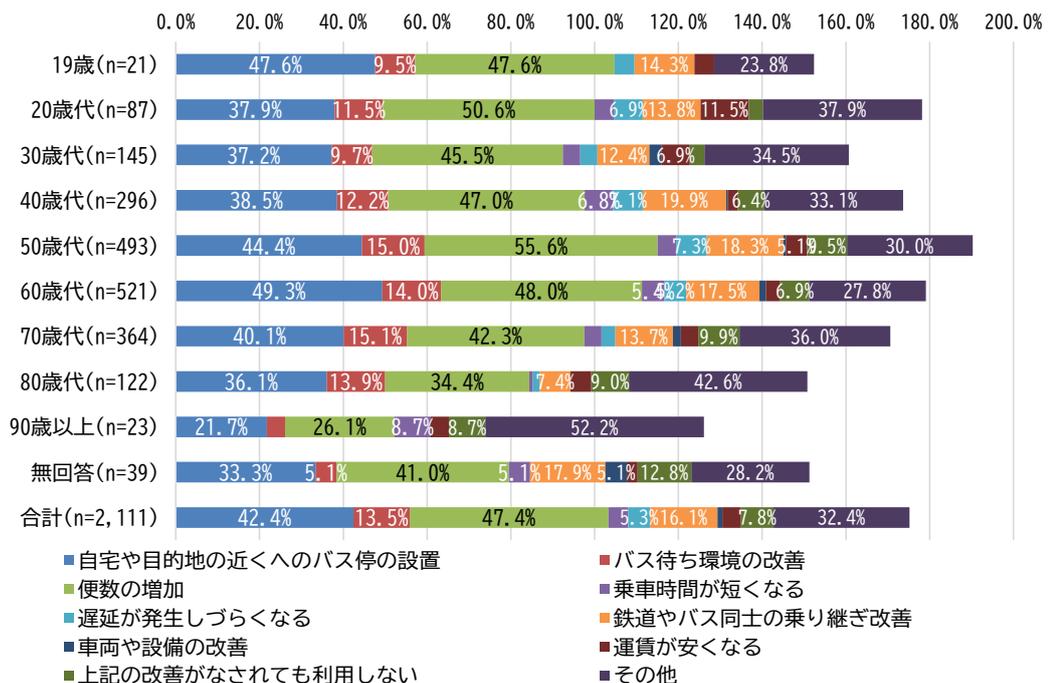


図 3-80 町内循環バスを利用するための条件 年代別 〔町民・別荘所有者〕

3.7. 「よぶのる軽井沢」について

3.7.1. 「よぶのる軽井沢」の利用経験 [町民・別荘所有者]

- 「よぶのる軽井沢」を「利用した」という方は6%、「利用しなかった」が42%となっています。運行をご存じであった方(48%)のなかでの「利用した」という方の割合としては13%となります。
- 「運行を知らなかった」という方は全体の52%を占めていますが、町民では40%、別荘所有者では70%と、別荘所有者への周知が行き届いていなかったものと考えられます。
- 年代別では、30歳代、50～60歳代で「利用した」という方が5～9%と他の年代に比べ多くなっています。

項目	件数	構成比
利用した	147	6.0%
利用しなかった	1,015	41.7%
運行を知らなかった	1,271	52.2%
合計	2,433	100.0%

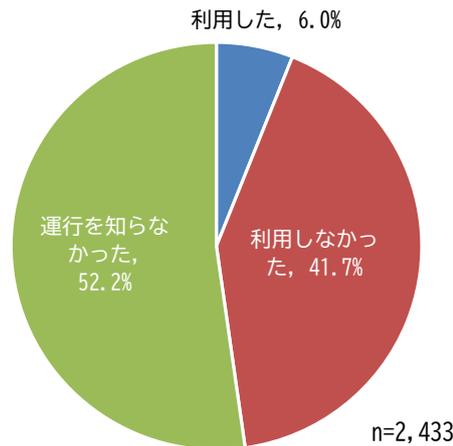


図 3-81 「よぶのる軽井沢」の利用経験 [町民・別荘所有者]

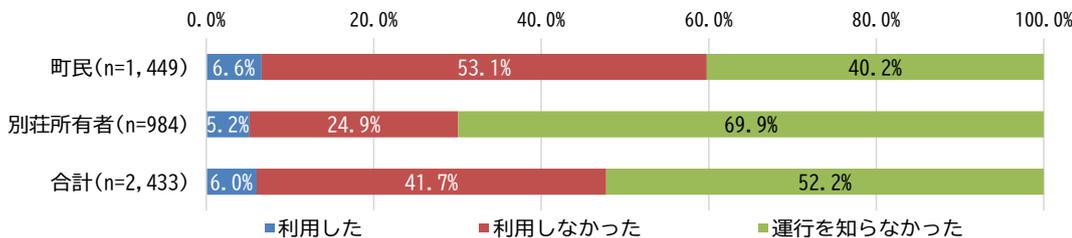


図 3-82 「よぶのる軽井沢」の利用経験 町民・別荘所有者別

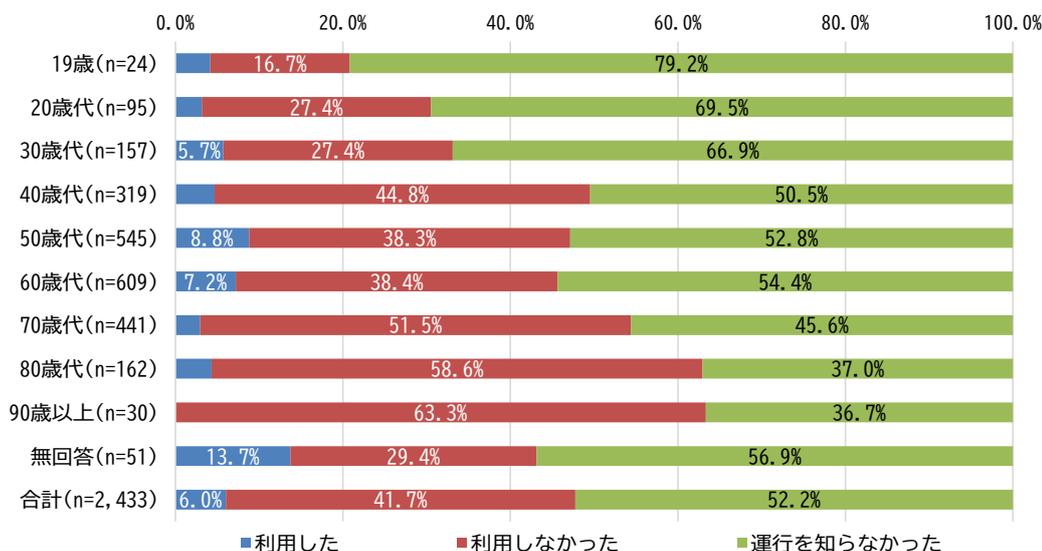


図 3-83 「よぶのる軽井沢」の利用経験 年代別 [町民・別荘所有者]

3.7.2. 「よぶのる軽井沢」の利用回数 [町民・別荘所有者]

- 「よぶのる軽井沢」を利用された方の利用回数は、「1～2回」が55%と半数以上を占め、次いで「3～5回」が24%、「6～9回」「10回以上」が各々11%となっています。
- 町民・別荘所有者別では、別荘所有者の方が「10回以上」という回答が16%と町民（8%）に比べ多くなっています。
- 年代別で、「10回以上」という回答をみると、40歳代で21%と最も多く、次いで50歳代が15%、80歳代が14%と多くみられます。

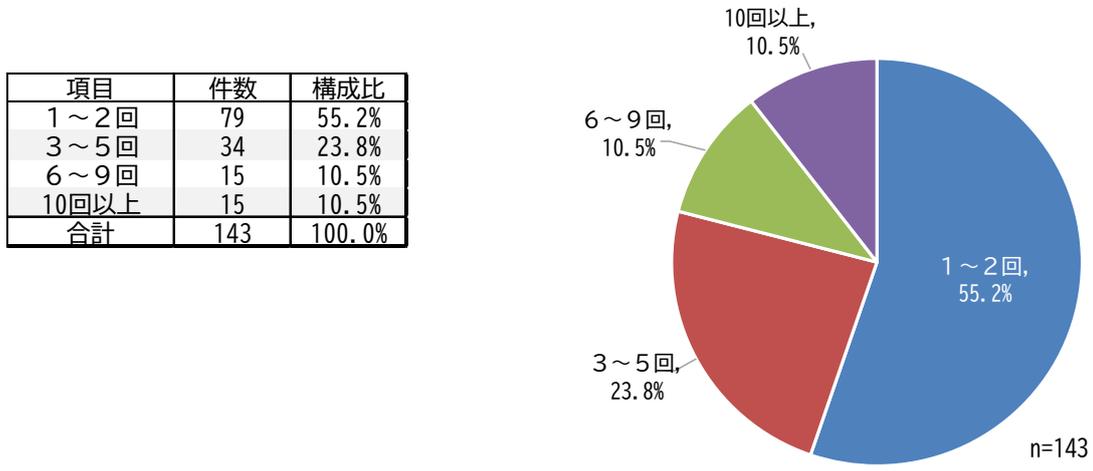


図 3-84 「よぶのる軽井沢」の利用回数 [町民・別荘所有者]

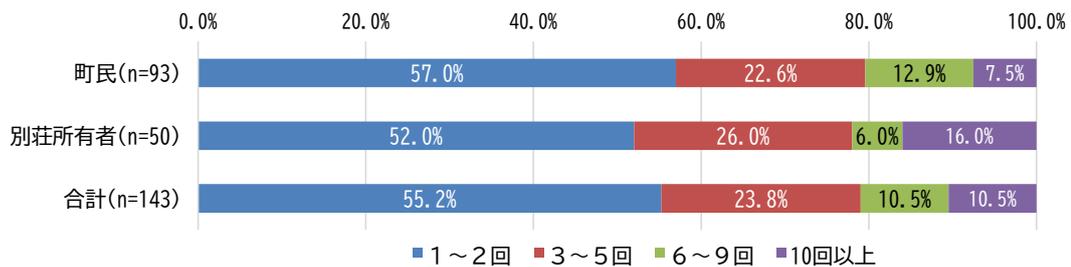


図 3-85 「よぶのる軽井沢」の利用回数 町民・別荘所有者別 [町民・別荘所有者]

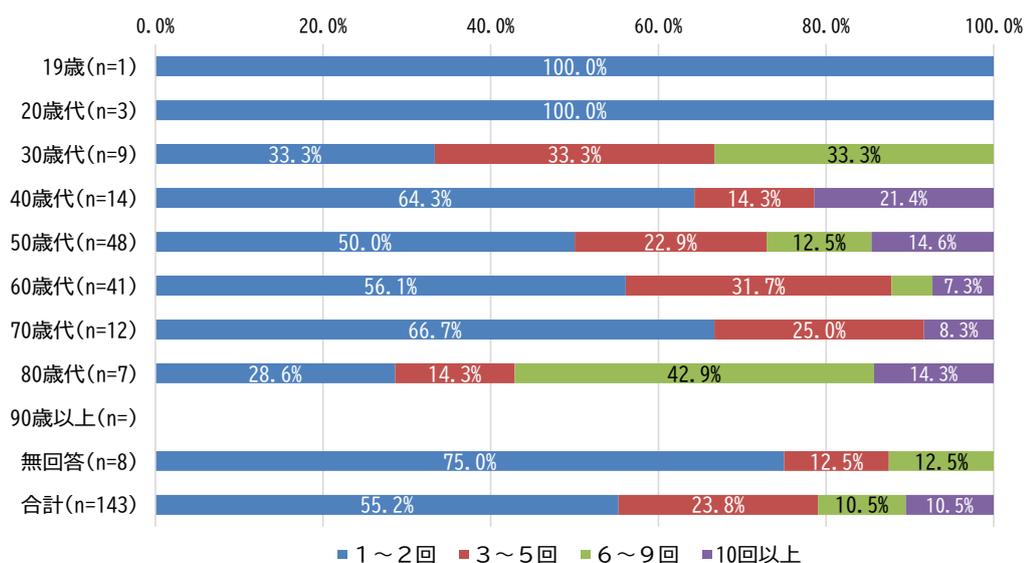


図 3-86 「よぶのる軽井沢」の利用回数 年代別 [町民・別荘所有者]

3.7.3. 「よぶのる軽井沢」を利用した理由 [町民・別荘所有者]

- 「よぶのる軽井沢」を利用した理由は、「移動が楽だから」が41%と最も多く、次いで「運賃が安いから」が23%、「バス停が近くにあるから」が15%となっています。
- 「その他」という回答も21%寄せられており、具体的な回答としては「代行がない時間帯に使うと便利」「将来のためのチェック」などという意見が寄せられています。

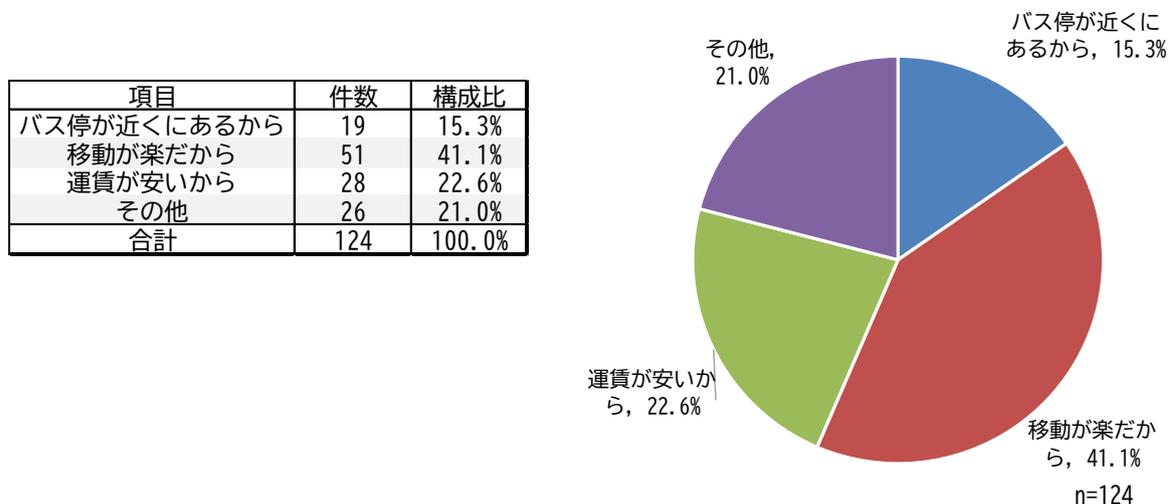


図 3-87 「よぶのる軽井沢」を利用した理由 [町民・別荘所有者]

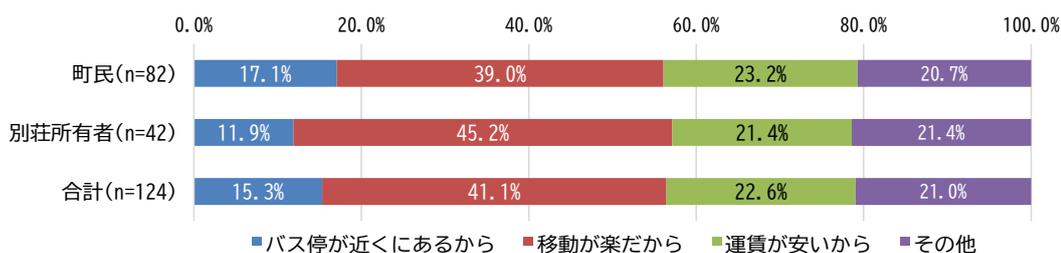


図 3-88 「よぶのる軽井沢」を利用した理由 町民・別荘所有者別 [町民・別荘所有者]

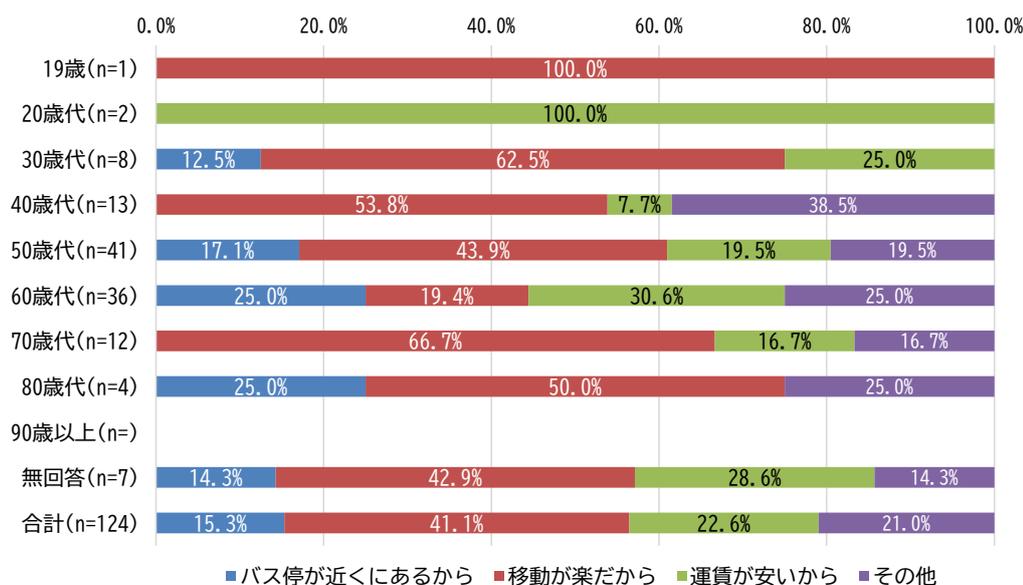


図 3-89 「よぶのる軽井沢」を利用した理由 年代別 [町民・別荘所有者]

3.8. 公共交通の満足度と今後のあり方

3.8.1. 公共交通の満足度 [町民・別荘所有者]

■公共交通の満足度（満足+やや満足）としては、新幹線は80%と非常に高く、次いで在来線が44%、タクシーが28%、町内循環バスが10%、民間路線バスが8%となっています。

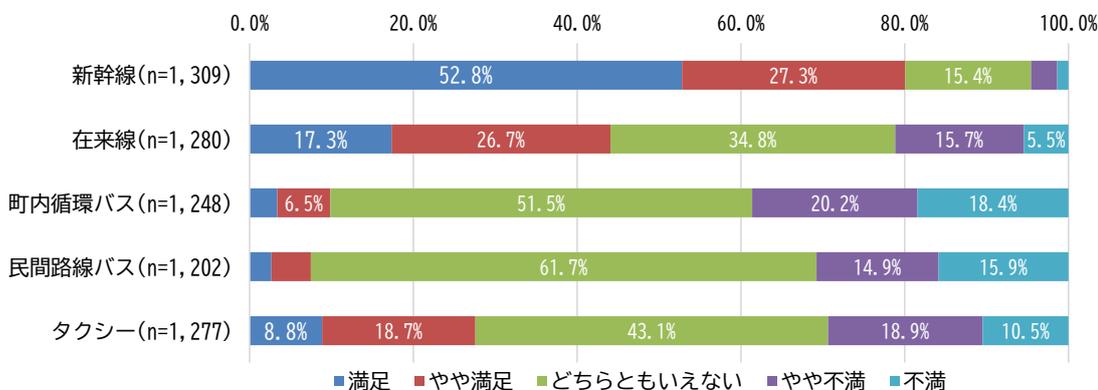


図 3-90 公共交通の満足度 [町民・別荘所有者]

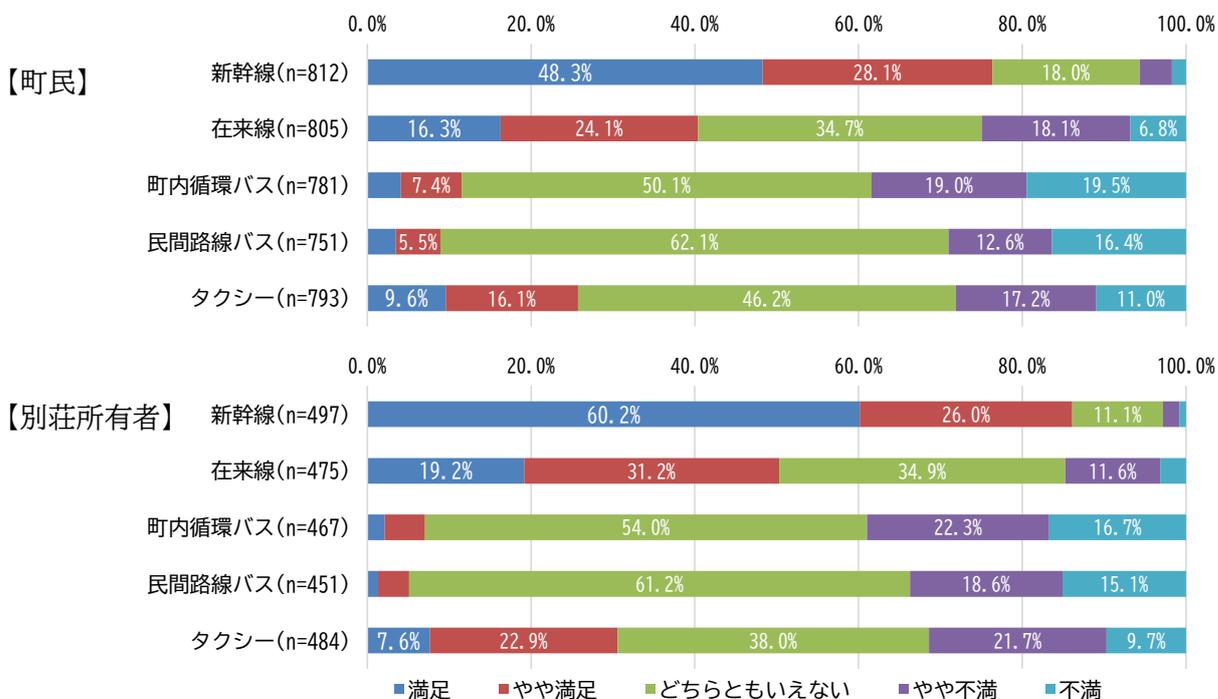


図 3-91 公共交通の満足度 町民・別荘所有者別

3.8.2. 理想的な公共交通（町内循環バス）の体系 [町民・別荘所有者]

■今後の町内循環バスの理想的な運行形態として、「路線バスを主体に現在よりも利便性を向上させた運行形態」を望む回答が最多となっており、「路線バスを主体に、需要が少ない区間や時間帯ではデマンド型で運行する形態」との回答とあわせると、全体的に路線バスを主体に望んでいる回答が多い傾向です。

■地区別に見ると、概ね全体の傾向と同じですが、西地区においては「デマンド型を主体に、需要が多い区間や時間帯は路線バスで運行する形態」が最も多くなっているのが特徴です。

■年代別では、20～30歳代と90歳代では「判断できない」「あまり関心がない」という意見が他の年代に比べ多く見られるのが特徴です。

項目	件数	構成比
路線バスを主体に、現在よりも利便性を向上させた運行形態	347	25.8%
路線バスを主体に、需要が少ない区間や時間帯はデマンド型で運行する形態	253	18.8%
デマンド型を主体に、需要が多い区間や時間帯は路線バスで運行する形態	256	19.0%
全てデマンド型による運行形態	45	3.3%
現状維持	34	2.5%
判断できない	227	16.9%
あまり関心がない	132	9.8%
その他	53	3.9%
合計	1,347	100.0%

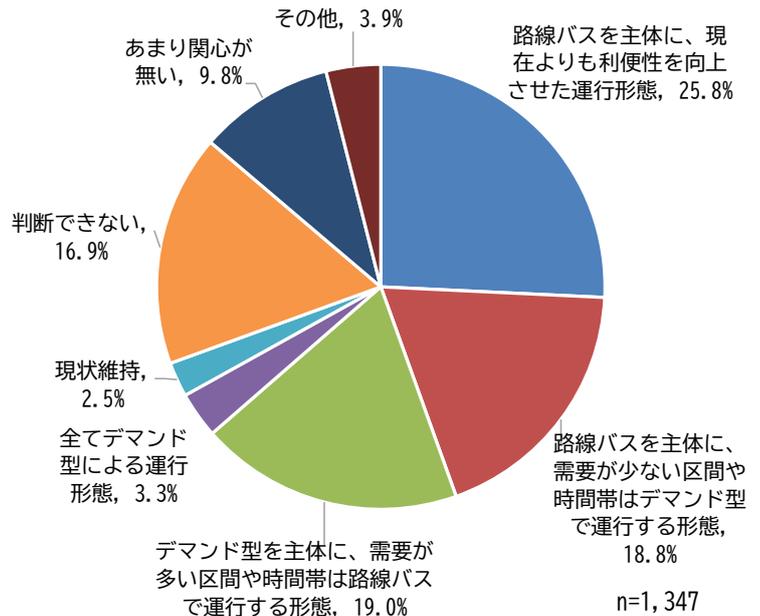


図 3-92 理想的な公共交通（町内循環バス）の体系 [町民・別荘所有者]

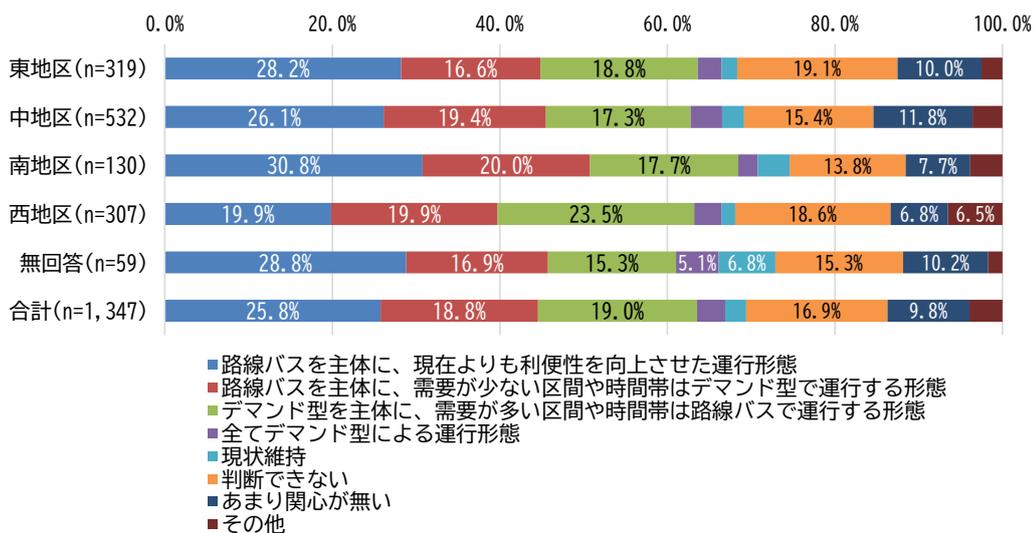


図 3-93 理想的な公共交通（町内循環バス）の体系 地区別 [町民・別荘所有者]

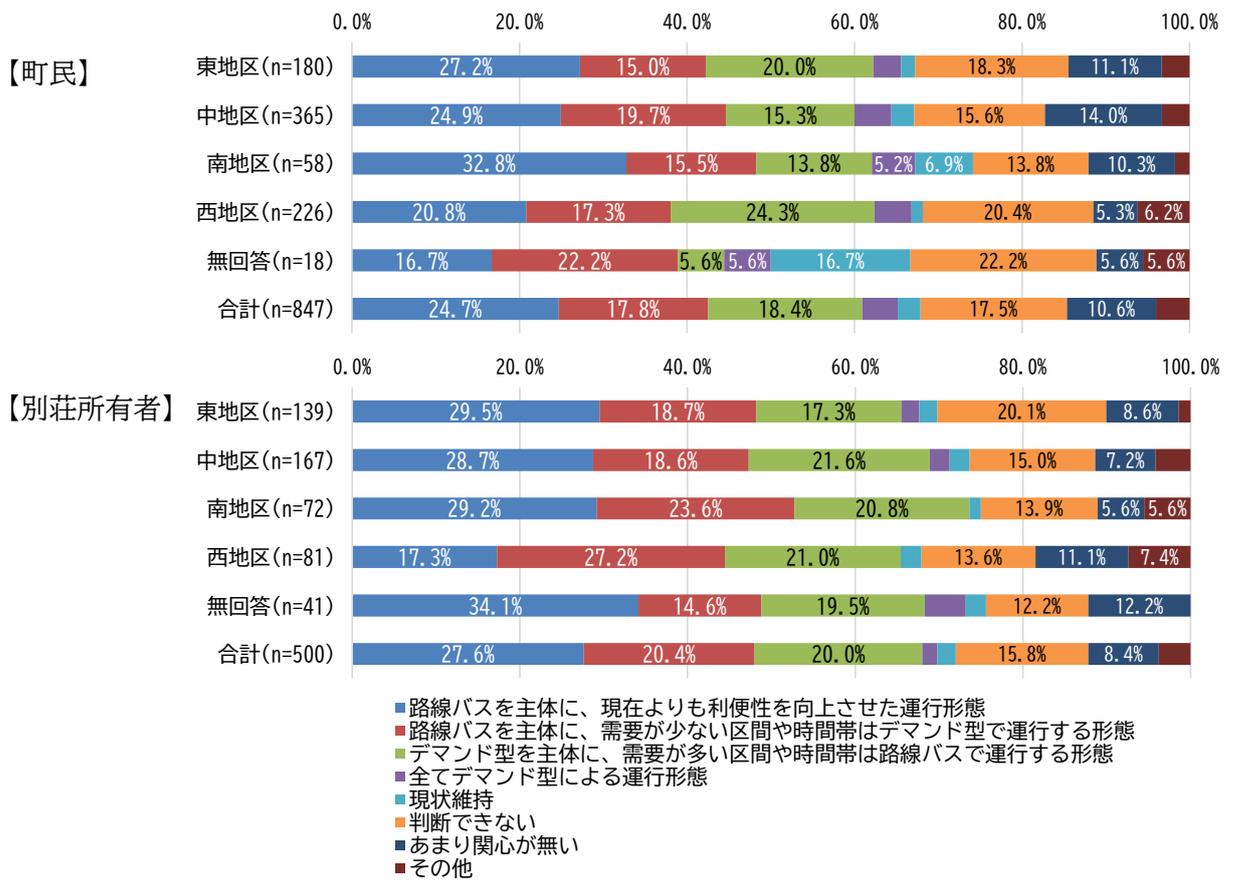
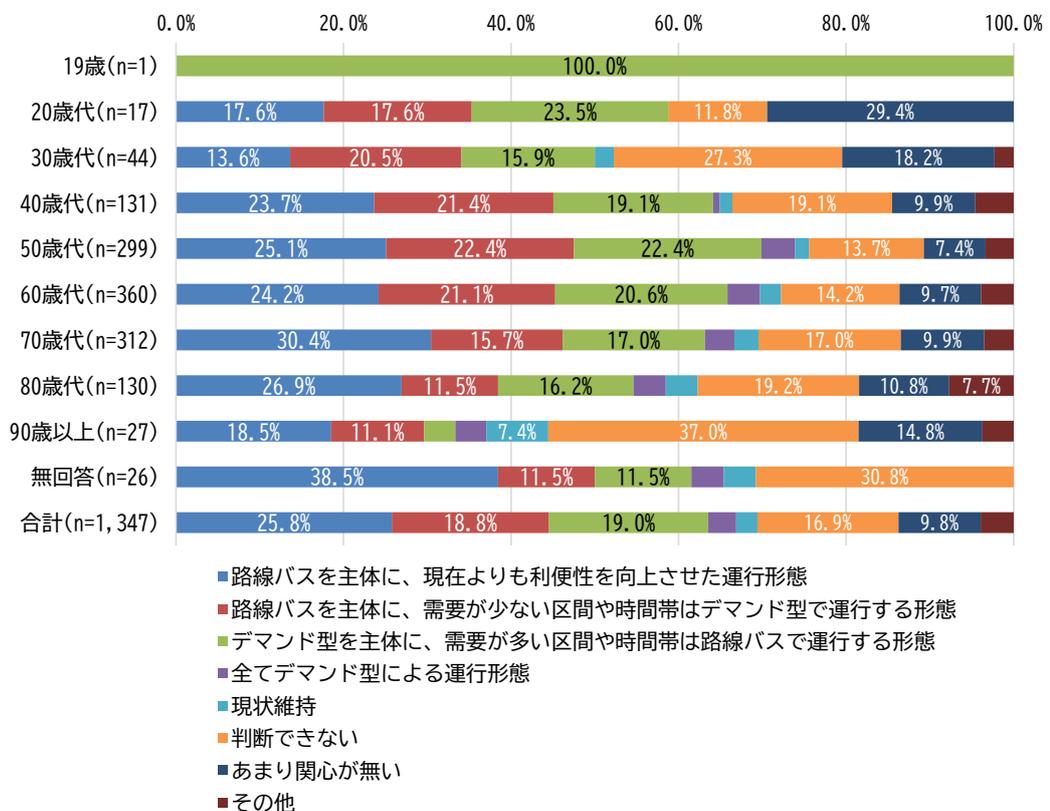


図 3-94 理想的な公共交通（町内循環バス）の体系 地区別 [町民・別荘所有者]



※年代は、回答いただいた世帯の年長者の年代に分類

図 3-95 理想的な公共交通（町内循環バス）の体系 年代別 [町民・別荘所有者]

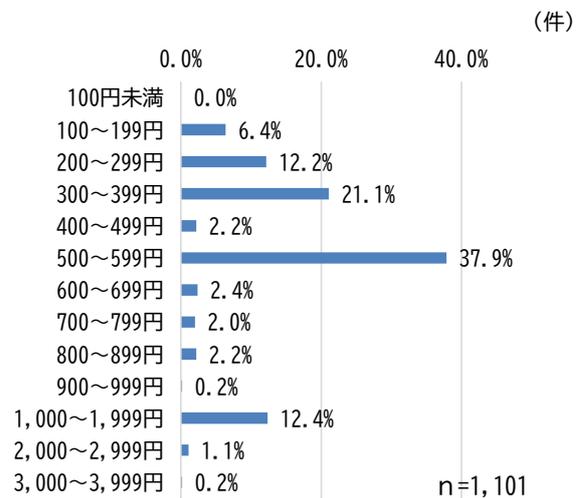
3.8.3. 理想的な公共交通の体系における上限運賃 [町民・別荘所有者]

■先に回答いただいた理想的な公共交通（町内循環バス）の体系とした場合の上限運賃（高すぎて利用できないと感じる金額）としては、500円台の回答が多く38%、次いで300円台が21%となっており、これら回答いただいた金額の平均値、中央値は概ね500円となっています。

■このような状況は、町民・別荘所有者別、地区別、年齢別においても同様の傾向となっています。

項目	件数	構成比
100円未満	0	0.0%
100～199円	70	6.4%
200～299円	134	12.2%
300～399円	232	21.1%
400～499円	24	2.2%
500～599円	417	37.9%
600～699円	26	2.4%
700～799円	22	2.0%
800～899円	24	2.2%
900～999円	2	0.2%
1,000～1,999円	136	12.4%
2,000～2,999円	12	1.1%
3,000～3,999円	2	0.2%
合計	1,101	100.0%

平均値 = 497円
中央値 = 500円



※平均値：回答金額を解答者数で割った値
中央値：回答金額を順に並べたときに、ちょうど順番が真ん中になる値

図 3-96 理想的な公共交通体系の上限運賃 [町民・別荘所有者]

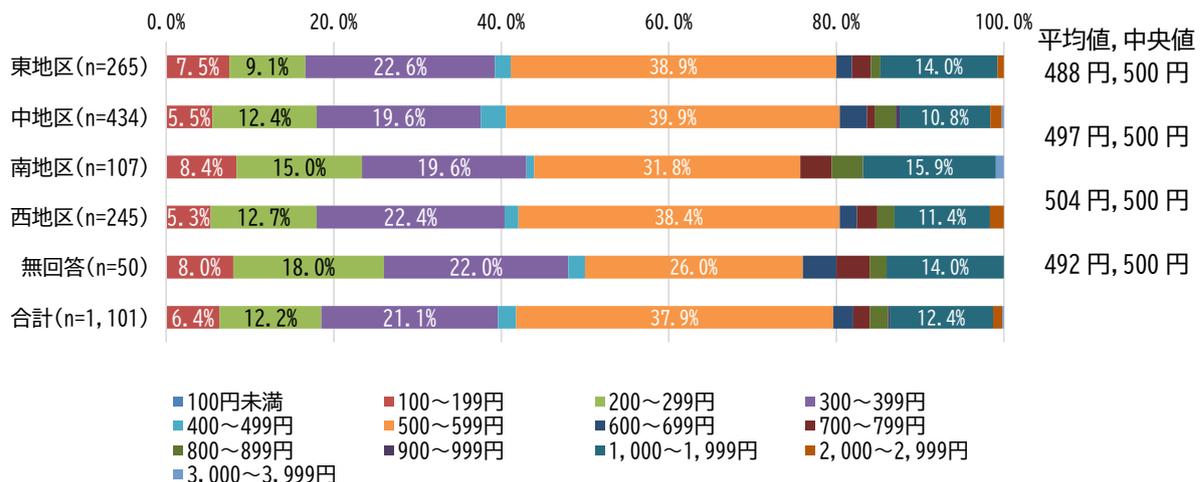


図 3-97 理想的な公共交通体系の上限運賃 地区別 [町民・別荘所有者]

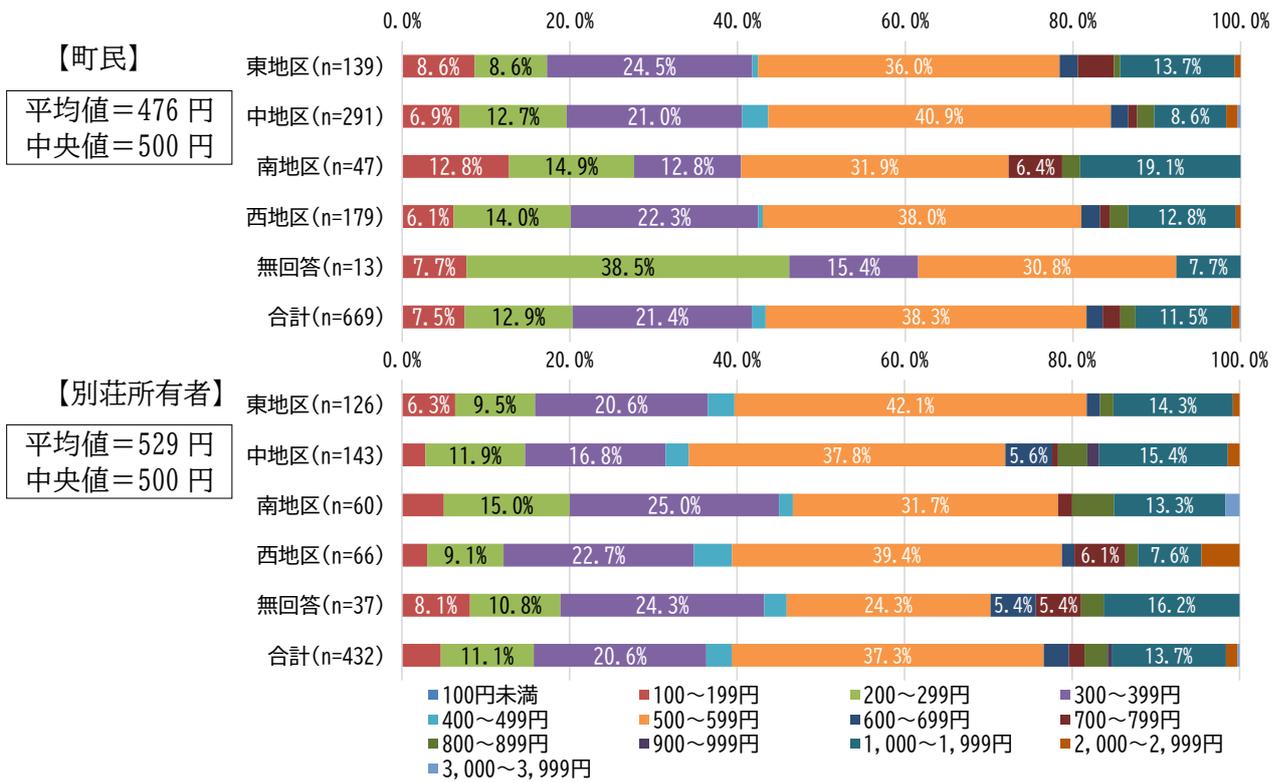
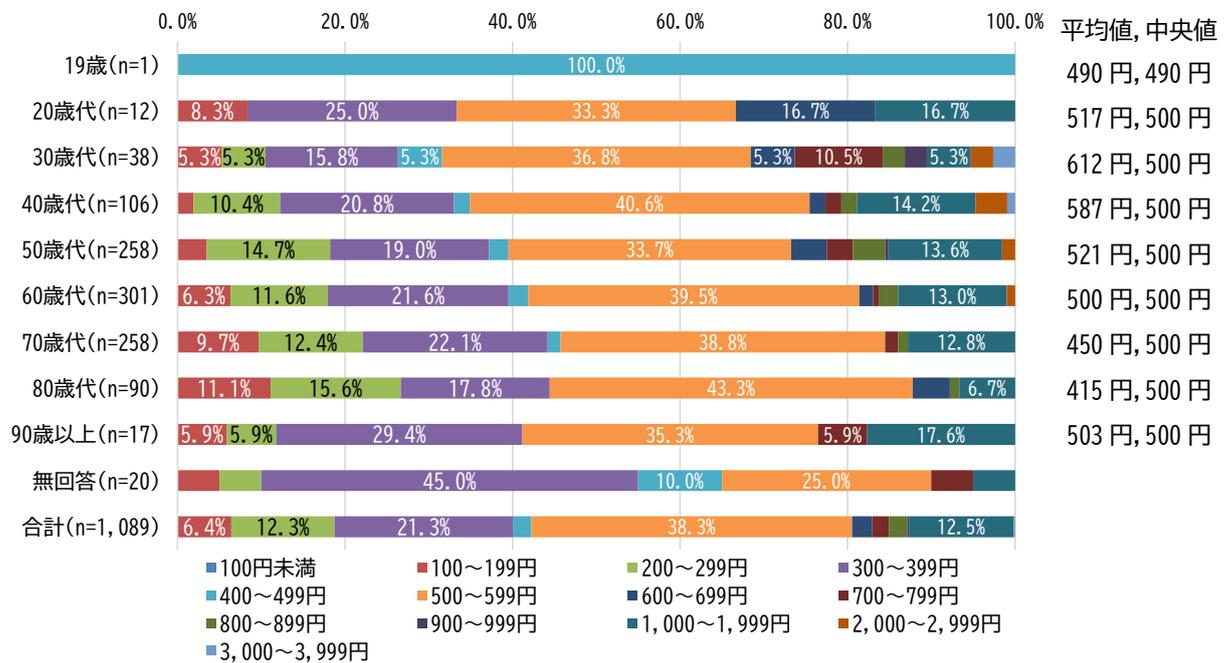


図 3-98 理想的な公共交通体系の上限運賃 地区別 [町民・別荘所有者]



※年代は、回答いただいた世帯の年長者の年代に分類

図 3-99 理想的な公共交通体系の上限運賃 年代別 [町民・別荘所有者]

3.8.4. 理想的な公共交通の体系の実現に向けた経費について [町民・別荘所有者]

■公共交通に対する今後の町の経費についてお聞きした結果、「もっと増やしても良いと思う」との回答が最多であり、その一方で「もっと減らしても良いと思う」との回答は少なくなっています。

■このような状況は、町民・別荘所有者別、地区別においても概ね同様の傾向となっています。

項目	件数	構成比
公共交通への経費は もっと増やしても良いと思う	507	38.8%
公共交通への経費は 現状を維持していきべきだと思う	300	23.0%
公共交通への経費は もっと減らしても良いと思う	78	6.0%
わからない	358	27.4%
その他	64	4.9%
合計	1,307	100.0%

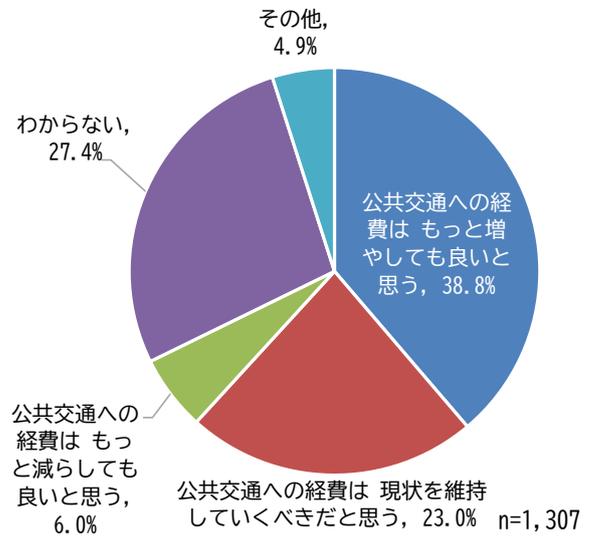


図 3-100 実現に向けた経費について [町民・別荘所有者]

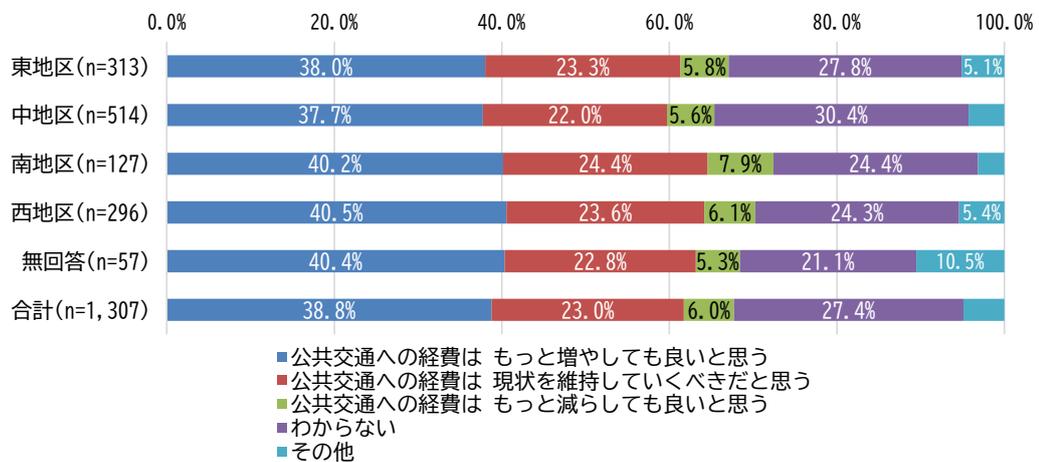


図 3-101 実現に向けた経費について 地区別 [町民・別荘所有者]

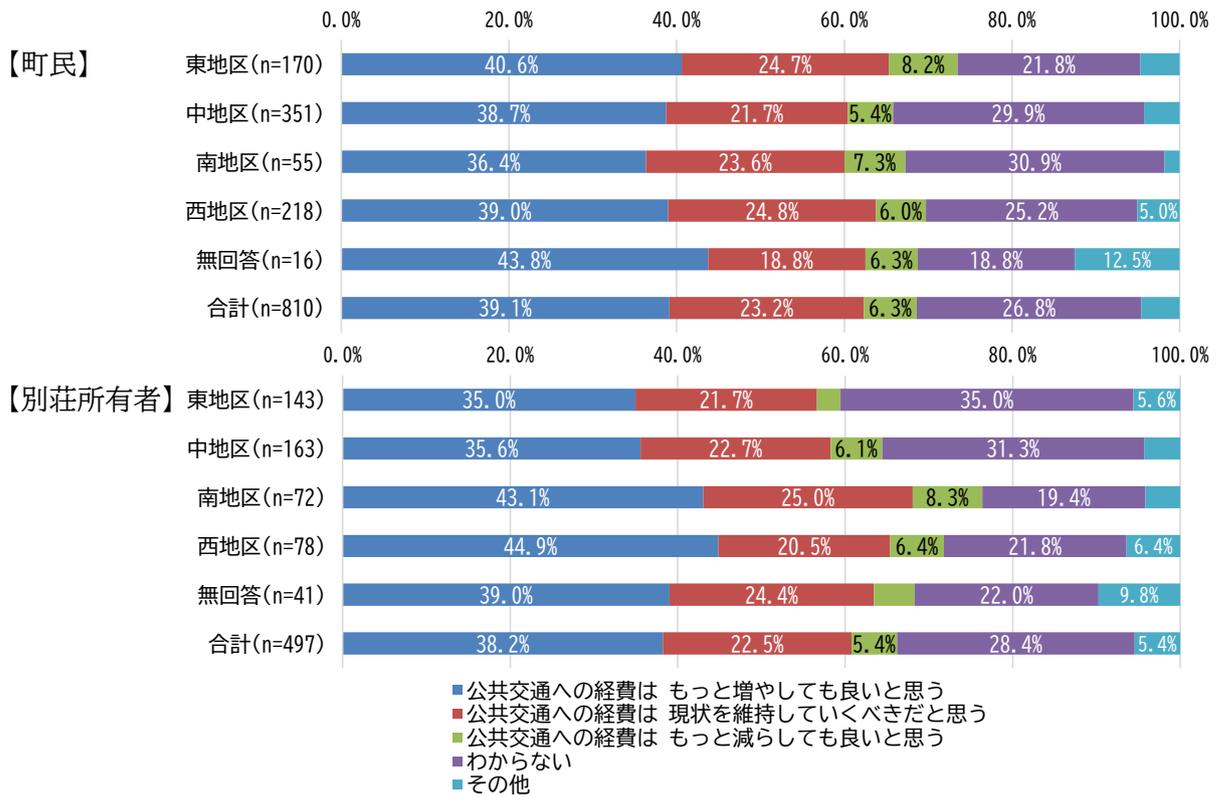
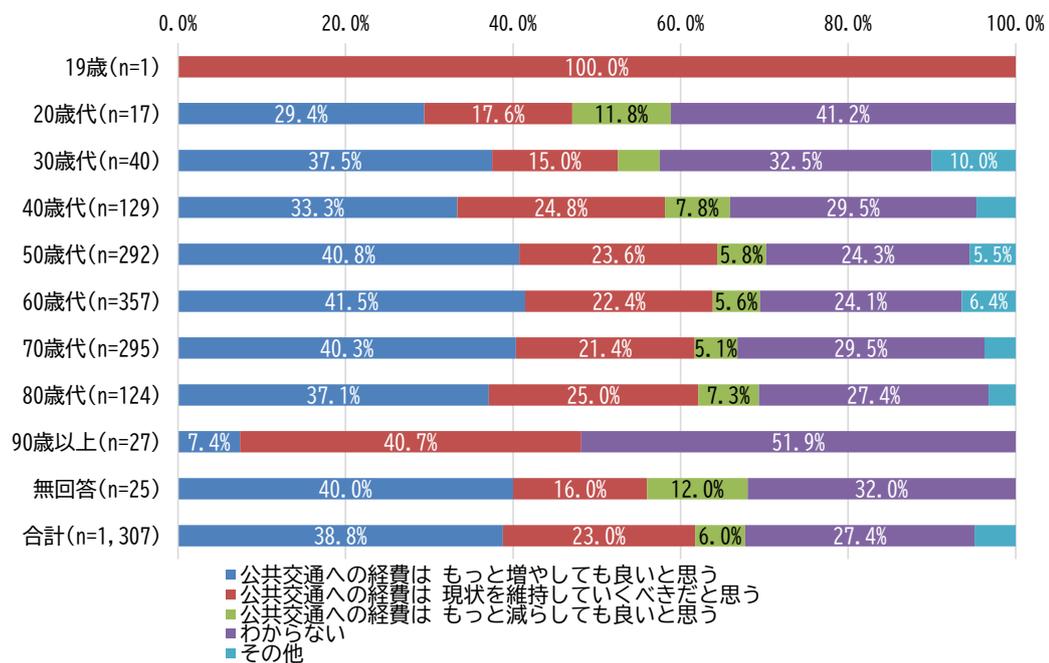


図 3-102 実現に向けた経費について 地区別 【町民・別荘所有者】



※年代は、回答いただいた世帯の年長者の年代に分類

図 3-103 実現に向けた経費について 年代別 【町民・別荘所有者】

3.9. 自由解答欄に寄せられた意見・要望

設定した設問以外に設けた自由解答欄に 705 件の意見・要望等が寄せられました。
その内容より主な意見を分類すると次のとおりとなっています。

- ・ デマンド型交通の課題と拡充要望 - 81 件
- ・ 鉄道の接続や本数に関する要望 - 55 件
- ・ 免許返納後の不安と高齢者向けサービス - 53 件
- ・ 循環バスの利便性改善（本数・運賃・路線） - 20 件
- ・ タクシーの利便性向上（台数・料金・予約） - 15 件
- ・ 町の道路整備と交通インフラ - 13 件
- ・ 観光シーズン中の交通対策 - 9 件
- ・ スクールバスや児童向け交通の提案 - 7 件
- ・ 観光客による交通渋滞や競合の対策 - 7 件
- ・ バス停の設置や位置改善 - 5 件
- ・ 駐車場不足や車両規制の提案 - 4 件
- ・ 公共交通全般の利便性向上 - 3 件
- ・ 自転車専用道路や歩行者環境の整備 - 2 件
- ・ 観光地と町内交通の接続改善 - 2 件